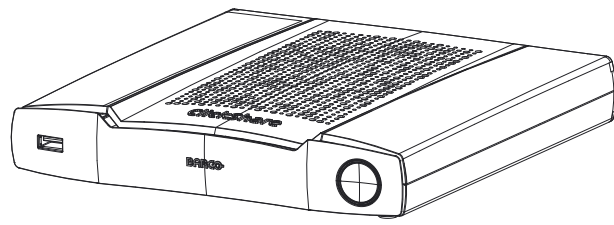


ClickShare CSE-200+



設置マニュアル

Barco NV

Beneluxpark 21, 8500 Kortrijk, Belgium
www.barco.com/en/support
www.barco.com

Registered office: Barco NV

President Kennedypark 35, 8500 Kortrijk, Belgium
www.barco.com/en/support
www.barco.com

変更点

Barco は、このマニュアルを「現状のまま」で提供し、暗黙的保証または特定の目的に対する商業性および適合性を含むがそれに限定されない、明示的または暗黙的に、いかなる保証も適用されません。Barco は、この出版物に記述されている製品やプログラムに対する改良や変更を事前通知なしでいつでも実施できます。

この出版物には、技術的な誤りや誤植が含まれている可能性があります。この出版物への変更は定期的に行われます。このようの変更は新版に組み込まれます。

Barco マニュアルの最新版は、Barco ウェブ サイト www.barco.com または安全な Barco ウェブ サイト <https://www.barco.com/en/signin> からダウンロードできます。

Copyright ©

All rights reserved. 本文書のいかなる部分もコピー、複製、翻訳が禁止されています。Barco から事前の書面による通知がある場合を除いて、他の方法で、記録、転送、検索システムへの保存も認められていません。

商標

USB タイプ C™ および USB C™ は、USB Implementers Forum の商標です。

商標

本書に記載されているブランド名と製品名は、各所有者の商標、登録商標、または著作権である場合があります。これらのブランド名および製品名は、いずれも説明上、または例として挙げたものであり、その製品やメーカーを宣伝するものではありません。

HDMI 商標に関する注記事項

 HDMI™, HDMI High Definition Multimedia Interface、HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc の商標または登録商標です。

製品セキュリティ問題対応

グローバルな技術リーダーである Barco は、Barco の知的財産権を保護しながら、お客様に安全なソリューションとサービスを提供することに努めています。製品のセキュリティの問題があると、製品のセキュリティ問題対応プロセスが即座に開始されます。特定のセキュリティ問題に対処したり、Barco の製品のセキュリティ上の問題を報告するには、<https://www.barco.com/psirt> に記載されている詳細な連絡先までお知らせください。Barco は、当社の顧客を保護するために、Barco が製品の分析を行い、修正プログラムや緩和策を出すまで、セキュリティ上の脆弱性を公開したり確認したりいたしません。

特許保護

www.barco.com/about-barco/legal/patents を参照してください

保証と補償

Barco は、法的に規定された保証条件の一部として、いかなる問題もなく製造されていることを保証します。受領時に、購入者は、輸送中に発生した損傷、ならびに材料および製造上の欠陥に関して直ちに出荷されたすべての製品を点検しなければなりません。Barco に対しては、いかなる苦情も書面で直ちに通知しなければなりません。

保証期間は、リスクの転送日に開始しますが、特別なシステムおよびソフトウェアの場合、リスクの転送から30日以内の使用開始日に開始します。正当な不平の通知があった場合、Barco は、適切な期間内に自らの裁量により故障を修理するか、交換することができます。この措置が不可能である、またはうまくいかないことが判明した場合、購入者は、購入価格の値引きまたは契約の解除を要求することができます。他のすべての請求、特に直接的または間接的な損害賠償に関連するもの、および Barco が提供するソフトウェアおよび他のサービスは、システムまたは独立したサービスの構成要素であり、これらの操作に起因する損害は、書面で保証された特性の不在、または Barco の意図または重大な過失またはその一部に損害が起因することが証明されなければ無効とみなされます。

購入者または第三者が Barco から納品された商品の改造または修理を行った場合、または商品が誤って取り扱われた場合、特にシステムが誤って操作された場合、またはリスク転送後に商品が契約で合意されていない影響を受ける可能性がある場合、購入者のすべての保証請求は無効になります。保証範囲に含まれていないものは、購入者が提供するプログラムや特殊な電子回路に起因するシステム障害、例えばインタフェースです。通常の損耗や通常のメンテナンスも Barco の保証の対象ではありません。

このマニュアルで規定されている環境条件およびサービス・保守規則は、お客様が遵守しなければなりません。

BarcoClickShare製品向けユーザーライセンス契約¹

本製品向けユーザーライセンス契約 (EULA) は、本文書に付属するBARCO GENERAL EULAと共に、ソフトウェア利用の諸条件について規定します。

ソフトウェアを開いたりダウンロードして使用したりする前に本文書をよくお読みください。

本ライセンス契約に記載される条件に同意できない場合には、ライセンスに合意しないでください。またソフトウェアのすべてまたはその一部をインストール、ダウンロード、アクセスまたはコピー/使用することも認められません。

1.資格の付与

Barco ClickShare(「ソフトウェア」)は、対象のドキュメンテーションでさらに詳細に記載されているように、各ソフトウェアコンポーネントを含む、ワイヤレスのプレゼンテーションソリューションを提供します。

本ソフトウェアは、ClickShareベースユニットおよびボタン、または認定されたClickShareアプリケーション(それぞれ「Barco ClickShare製品」)のダウンロードに対する購入の完了、および関連購入価格の支払いを条件として、使用できます。

• 条件

Barco ClickShare製品の最初の使用日から、かかるBarco ClickShare製品をお客様が操作する限り、本EULAの条件でソフトウェアを使用できます。

• 導入および使用

かかる製品のためにBarcoによって発行されるドキュメンテーションに従い、Barco ClickShare製品に関して、ソフトウェアは単独で使用されるものとします。

2.サポート

ソフトウェアは、Barcoの保証の付帯事項に記載されている保証条件が適用されます。ソフトウェアのアップグレードおよびアップデートの規定を含むメンテナンス、およびヘルプデスクのサポートが、Barcoの条件、さらには現行の保証の付帯事項において、お客様がオプションを選択することにより利用可能です。

製品の販売時点またはBarco ClickShare製品および/またはソフトウェアの保証期間中においては、より高いメンテナンスおよびサポートレベルが得られます。

より高いメンテナンスおよびサポートレベルについて、注文し、追加でお支払いされる場合、初回のお買い上げに含めることができます。中断なくメンテナンスおよびサポート契約を維持することを、強く推奨します。Barcoは、お客様による中断後にメンテナンスを再開しない権利を保有しています。

3.使用条件

本文書に付属するBarco EULAに記載の通り、本ソフトウェアを使用できます。

本製品向けEULAの条項は、矛盾または不一致が生じる場合には、Barcoの一般的EULAに優先します。

(故意ではないまたはその他の)不履行(例えば、実際の使用が本契約で許可されている使用範囲を超える場合)が生じる場合、Barcoは、不履行が救済されるまでソフトウェアに対するアクセスを停止するオプションを有するものとし、不履行が救済されない場合には本文書に記載されるようにライセンス契約を終了させる場合があります。

4.プライバシー

お客様は、ソフトウェアによって処理される個人データの管理者です。したがって、お客様は、(特にお客様が提供または制御するコンポーネントについて)適用対象の全データ保護法の順守、プライバシー保護およびセキュリティ措置を実施および維持することに単独で責任を負います。Barcoは、この点に関し一切の保証をしないものとします。

Barcoは、このアプリケーション(<http://www.barco.com/en/about-barco/legal/privacy-policy/clickshare-app>)による個人データの処理について記載する、モバイルデバイスのClickShareソフトウェアアプリケーションの特定のプライバシーポリシーを作成しています。

5.その他の項目

- オープンソースコンポーネント

¹: EULAの翻訳とEULAの英語のテキストの間に相違または不一致が見られる場合には、英語のテキストの解釈が優先されます。

本ソフトウェアには、オープンソースライセンスによりリリースされているソフトウェアコンポーネントが含まれています。

使用されているサードパーティのコンポーネント一覧は、Barcoウェブサイト(「My Barco」セクション)またはその他の(オンラインによる)手段により、ソフトウェアのREADMEファイルに示されています。対象のライセンス条件、著作権表示、および関係する場合、本文書に付属するBarco EULAに記載のように、ソースコードアクセス条件が適用されます。

- データの保持

機能的情報を使用および保持するBarcoの権利(EULAのセクション10.2)は、本EULAの契約後も有効であり続けるものとします。

BARCOエンドユーザーライセンス契約¹

(本ライセンス契約の電子コピーの条件に対して承認するために設計されたボックスまたは他のメカニズムを選択することで)本契約に同意することにより、または(上記のように)ソフトウェアのすべてまたは一部をインストール、ダウンロード、アクセスまたはコピーすることにより、(i)お客様は、実行を許可されたエンティティ(例えば、雇用者)の代理として本ライセンス契約に同意し、本ライセンス契約に一致するよう行動することに同意し(または、実行を許可されたエンティティがない場合には、個人として自身の代理として本ライセンス契約に同意し、本契約によって法的に拘束されることに同意し)、(ii)お客様は、ご自身が、かかるエンティティの代理として実行する場合に、エンドユーザーから正当に権限を付与されていることを表明し、保証します。

これらの条件は、元のライセンス契約の時点で、またこの契約期間における、お客様のソフトウェアの使用に適用されます。ライセンス更新または追加のライセンスを購入される場合、現行版の本ライセンス契約が適用され、そのライセンスの期間中および/またはかかる変更された要素に関して、契約内容には変更はありません。他の契約書類(本文書と共に提供される場合、製品向けのEULA、メンテナンスおよびサポート契約)が、これらの条件に加えて適用され、これがライセンス契約全体を形成します。お客様は、本契約の電子コピーが、関係者によって署名されたハードコピーと同じ証明的価値を有することを承認します。

お客様がこれらの条件についてライセンス契約に同意されない場合、またはかかるエンティティの代理として(またはかかるエンティティが存在しない場合にはお客様個人として)実行する、およびかかるエンティティを拘束する、権利、パワーおよび権威を有するのではない場合、「同意する」ボタンを選択したり、契約を承認するために設計されたボタンまたは他のメカニズムをクリックしたり、ソフトウェアのすべてまたは一部をインストール、ダウンロード、アクセスまたはコピーしないでください。

1.定義

「アフィリエイト会社」は、コーポレーションまたはエンティティを直接または間接的に制御する、これらに制御される、またはこれらとの共通の制御を受けるコーポレーションまたは他のエンティティを意味します。上記の目的で、「制御」は、(i)自己資本または株の50パーセント以上の直接または間接の所有権または制御、または関連のコーポレーションまたは他のエンティティの投票権、あるいは(ii)関連のコーポレーションまたは他のエンティティの役員会構成の制御を意味します。

「Barco」とは、会社所在地Beneluxpark 21, 8500 Kortrijk, BelgiumのBarco NV(会社番号0473.191.041)、または本契約の主題となっているプロプライエタリ・ソフトウェアをお客様にライセンス付与しているその指定されたアフィリエイト会社を意味します。

「ドキュメンテーション」とは、すべての技術的レファレンスおよびインストールマニュアル、ユーザーガイド、公開されたパフォーマンス仕様書およびその他の、ソフトウェアおよびソフトウェアの修正およびアップデートに関して、一般的にそのライセンシーに対してBarcoから提供される他の書面によるドキュメンテーションを意味します。

「DRM」とは、ソフトウェアに対するアクセスおよびソフトウェアのアクセス条件を提供するために使用されるBarcoのデジタル権利管理プラットフォームを意味します。

「ライセンス契約」は、製品向けEULAの条件および本文書内に記載されているようにその修正を組み込む、Barcoエンドユーザーライセンス契約(EULA)を意味します。

「製品向けEULA」とは、適用される補足的なソフトウェア条件を意味します。

「ソフトウェア」とは、適用される発注書および関連する製品向けEULAに記載されている、本契約に従ってライセンスが付与されている、オブジェクトコードのみでリリースされるコンピューターソフトウェアを意味します。

「期間」とは、本文書の第9.1条項に記載される期間、および合意された更新期間を意味します。

「お客様」とは、その代理としてこれら条件が受諾されるエンティティ、およびソフトウェアへのアクセスを持つその代表者のいずれかを意味します。

2.ライセンス付与

2.1 'ライセンスの範囲'。すべてのライセンス条件を履行し、適用される料金の支払いを行うことを条件に、Barcoは、本文書に記載される条件およびパラメーターに従い、ソフトウェアを独占的に使用するための、制限付き、非排他的、譲渡不可、移転不可、サブライセンス不可のライセンスをお客様に付与します。製品向けEULAまたはDRMツールによって確認されるより広いライセンス条件を除き、本ライセンス契約のライセンスは、1人のユーザーによって1つのコンピューティングデバイス上で使用するためのソフトウェアの1つのコピーに適用されます。複数のユーザーが同時にアクセスできるコンピューターデバイスにインストールされている場合は使用は許可せず、本ソフトウェアが導入されているコンピューターデバイスに同時に接続している各ユーザーそれぞれに対して別々のライセンスが必要になります。

2.2 'ライセンスのタイプ'。適用対象のライセンスの種類、および時間、導入、利用の権利は、その製品向けEULAに詳述されています(範囲の記載がない場合には本文書の第2.1条項に記載の通りとします)。

2.3 'ライセンスの制限'。

意図された使用方法お客様は、適用対象の法律により、またその設計およびドキュメンテーションと一致する事柄において、本ライセンス契約(およびその一部となる製品向けEULA)によって許可されたとおりのみに、本ソフトウェアを使用することに同意します。

譲渡不可(ライセンス契約)お客様は、Barcoの事前の書面による合意を得ることなく、ライセンスの権利を他の人またはエンティティに、譲渡、割り当て、またはサブライセンス付与しないことに合意するものとします。

譲渡不可(ソフトウェア)最初にインストールされたコンピューターデバイスからソフトウェアを無効にまたはアンインストールする場合、Barcoによって特に承認される場合を除き、ライセンス契約を終了します。お客様は、接続のプール、情報の再ルートを可能にする、他のハードウェアまたはソフトウェアに関連して、または認証されたデバイスまたはユーザー数を超過してソフトウェアの導入および使用を可能にする(例: マルチプレキシング)ことによりライセンスの制限に違反またはこれを回避することを可能にする他の方法で、ソフトウェアを使用したり、あるいは実際に必要なライセンス数を少なくしようと試みようとしないうことに合意します。

認証されたユーザーソフトウェアの使用は、お客様の組織内の人、またはお客様の責任および管理下におかれるサードパーティの代表者に限定され、かかる人はライセンス契約の条件を受諾することを条件とします。お客様は、Barcoからの事前の書面による承認なしに、サービスビューロー上でまたはタイムシェアリング方式あるいは他の方法を問わず、サードパーティのためにサービスを実行するためにソフトウェアを使用したり、ソフトウェアが使用されることを許可することに合意しません。お客様は、ソフトウェアのセキュリティまたは他の利益を、リース、貸与、販売または譲渡あるいは付与しないものとします。

修正不可お客様は、ソフトウェアのエラーを修正する、ソフトウェアを改変または適合させる、ソフトウェアに基づく派生作業物を作成する、あるいはサードパーティがこれらを行うことに許可を与えることはしないものとします。

リバースエンジニアリング不可お客様は、この制限にもかかわらず適用対象の法律において明示的に許可されている程度を除き、または、適用対象のオープンソースライセンスに該当するか特定のアクティビティを許可することがBarcoが法的に必要な程度を除き、ソフトウェアをリバースエンジニアリングまたは逆コンパイル、解読、逆アセンブルまたは人間が読み取れる形態に変換することに同意しません。

相互運用性の確保に必要なコード法律で必要な程度まで、かつお客様の書面による依頼により、Barcoは、Barcoの適用可能な料金の支払いが行われている場合(必要な場合)、ソフトウェアとお客様が使用する別の独立して作成されたプログラムとの間の相互運用性を実現するために必要なインターフェース情報を、お客様に提供するものとします。お客様は、かかる情報に対する機密を保つ厳しい義務を順守するものとし、Barcoが適用する条件に準拠して、かかる情報を使用するものとします。

バンドル解除不可ソフトウェアは、様々なアプリケーションおよびコンポーネントを含む場合があり、複数のプラットフォームおよび言語をサポートする場合があります。また、複数のメディアまたは複数のコピーにおいて提供される場合があります。それにもかかわらず、ソフトウェアは、本文書で許可されているように、デバイスにおける単一の製品として使用される単一の製品として、設計され、お客様に提供されます。お客様は、異なるコンピューターデバイスで使用するために、ソフトウェアのコンポーネント部分をバンドル解除することには同意しません。

地域お客様は、Barcoまたはその認定リセラーから、またはドキュメンテーションに記載されているように、ソフトウェアを取得する地域または地区において、独占的にソフトウェアを使用することに同意します。輸出が許可される場合、適用対象の(輸出)法および規制を順守するものとします。

2.4 'お客様のインフラストラクチャ'。お客様は、ソフトウェアの動作に必要なハードウェア、オペレーティングシステム、ネットワークおよび他のインフラストラクチャー(「インフラストラクチャー」)を調達および維持し、かかるインフラストラクチャーの機能を保持してウイルスから守ることに責任を負うものです。お客様には、本ソフトウェアが複雑なコンピューターソフトウェアアプリケーションであること、そのパフォーマンスはハードウェアプラットフォーム、ソフトウェアの相互作用および構成により異なることがあることを承認していただきます。お客様は、ソフトウェアがお客様の要件や期待を満たすために特別に設

計、制作されたものではなく、お客様がソフトウェアを選択したのは、一切お客様自身の選択および決定であることを承認するものとします。

3.所有権知的財産権

3.1 '所有権'。ソフトウェアは、お客様に販売するのではなく、本ライセンスの条件の下での使用のみを非排他的に許可するライセンスを供与するものであり、お客様に明示的に付与されないすべての権利はBARCOおよびそのサプライヤーが所有するものとします。お客様は本ソフトウェアが提供されるキャリアを所有できますが、本ソフトウェアおよびその著作権はBARCOまたはサードパーティ供給業者が所有するものとします。お客様のライセンスは権限や所有権を授与するものではなく、本ソフトウェアまたはそのドキュメンテーション内の権利を販売するものではありません。

3.2 'サードパーティの資料'。本ソフトウェアには、www.barco.com またはその他(「識別されたコンポーネント」)において、ドキュメンテーション、readmeファイル、サードパーティのクリック承諾においてBarcoによって識別される、(プロプライエタリ・ソフトウェアまたはオープンソースソフトウェアを含むがそれには限定されない)特定のサードパーティの技術が含まれる場合があります。またはその技術の使用を必要とすることがあります。識別されたコンポーネントは、追加および/または異なる条件によって変更される場合があります。お客様は、今後の場合において、本ライセンス契約の条項に優先する各ライセンスの条件、免責事項、および保証に基づいて、識別されたコンポーネントがライセンスを付与されることに同意します。

3.3 'ソースコードへのアクセス'。サードパーティ(オープンソース)ライセンス契約によって必要な範囲まで、および本ライセンス契約の受諾後36か月間、Barcoは、電子メールまたはダウンロードリンクにより、サードパーティ(オープンソース)ライセンスによって制御されるソースコードへのアクセスを提供するものとします。関連のライセンス条項が必要とする場合、お客様は、Barco(上記に記載された住所の法務部門気付け)に、媒体のコスト、発送および処理の支払いを行った上で、有形の媒体上に保存された、当該コードの取得を求めることができます。

3.4 '商標/著作権'。本ソフトウェアに関して紹介されているブランドや製品名は、それぞれの(サードパーティ)所有者に帰属する商標、登録商標、著作権である場合があります。さらに、本ソフトウェアは、国内法および国際法ならびに条約の条項によって保護されます。ソフトウェアコンポーネントの著作権は、ソフトウェアドキュメンテーション、ソースコード、READMEファイルなどで示される場合があるように、最初の著作権所有者、他の貢献者、および/または受託者に属します。ソフトウェア内に配置または含まれる、商標、著作権、または他の独自の表示、凡例、またはロゴを削除、隠す、あるいはいかなる形式でも変更することはできません。

3.5 '企業秘密'。お客様は、ソフトウェアがBarcoとそのサードパーティライセンサーの貴重な事業上の秘密を具現化するものであることを承認し、ソフトウェアおよびドキュメンテーション内に含まれるかかる事業上の秘密を、サードパーティに対して、いかなる形態においても、事前のBarcoからの書面による同意なしに開示しないこと、または他の人に提供しないこと、または他の人が使用できるようにしないことに同意するものとします。かかる事業上の秘密を保護するために、お客様は、全ての合理的な安全上の対策を実施するものとします。

4.サポート

4.1 '原則'。Barcoは、製品向けEULAに含まれる範囲を除き、および/または別個のメンテナンスおよびサポート契約を締結し、適用対象のメンテナンスおよびサポート料金を支払う範囲において、ソフトウェアに関して、サポートおよびメンテナンスを提供する義務を有しません。メンテナンスおよびサポート契約に指定されているとおり、ソフトウェアが未承諾で使用された場合には、Barcoは指定されたサポートおよびメンテナンスを提供できません。

4.2 'サポートポリシー'。メンテナンスリリースのアップデートまたはアップグレードは、お客様に提供される別個のメンテナンスおよびサポート契約の条件に応じて、得られます。かかる契約は、製品向けEULAに含まれるサポートと共に、ソフトウェアのサポートおよびメンテナンスに関して、Barcoの単独の責任およびお客様の単独の救済方法を含みます。お客様は、ソフトウェアのバグまたはセキュリティ上の問題を解決するために、メンテナンスリリースが提供されている場合にはこれをインストールすることに同意します。Barcoは、ソフトウェアの旧バージョンが利用できなくなった時点で、これをお客様に通知いたします。

4.3 'リモート接続'。Barcoは、メンテナンスまたはサポートを提供するための重要条件として、ソフトウェアがネットワーク上でBarcoにリモートにより継続的に接続されることを要件にする場合があります。

5.保証

製品向けEULAに関して適用可能な制限された保証を除き、お客様は、ソフトウェアがお客様に「現状のまま」提供されていることを理解します。BARCOは、明示的または暗示的に関わらず、一切保証や表明したり、それを意図せず、特定目的の市販性と適合性、および知的財産の非侵害について暗示されたすべての保証を特に放棄し、本ソフトウェアにエラーがないことや、お客様が中断されることなくソフトウェアを操作できることや、かかるエラーがBARCOによって修正されることを保証しません。別途合意されたメンテナンスおよびサポートの義務を除き、お客様は、訂正、修理またはかかるエラーによって生じる損害に関連す

るすべてのコストおよび経費について単独で責任を負います。将来的なケースにおいて、対象のオープンソースライセンスにおける保証の放棄は、ライセンス契約の条項よりも優先されます。

6. 履行および執行

6.1 'レポートと監査'。適正な記録保持の義務に加えて、お客様は、ソフトウェアの使用およびDRMにおける関連の課金指標、または合意によるその他を報告することに合意します。お客様は、ライセンス契約の履行を検証するために、お客様の通常の営業時間中に、Barcoの費用で、お客様のソフトウェアの導入および使用を検証する権利を、Barcoおよびその指定する査定者に付与します。かかる査定により本契約に従うお客様の支払い義務の不履行が明らかになる場合、お客様は、Barcoに対し速やかに適切なライセンス料に加えて査定の実行にかかる適切な額を支払うものとします。

6.2 'フェアユースモニター'。お客様は、ソフトウェアには、ソフトウェアの機能性(の一部または全体)をリモートで低下させることが可能なテクノロジー(「公正使用モニター」)を含むことが通知され、これを承認します。かかるテクノロジーは、Barcoが本ライセンス契約を締結する前の授權ツールであり、重要条件です。

6.3 '施行'。ライセンス契約の違反がある場合(支払い遅延を含む)、Barcoは、DRMまたは書面により、既知のユーザーに、(i)ライセンス契約のどの条件(支払い条件を含む)が違反されたか、(ii)かかる違反の回復のために8日間が与えられること(回復が可能な場合)を通知し、(iii)違反が期限内に完全に回復されない場合にはどの機能性の一部(全てのソフトウェアまたは特定の追加でライセンス付与された機能のみ、一部または全体)をBarcoが低減させることを意図しているかを通知するものとします。

6.4 '対処方法'。適用対象の救済期間内に違反が回復されない(または全く回復できない)場合、Barcoは、(i)お客様に実際の使用に関して必要なかかる追加のライセンスを調達することを求める、(ii)公正使用モニターの使用を含む、ソフトウェアの機能性を制限する、または(iii)法律において、契約に従い、または衡平法上取りうる他の救済方法を侵害することなく、本文書に記載されているようにライセンス契約を終了するオプションを有するものとします。

6.5 '補償'。お客様は、ここに、BARCO および BARCO のアフィリエイト会社を、お客様による本ソフトウェアライセンスの条項違反により、あるいはそれに関連して生じる BARCO が受けるまたは被る、ありとあらゆる訴訟、訴訟手続き、法的責任、損失、損害、手数料や費用(弁護士料を含む)、およびその他の出費から、またはそれらに対して賠償すること、保護すること、および無害に保つことに同意するものとします。

7. 責任の制限について

法律によって許可される最大限の範囲まで、BARCO は、お客様がソフトウェアを使用したことによりお客様または一切のサードパーティが被る一切の破損、損失、クレームに対する一切の法的責任を負いません。BARCO の法的責任を排除できない法管轄区内では、直接的な破損に対する BARCO の法的責任を、請求に先立ち12か月間にソフトウェアに対して実際に支払われたライセンス料(または、料金が支払われていない場合は250ユーロ)に制限するものとします。

法律に違反しない範囲で、いかなる場合も、BARCO は、ソフトウェア、本ソフトウェアライセンス、あるいは BARCO が本ソフトウェアライセンスに基づく義務を遂行したことまたは遂行したとされることまたは遂行しなかったことから、あるいはそれらに関連して発生するあらゆる種類の間接的、特殊、懲戒的、偶発的、または必然的な損失や損害、もしくは経済的損失、事業、契約、データ、信用、利益、売上、収益、評価の損失または損害、もしくは業務を停止しなければならないこと、コンピューターの不具合、またはソフトウェアの機能不全から生じる損失およびソフトウェアの使用に関連して生じることのある、ありとあらゆるその他の商業的損害や損失に対して、BARCO がその発生の可能性について忠告されていた場合でも、一切法的責任を負いません。

8. 秘密性

8.1 '機密情報'。お客様は、調達時およびライセンス契約の期間中Barcoが所有権を有する機密情報を受け取ることになります。「機密情報」とは、(i)ソフトウェアまたは他の事業上の秘密の基礎となる論理、ソースコードおよび概念(本文書に明示的に記載される範囲に厳密に限定されるアクセス)、(ii)Barcoによって機密情報として指定される、またはそれについての必要な機密品質を持つ情報、および(iii)本契約に従ってお客様にBarcoから提供されるライセンスキーを含むものとします。

8.2 '非開示'。本第8条項が本ライセンス契約の開始以前にお客様が正当に所有していて、すでに公知であるか将来的に公知となる情報まで広がることはない場合に(第8条項の違反による場合を除く)、法律により開示することが必要である、あるいは自明または明白である程度まで、お客様は、すべての機密情報を、本条項がBarcoの書面による事前の承認なく、いかなる者にも漏えいしないものとします。お客様は、本契約に従って認証を受けた目的以外に、いかなる機密情報を使用することにも同意しません。秘密性に関する前述の義務は、本ライセンス契約の期間後も有効であり続けるものとします。

9. 契約条件

9.1 '条件'。本ライセンス契約の有効期間は、お客様の本ソフトウェア受諾日(上記の日付。本ソフトウェアを使用することで受諾することが暗示されることをお客様が承認する)から、ソフトウェアのアクティベーションを終了するまで、ソフトウェアがその意図した使用のために最初にインストールされたデバイスの利用を終了するまで、あるいは製品向けEULAに記載された制限のある期間のうちの、いずれか最も早いものとなります。

9.2 '契約終了'。お客様は、お手元の本ソフトウェアのコピーをすべて破壊し、すべてのドキュメンテーションおよび関連資料を破壊するか、その販売元または供給元である Barco または Barco 指定リセラーに返却することにより、本ライセンス契約をいつでも終了できます。ユーザーがライセンス契約の条件のいずれかに違反した場合、Barcoは、いつでもお客様に通知することにより、本文書の第6条項により、本ライセンス契約を即刻または段階的に終了できます。

9.3 '終了の結果'。ソフトウェアの利用およびアップデートならびにアップグレードの取得に関するすべての権利は、ライセンス契約の終了または期限切れに伴い、効力を失うものとなります。ライセンスの終了または期限切れにより、お客様は、現在または過去の支払いに対して遡って返金を要求する資格を失います。

10. その他の関連要項

10.1 '個人データ'。(製品向けEULAに記載のように)Barcoが、個人データの処理者としての役割を想定するか否かに関わらず、お客様は、(特にお客様が提供または制御するコンポーネントについて)適用対象の全データ保護法の順守、プライバシー保護およびセキュリティ措置の実施および維持について、単独で責任を負います。Barcoは、Barcoから提供されないデータ、または本ライセンス契約あるいは適用対象のデータ処理アネックスに関する意図された用途以外のソフトウェアの使用について、一切の保証を行いません。

10.2 '機能情報'。ソフトウェアを通じ、Barcoは、(i)ソフトウェアによって接続されている製品の機能および機能性、および/または(ii)お客様により提供されるまたはソフトウェアの利用により生成されるように、技術的な情報(「機能的情報」)を収集することがあります。Barcoは、市場評価、その製品の査定および改善、研究開発の実行というBarcoの正当な権利に基づいて、製品およびサービスの開発および向上、製品およびサービスのお客様の組織への提供、サードパーティへのかかる機能的情報へのアクセスの許可のために、分析目的でかかる機能的情報を利用することがあります。Barcoによる機能的情報から派生する全てのノウハウ、発明および作業物は、Barcoの独占的所有物となります。

11. 最終条項

11.1 '完全合意'。本ライセンス契約は、お客様およびBarcoの間のソフトウェアの使用に対する、唯一の了解および合意です。本ライセンス契約は、本ライセンス契約以前に交わされたその他あらゆるコミュニケーション、了解、または合意(継続的な秘密性に関する合意を除く)に優先します。

11.2 '注意'。通知は、DRMによって有効に、関係者の最後に通知された住所に対して代替的または追加的に配達されます。

11.3 '可分性'。本ライセンス契約は、関係者により署名された書面による合意がない限り、改ざん、修正、変更しないものとなります。本ライセンス契約のいずれかの条項が、違法、無効、または執行不能であることが判明した場合、またはいずれかの管轄裁判所が一切の最終判決においてそのように判断した場合、本ライセンス契約は、かかる条項が、かかる判決日以降あるいはその日以前に、削除して法律により受諾可能で本ライセンス契約の意図を可能な限り具体化する条項に置き換えるべきであるとされた場合を除き、引き続き有効であるものとなります。

11.4 'エクスポート'。お客様は、本ソフトウェアが米国または他国政府の輸入管理法および規制の対象となる場合があることを承認するものとなります。お客様は、米国または他国政府が発布した米国輸出監督規制、エンドユーザー、使用、出荷先規制を含む、本ソフトウェアに適用されるすべての国際法および国内法に順守することに同意します。

11.5 '存続'。第3、5、6、7、8、10、11条項の取り決めは本ライセンス契約の終了後も有効であり続けますが、どのように終了が生じたとしても、これは、本ライセンス契約の終了後にソフトウェアを使用するその後の権利を暗示するまたは生じさせるものではありません。

11.6 '割り当て'。お客様は、Barcoの合意なく、本契約の一部またはすべてをサードパーティに割り当てることは許可されていません。Barcoは、ここに記載されたBarcoの義務のすべてあるいはいずれかをサードパーティおよび/またはBarcoのアフィリエイト会社のいずれかに割り当てる権利を有するものとなります。

11.7 '法律および管轄'。本ライセンス契約の解釈、有効性、および履行は、あらゆる点で、抵触法の原則に頼ることなく、ベルギーの法を準拠法とします。本ライセンス契約から、またはそれに影響を与える手段により発生したすべての論争は、(ベルギー)コルトレイク裁判所専属管轄の対象となり、その判決または命令の執行方法はその他一切の管轄区域で書されないものとなります。「国際物品売買契約に関する国際連合条約(以下「条約」)は本ライセンス契約には適用されませんが、管轄する法廷により条約が本ライセンス契約に適用されると見なされた場合でも、Barcoは、条約の第35(2)条項に基づく本ソフトウェアの主張された不適合に対する法的責任を一切負わないものとなります。

本ライセンス契約の条件および条項を読み、理解し、記載されているように本契約を遵守することを承認します。

Barco ClickShare製品向けプライバシーポリシー

お客様は、ソフトウェアによって処理される個人データの管理者です。したがって、お客様は、(特にお客様が提供または制御するコンポーネントについて)適用対象の全データ保護法の順守、プライバシー保護およびセキュリティ措置を実施および維持することに単独で責任を負います。Barcoは、この点に関し一切の保証をしないものとします。Barcoは、このアプリケーション(<http://www.barco.com/en/about-barco/legal/privacy-policy/clickshare-app>)による個人データの処理について記載する、モバイルデバイスのClickShareソフトウェアアプリケーションの特定のプライバシーポリシーを作成しています。

ソフトウェアを通じ、Barcoは、(i)ソフトウェアによって接続されている製品の機能および機能性、および/または(ii)お客様により提供されるまたはソフトウェアの利用により生成されるように、技術的な情報(「機能的情報」)を収集することがあります。Barcoは、市場評価、その製品の査定および改善、研究開発の実行というBarcoの正当な権利に基づいて、製品およびサービスの開発および向上、製品およびサービスのお客様の組織への提供、サードパーティへのかかる機能的情報へのアクセスの許可のために、分析目的でかかる機能的情報を利用することがあります。Barcoによる機能的情報から派生する全てのノウハウ、発明および作業物は、Barcoの独占的所有物となります。

オープンソースソフトウェア条項

本製品には、オープンソースライセンスでリリースされているソフトウェアコンポーネントが含まれています。ソースコードのコピーは、Barcoカスタマーサポート担当者にリクエストすることで入手可能です。

各オープンソースのソフトウェアコンポーネントおよび関連するドキュメンテーションのすべては、暗示的な商業上の可能性の保証、特定用途に対する適合性を含む、しかしそれに限定されない、明示的または黙示的な保証を一切しない「現状のまま」で提供されてします。いかなる場合も、そのような損失の可能性が忠告されていた場合でも、原因の如何を問わず、またこのオープンソースソフトウェアを使用することにより生じた規約、無過失責任、または不法行為の一切の法理に基づき、著作権所有者またはその他の貢献者は、直接的、偶発的、間接的な損失の責任を負わないものとします。詳細情報は、それぞれ特定のオープンソースのライセンスを参照してください。

各オープンソースのソフトウェアコンポーネントの著作権は、ドキュメンテーション、ソースコード、READMEファイルなどで示される場合があるように、最初の著作権所有者、他の貢献者、および/または受託者に属します。これらの著作権を削除、隠ぺい、いかなる形式でも変更することはできません。

各オープンソースソフトウェアライセンスの条件に従うことを承認しているものとします。

本ソフトウェアの開発において、以下のオープンソースソフトウェアが使用されました：

パッケージ	バージョン	ソースサイト
alsa-lib	1.1.7	ftp://ftp.alsa-project.org/pub/lib
alsa-utils	1.1.7	ftp://ftp.alsa-project.org/pub/utils
libsamplerate	0.1.9	http://www.mega-nerd.com/SRC
libsndfile	1.0.28	http://www.mega-nerd.com/libsndfile/files
ncurses	6.1	http://ftpmirror.gnu.org/ncurses
avahi	0.7	https://github.com/lathiat/avahi/releases/download/v0.7
dbus	1.12.16	https://dbus.freedesktop.org/releases/dbus
expat	2.2.7	http://downloads.sourceforge.net/project/expat/expat/2.2.7
libselenium	2.8	https://raw.githubusercontent.com/wiki/SELinuxProject/selinux/files/releases/20180524
libsepol	2.8	https://raw.githubusercontent.com/wiki/SELinuxProject/selinux/files/releases/20180524
pcre	8.42	https://ftp.pcre.org/pub/pcre
python3	3.7.4	https://python.org/ftp/python/3.7.4

bluez5_utils-headers	5.50	https://cdn.kernel.org/pub/linux/bluetooth
libffi	v3.3-rc0	https://github.com/libffi/libffi/archive/v3.3-rc0
libzlib	1.2.11	http://www.zlib.net
xlib_libSM	1.2.3	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libICE	1.0.10	https://xorg.freedesktop.org/archive/individual/lib
xlib_xtrans	1.3.5	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xorgproto	2018.4	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/proto
xlib_libX11	1.6.7	https://xorg.freedesktop.org/archive/individual/lib
libxcb	1.13.1	http://xcb.freedesktop.org/dist
libpthread-stubs	0.4	http://xcb.freedesktop.org/dist
xcb-proto	1.13	http://xcb.freedesktop.org/dist
xlib_libXau	1.0.8	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xutil_util-macros	1.19.2	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/util
xlib_libXdmcp	1.1.3	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
libdaemon	0.14	http://0pointer.de/lennart/projects/libdaemon
glib2	2.56.4	http://ftp.gnome.org/pub/gnome/sources/glib/2.56
elfutils	0.176	https://sourceware.org/elfutils/ftp/0.176
bzip2	1.0.8	https://sourceware.org/pub/bzip2
util-linux	2.33	https://cdn.kernel.org/pub/linux/utils/util-linux/v2.33
linux-pam	1.3.1	https://github.com/linux-pam/linux-pam/releases/download/v1.3.1
flex	2.6.4	https://github.com/westes/flex/files/981163
readline	8.0	http://ftpmirror.gnu.org/readline
bellagio	0.9.3	http://downloads.sourceforge.net/project/omxil/omxil/Bellagio%200.9.3
bitstream	1.4	https://get.videolan.org/bitstream/1.4
bluez5_utils	5.50	https://cdn.kernel.org/pub/linux/bluetooth
libical	1.0.1	https://github.com/libical/libical/releases/download/v1.0.1
eudev	3.2.7	http://dev.gentoo.org/~blueness/eudev
kmod	25	https://cdn.kernel.org/pub/linux/utils/kernel/kmod
bridge-utils	1.6	https://cdn.kernel.org/pub/linux/utils/net/bridge-utils
busybox	1.29.3	http://www.busybox.net/downloads
dosfstools	4.1	https://github.com/dosfstools/dosfstools/releases/download/v4.1
e2fsprogs	1.44.5	https://cdn.kernel.org/pub/linux/kernel/people/tytso/e2fsprogs/v1.44.5
netcat	0.7.1	http://downloads.sourceforge.net/project/netcat/netcat/0.7.1
ntp	4.2.8p13	https://www.eecis.udel.edu/~ntp/ntp_spool/ntp4/ntp-4.2

libedit	20180525-3.1	http://www.thrysoee.dk/editline
libbsd	0.10.0	https://libbsd.freedesktop.org/releases
libevent	2.1.8-stable	https://github.com/libevent/libevent/releases/download/release-2.1.8-stable
libopenssl	1.1.1c	https://www.openssl.org/source
pciutils	3.5.5	https://cdn.kernel.org/pub/software/utils/pciutils
unzip	60	ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/src
usbutils	010	https://cdn.kernel.org/pub/linux/utils/usb/usbutils
libusb	1.0.22	https://github.com/libusb/libusb/releases/download/v1.0.22
c-ares	1.15.0	http://c-ares.haxx.se/download
CA 証明書	20190110	http://snapshot.debian.org/archive/debian/20190513T145054Z/pool/main/c/ca-certificates
collectd	5.7.2	http://collectd.org/files
libgcrypt	1.8.4	https://gnupg.org/ftp/gcrypt/libgcrypt
libgpg-error	1.33	https://www.gnupg.org/ftp/gcrypt/libgpg-error
lm-sensors	V3-5-0	https://github.com/lm-sensors/lm-sensors/archive/V3-5-0
crda	4.14	https://git.kernel.org/pub/scm/linux/kernel/git/mcgrof/crda.git/snapshot
libnl	3.4.0	https://github.com/thom311/libnl/releases/download/libnl3_4_0
cryptsetup	2.0.6	https://cdn.kernel.org/pub/linux/utils/cryptsetup/v2.0
json-c	0.13.1	https://s3.amazonaws.com/json-c_releases/releases
lvm2	2.02.183	ftp://sources.redhat.com/pub/lvm2
libaio	0.3.111	https://releases.pagure.org/libaio
popt	1.16	http://rpm5.org/files/popt
dhcp	4.3.6	http://ftp.isc.org/isc/dhcp/4.3.6
dnsmasq	2.79	http://thekelleys.org.uk/dnsmasq
dropbear	2018.76	https://matt.ucc.asn.au/dropbear/releases
dvblast	3.4	https://get.videolan.org/dvblast/3.4
libev	4.24	http://dist.schmorp.de/libev/Attic
faad2	2.8.8	http://downloads.sourceforge.net/project/faac/faad2-src/faad2-2.8.0
fbv	1.0b	http://s-tech.elsat.net.pl/fbv
giflib	5.1.4	http://downloads.sourceforge.net/project/giflib
jpeg-turbo	2.0.1	https://downloads.sourceforge.net/project/libjpeg-turbo/2.0.1
libpng	1.6.37	http://downloads.sourceforge.net/project/libpng/libpng16/1.6.37
ffmpeg	3.4.6	http://ffmpeg.org/releases
fontconfig	2.13.1	http://fontconfig.org/release

freetype	2.9.1	http://download.savannah.gnu.org/releases/freetype
libva	2.4.0	https://github.com/intel/libva/releases/download/2.4.0
libdrm	2.4.97	https://dri.freedesktop.org/libdrm
mesa3d	18.3.6	https://mesa.freedesktop.org/archive
libva-dummy	2.4.0	https://github.com/intel/libva/releases/download/2.4.0
xlib_libXext	1.3.3	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXfixes	5.0.3	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
libvdpau	1.1.1	http://people.freedesktop.org/~aplattner/vdpau
llvm	7.0.1	http://llvm.org/releases/7.0.1
xlib_libXdamage	1.1.4	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXrandr	1.5.1	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXrender	0.9.10	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXxf86vm	1.1.4	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libxshmfence	1.3	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
libvorbis	1.3.6	http://downloads.xiph.org/releases/vorbis
libogg	1.3.3	http://downloads.xiph.org/releases/ogg
libvpx	v1.7.0	https://github.com/webmproject/libvpx/archive/v1.7.0
opus	1.3.1	https://downloads.xiph.org/releases/opus
speex	1.2.0	https://downloads.xiph.org/releases/speex
file	5.36	ftp://ftp.astron.com/pub/file
gdb	8.1.1	http://ftpmirror.gnu.org/gdb
gnu-efi	3.0.9	http://downloads.sourceforge.net/project/gnu-efi
gnupg2	2.2.17	https://gnupg.org/ftp/gcrypt/gnupg
libassuan	2.5.2	ftp://ftp.gnupg.org/gcrypt/libassuan
libksba	1.3.5	ftp://ftp.gnupg.org/gcrypt/libksba
libnpth	1.6	https://www.gnupg.org/ftp/gcrypt/npth
sqlite	3280000	https://www.sqlite.org/2019
gssdp	1.0.2	http://ftp.gnome.org/pub/gnome/sources/gssdp/1.0
libsoup	2.62.3	http://ftp.gnome.org/pub/gnome/sources/libsoup/2.62
libxml2	2.9.9	http://xmlsoft.org/sources
gst1-libav	1.14.4	https://gstreamer.freedesktop.org/src/gst-libav
gst1-plugins-base	1.14.4	https://gstreamer.freedesktop.org/src/gst-plugins-base
gstreamer1	1.14.4	https://gstreamer.freedesktop.org/src/gstreamer
xlib_libXv	1.0.11	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
gst1-plugins-bad	1.14.4	https://gstreamer.freedesktop.org/src/gst-plugins-bad

gst1-plugins-good	1.14.4	https://gstreamer.freedesktop.org/src/gst-plugins-good
libv4l	1.16.3	https://linuxtv.org/downloads/v4l-utils
qt5base	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules
icu	60.2	http://download.icu-project.org/files/icu4c/60.2
libxkbcommon	0.8.2	http://xkbcommon.org/download
pcre2	10.32	https://ftp.pcre.org/pub/pcre
xcb-util-image	0.4.0	http://xcb.freedesktop.org/dist
xcb-util	0.4.0	http://xcb.freedesktop.org/dist
xcb-util-keysyms	0.4.0	http://xcb.freedesktop.org/dist
xcb-util-wm	0.4.1	http://xcb.freedesktop.org/dist
pulseaudio	12.2	http://freedesktop.org/software/pulseaudio/releases
libtool	2.4.6	http://ftpmirror.gnu.org/libtool
xlib_libXtst	1.2.3	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXi	1.7.9	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
gst1-vaapi	1.14.4	https://gstreamer.freedesktop.org/src/gstreamer-vaapi
htop	2.2.0	http://hisham.hm/htop/releases/2.2.0
iperf	2.0.13	http://downloads.sourceforge.net/project/iperf2
iptables	1.8.2	https://netfilter.org/projects/iptables/files
iw	4.14	https://cdn.kernel.org/pub/software/network/iw
libarchive	3.3.3	http://www.libarchive.org/downloads
libconfig	v1.7.2	https://github.com/hyperrealm/libconfig/archive/v1.7.2
libcurl	7.65.3	https://curl.haxx.se/download
libdri2	4f1eef3183d-f2b270c3d5-cbef07343e-e5127a6a4	https://github.com/robclark/libdri2/archive/4f1eef3183df2b270c3d5cbef07343ee5127a6a4
libepoxy	1.5.2	http://ftp.gnome.org/pub/gnome/sources/libepoxy/1.5
libestr	0.1.10	http://libestr.adiscon.com/files/download
libevdev	1.6.0	http://www.freedesktop.org/software/libevdev
libfastjson	v0.99.8	https://github.com/rsyslog/libfastjson/archive/v0.99.8
libhttpparser	v2.9.0	https://github.com/nodejs/http-parser/archive/v2.9.0
liblogging	1.0.6	http://download.rsyslog.com/liblogging
libnspr	4.20	https://ftp.mozilla.org/pub/mozilla.org/nspr/releases/v4.20/src
libnss	3.42.1	https://ftp.mozilla.org/pub/mozilla.org/security/nss/releases/NSS_3_42_1_RTM/src
libopusenc	0.2.1	https://downloads.xiph.org/releases/opus
libpcap	1.9.0	http://www.tcpdump.org/release

libpciaccess	0.14	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
libqrencode	4.0.0	http://fukuchi.org/works/qrencode
libsha1	0.3	https://github.com/dottedmag/libsha1/archive/0.3
libuv	v1.25.0	https://github.com/libuv/libuv/archive/v1.25.0
libyaml	0.2.1	http://pyyaml.org/download/libyaml
libzip	1.5.1	http://www.nih.at/libzip
lighttpd	1.4.53	http://download.lighttpd.net/lighttpd/releases-1.4.x
linux-firmware	1baa34868-b2c0a004d-c595-b20678145-e3fff83e7	http://git.kernel.org/pub/scm/linux/kernel/git/firmware/linux-firmware.git
logrotate	3.13.0	https://github.com/logrotate/logrotate/archive/3.13.0
memtester	4.3.0	http://pyropus.ca/software/memtester/old-versions
monit	5.25.3	http://mmonit.com/monit/dist
mtdev	1.1.4	http://bitmath.org/code/mtdev
nano	3.2	https://www.nano-editor.org/dist/v3
net-snmp	5.8	https://downloads.sourceforge.net/project/net-snmp/net-snmp/5.8
nodejs	8.15.1	http://nodejs.org/dist/v8.15.1
opkg	0.3.6	http://downloads.yoctoproject.org/releases/opkg
opus-tools	0.2	https://downloads.xiph.org/releases/opus
opusfile	0.11	https://downloads.xiph.org/releases/opus
php	7.3.9	http://www.php.net/distributions
pixman	0.34.0	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
powertop	2.9	https://01.org/sites/default/files/downloads/powertop
protobuf	v2.6.1	https://github.com/google/protobuf/archive/v2.6.1
python-pyyaml	4.2b4	https://files.pythonhosted.org/packages/a8/c6/a8d1555e795dbd0375c3c93b576ca13bbf139db51ea604afa19a2-c35fc03
python-serial	3.4	https://files.pythonhosted.org/packages/cc/74/11b04703ec416717b247d789103277269d567db575d2fd88f25-d9767fe3d
qt5declarative	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules
qt5xmlpatterns	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules
qt5graphicaleffects	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules
qt5imageformats	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules
qt5multimedia	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules
qt5quickcontrols	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules
qt5quickcontrols2	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules

qt5serialport	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules
qt5svg	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules
qt5websockets	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules
qt5x11extras	5.12.4	https://download.qt.io/archive/qt/5.12/5.12.4/submodules
ramspeed	2.6.0	http://www.alasir.com/software/ramspeed
rsync	3.1.3	http://rsync.samba.org/ftp/rsync/src
rsyslog	8.22.0	http://rsyslog.com/files/download/rsyslog
strace	4.26	https://strace.io/files/4.26
tcpdump	4.9.2	http://www.tcpdump.org/release
tpm-tools	1.3.9.1	http://downloads.sourceforge.net/project/trousers/tpm-tools/1.3.9.1
trousers	0.3.14	http://downloads.sourceforge.net/project/trousers/trousers/0.3.14
tzdata	2018e	http://www.iana.org/time-zones/repository/releases
wireless-regdb	2019.06.03	https://cdn.kernel.org/pub/software/network/wireless-regdb
wireless_tools	30.pre9	https://hewlettpackard.github.io/wireless-tools
xapp_beforelight	1.0.5	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xlib_libXScrnSaver	1.2.3	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXaw	1.0.13	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXmu	1.1.2	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXt	1.1.5	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXpm	3.5.12	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xapp_xauth	1.0.10	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xapp_xclock	1.0.7	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xlib_libXft	2.3.2	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libxkbfile	1.0.9	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xapp_xinit	1.4.0	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xapp_xinput-calibrator	0.7.5	http://github.com/downloads/tias/xinput_calibrator
xapp_xinput	1.6.2	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xlib_libXinerama	1.1.4	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xapp_xkbcomp	1.4.2	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xapp_xrandr	1.5.0	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/app
xdata_xbitmaps	1.1.2	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/data
xdriver_xf86-input-evdev	2.10.5	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/driver
xserver_xorg-server	1.20.5	https://xorg.freedesktop.org/archive/individual/xserver
xfont_font-util	1.3.2	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/font

xkeyboard-config	2.23.1	http://www.x.org/releases/individual/data/xkeyboard-config
xlib_libXcomposite	0.4.4	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXcursor	1.1.15	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXfont2	2.0.3	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xfont_encodings	1.0.4	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/font
xlib_libfontenc	1.1.3	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xlib_libXres	1.2.0	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/lib
xdriver_xf86-video-amdgpu	18.1.0	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/driver
xfont_font-alias	1.0.3	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/font
xfont_font-cursor-misc	1.0.3	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/font
xfont_font-misc-misc	1.1.2	http://xorg.freedesktop.org/releases/individual/font
xterm	327	http://invisible-mirror.net/archives/xterm
zip	30	ftp://ftp.info-zip.org/pub/infzip/src
splashutils	1.5.4.4	http://dev.gentoo.org/~spock/projects/gensplash/archive
libresample	0.1.3	ftp://ftp.ubuntu.com/ubuntu/pool/universe/libr/libresample
alsa-plugins	1.1.1	ftp://ftp.alsa-project.org/pub/plugins
arphic-uming-fonts	20080216	http://archive.ubuntu.com/ubuntu/pool/main/t/ttf-arphic-uming
dejavu-fonts	2.34	http://downloads.sourceforge.net/project/dejavu/dejavu/2.34
efitools	v1.7.0	git://git.kernel.org/pub/scm/linux/kernel/git/jejb/efitools.git
sazanami-fonts	20040629	http://sourceforge.jp/projects/efont/downloads/10087
unfonts	1.0	http://kldp.net/frs/download.php/1425
fbset	2.1	http://users.telenet.be/geertu/Linux/fbdev
gzip	1.9	http://ftpmirror.gnu.org/gzip
i2c-tools	4.1	https://www.kernel.org/pub/software/utils/i2c-tools
tar	1.29	http://ftpmirror.gnu.org/tar
devmem2	1	http://bootlin.com/pub/mirror
efibootmgr	15	https://github.com/rhboot/efibootmgr/archive/15
efivar	35	https://github.com/rhboot/efivar/archive/35
parted	3.2	http://ftpmirror.gnu.org/parted
linux	v4.9.90	https://mirrors.edge.kernel.org/pub/linux/kernel/v4.x/
ibmswtpm	4720	https://sourceforge.net/projects/ibmswtpm/files/
grub	2.02-beta2	https://github.com/coreos/grub/releases
rockbox	v3.10	https://github.com/Rockbox/rockbox/tree/v3.10
libcap	2.25	https://www.kernel.org/pub/linux/libs/security/linux-privs/libcap2

mtd	1.5.2	ftp://ftp.infradead.org/pub/mtd-utils
procps-ng	3.3.12	http://downloads.sourceforge.net/project/procps-ng/Production
hidapi	0.5.2	https://github.com/signal11/hidapi
linux	3.1.0	https://mirrors.edge.kernel.org/pub/linux/kernel/v3.x/
hostapd	40e2dcfdf4-e27191d4f-b9edc6-c10337868-b90acf	https://source.codeaurora.org/quic/la/platform/external/wpa_supplicant_8
wpa_supplicant	40e2dcfdf4-e27191d4f-b9edc6-c10337868-b90acf	https://source.codeaurora.org/quic/la/platform/external/wpa_supplicant_8
qca6174a	CNSS.LEA.NRT_1.0	https://source.codeaurora.org/external/wlan/qcaclid-2.0/
qca93777	CNSS.LEA.NRT_1.0	https://source.codeaurora.org/external/wlan/qcaclid-2.0/
rscodc	1.3	https://sourceforge.net/projects/rscodc/files/rscodc/

EN55032-CISPR32 クラス B ITE (情報技術装置)

これは、クラス B の製品です。国内環境では、本製品は無線干渉を引き起こす場合があります、ユーザーは適切な手段を講じる必要があります。

本装置がラジオまたはテレビ受信を妨害している場合、次の中から 1 つ以上の対策をとることができます。

- ラジオまたはテレビの受信アンテナの向きを変える。
- 受信機に対する本装置の位置を変える。
- 本装置を別のコンセントに接続し、本装置と受信機が別の分岐回路上になるようにする。
- ケーブルコネクタをネジで本装置に取り付ける。

アメリカ連邦通信委員会 (FCC) の干渉に関する宣言

製品の準拠を管轄する当事者による明示的な承認を受けずに変更または修正を行った場合、ユーザーはこの装置を操作する権利を失う場合があるので注意してください。

本機器はテスト済みで、FCC 法規の Part 15 に該当する Class B デジタル装置の制限に準拠していることが分かっています。これらの制限は、住居での設置において生じる妨害からの適切な保護を目的として確立されました。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、手順に従わないで使用すると、無線のコミュニケーションに対する妨害を起こすことがあります。ただし、特定の設置において妨害が起こらないという保証はありません。

機器をオン・オフに切り替えることにより、本装置がラジオまたはテレビの電波受信を妨害していることが確認された場合は、次の中から 1 つ以上の対策をとることをお勧めします。

- 受信アンテナの配置を変えるか、または移動する。
- 装置と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されているサーキットのコンセントと別のコンセントに装置をつなぐ。
- 販売店またはしかるべき経験を有するラジオ/テレビ技術者に相談する。

FCC が作成した以下のブックレットが役立つ場合もあります。「How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems (ラジオ・テレビへの干渉問題を特定および解決する方法)」このブックレットは、U. S. Government Printing Office, Washington D.C. 20402 U.S.A. から入手できます。

本装置の製造元または登録者による明示的な承認を受けずに変更または修正を行った場合、アメリカ連邦通信委員会の規制に基づき、ユーザーは本装置を操作する権利を失う場合があります。

FCC 規制に準拠するには、本装置でシールドケーブルを使用する必要があります。許可されていない装置またはシールドが付いていないケーブルを使って操作すると、ラジオおよびテレビ受信の干渉を起こす原因となる可能性があります。

FCC RF 被爆についての声明文：この装置は 802.11a モードで動作可能です。5.15 - 5.25 GHz の周波数範囲で動作する 802.11a 装置については、アメリカ国内の Mobile Satellite Services (MSS) への有害な干渉を削減するために屋内での動作が制限されます。802.11a モード (5.15 - 5.25 GHz バンド) で装置を動作することができる WiFi Access Points は、屋内での使用に限って最適化されます。WiFi ネットワークがこのモードで動作できる場合は、WiFi の屋内での使用を制限し、連邦規則に違反せず Mobile Satellite Services を保護してください。

1. このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと同じ場所に置いたり、併用したりしないでください。
2. この装置は、管理されていない環境に対して規定された RF 放射線被ばく限度に準拠しています。この装置は、放射物と人体の間隔を最低 20 cm 離して設置および操作してください。

Base Unit FCC ID: 2AAED-R9861521

Button FCC ID (モデル R9861500D01): 2AAED-R9861500D01

Button FCC ID (モデル R9861500D01C): 2AAED-R9861500D01

ClickShare Button 2AAED-R9861500D01 は検査され、FCC RF 放射ガイドラインに準拠しています。報告されている最大 SAR 値は 0.915W/kg です。

カナダ産業省 (IC) 通知

この装置はカナダ産業省のライセンス免除 RSS 規格に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に基づきます：(1) この装置は干渉の原因となってはならない。(2) この装置は望ましくない動作の原因となる干渉を含み、受信する干渉を許容しなければならない。

Radio Frequency (RF) 放射情報

Barco ワイヤレス装置の放射出力電源は、カナダ産業省 (IC) ラジオ周波数放射制限以下です。Barco ワイヤレス装置は、通常の操作中に人が接触する可能性を最小限にする方法で使用する必要があります。

注意: 高周波照射への暴露。

1. カナダの RF 曝露コンプライアンス要件を満たすために、このデバイスとそのアンテナは、他のアンテナまたは送信機と一緒に配置したり、動作させたりしないでください。
2. RSS 102 RF 曝露コンプライアンス要件を満たすために、このデバイスのアンテナとすべての人との間に少なくとも 20 cm の離隔距離を維持する必要があります。

Base Unit IC: IC:21559-R9861521

Button IC (モデル R9861500D01) : 9393B-R9861500D01

Button IC (モデル R9861500D01C) : 9393B-R9861500D01

IC アンテナについての声明文

カナダ産業省の規則の下、このラジオ送信機は、カナダ産業省によって送信者に対して承認されているタイプおよび最大(または少ない)利得のアンテナを使用した場合に限って操作できます。他人へのラジオ干渉の可能性を少なくするため、アンテナのタイプとその利得が、等価等方放射電力 (e.i.r.p.) が問題のない通信の必要値を超えないように選択する必要があります。

このラジオ送信機 21559-R9861521 は、最大許容利得および示された各アンテナタイプで求められるアンテナインピーダンスで、以下にリストしたアンテナタイプで操作することがカナダ産業省によって承認されています。アンテナタイプはこのリストには含まれず、そのタイプに示された最大利得を超える利得を持つことは、この装置の使用では厳格に禁止されています。

屋内使用のみの警告

5,150 ~ 5,250Mhz の帯域での操作は、同一チャンネルの移動体衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減するために屋内使用のみとしてください。

Informations concernant l'exposition aux fréquences radio (RF)

La puissance de sortie émise par l'appareil de sans fil Barco est inférieure à la limite d'exposition aux fréquences radio d'Industry Canada (IC). Utilisez l'appareil de sans fil Barco de façon à minimiser les contacts humains lors du fonctionnement normal.

Avertissement: L'exposition aux rayonnements fréquences radio

1. Pour se conformer aux exigences de conformité RF canadienne l'exposition, cet appareil et son antenne ne doivent pas être co-localisés ou fonctionnant en conjonction avec une autre antenne ou transmetteur.
2. Pour se conformer aux exigences de conformité CNR 102 RF exposition, une distance de séparation d'au moins 20 cm doit être maintenue entre l'antenne de cet appareil et toutes les personnes.

IC Unité de Base: 21559-R9861521

IC Button (modèle R9861500D01): 9393B-R9861500D01

IC Button (model R9861500D01C): 9393B-R9861500D01

Déclaration d'antenne d'Industrie Canada (IC)

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

Le présent émetteur radio 21559-R9861521 a été approuvé par Industrie Canada pour fonctionner avec les types d'antenne énumérés ci-dessous et ayant un gain admissible maximal et l'impédance requise pour chaque type d'antenne. Les types d'antenne non inclus dans cette liste, ou dont le gain est supérieur au gain maximal indiqué, sont strictement interdits pour l'exploitation de l'émetteur.

Utilisation à l'intérieur seulement

La bande 5 150-5 250 MHz est réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

目次

1 「設置ガイド」のイントロダクション	25
1.1 説明書	26
1.2 記号およびフォント	26
2 CSE-200+ の仕様	27
2.1 CSE-200+ について	28
2.2 CSE-200+ の仕様	29
2.3 Base Unit について	30
2.4 Button について	32
2.5 モバイル装置のサポート	34
2.6 ClickShare Base Unit が使用するポート	34
3 紹介	35
3.1 環境条件の確認	36
3.2 基本ワークフロー	36
4 CSE-200+ の設置	37
4.1 Base Unit の設置方法	38
4.2 テーブル マウント	38
4.3 ウォール マウント	38
4.4 Base Unit へのビデオ信号の接続	39
4.5 音声の接続	40
4.6 LAN 接続	41
4.7 すぐに使用可能	41
4.8 イーサネットリンクですぐに使用可能	42
4.9 企業ネットワークへの統合	42
4.10 専用企業ネットワークへの統合	44
4.11 電源接続	45
4.12 初めての起動	48
5 Button の準備	49
5.1 ペアリング	50
5.2 ClickShare Extension Pack	51
5.3 ClickShare Extension Pack インストーラ	51
5.4 ClickShare Windows 認定ドライバ	52
5.5 ClickShare デスクトップアプリ	53

6	CSE-200+ 構成	55
6.1	構成へのアクセス	57
6.2	ClickShare 構成ウィザード	60
6.3	オンスクリーン言語とテキスト サイズ	62
6.4	会議室情報	64
6.5	個人用設定、壁紙	65
6.6	個人用設定、独自の壁紙	66
6.7	構成ファイルの管理	68
6.8	ディスプレイ設定、出力	70
6.9	ディスプレイ設定、入力	71
6.10	音声設定	71
6.11	WiFi 設定	72
6.12	WiFi 設定、ワイヤレスクライアント	76
6.13	WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、EAP-TLS	77
6.14	WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、EAP-TTLS	79
6.15	WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、PEAP	80
6.16	WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、WPA2-PSK	81
6.17	LAN 設定	82
6.18	LAN 設定、有線認証	84
6.19	LAN 設定、EAP-TLS セキュリティモード	85
6.20	LAN 設定、EAP-TTLS セキュリティモード	87
6.21	サービス、モバイル装置	88
6.22	サービス、ClickShare API、API を使用したリモート コントロール	90
6.23	XMS サーバ統合	91
6.24	サービス、SNMP	91
6.25	サービス、リモート Button のペアリング	92
6.26	セキュリティ、セキュリティ レベル	93
6.27	セキュリティ、パスワード	94
6.28	セキュリティ、HTTP 暗号化	95
6.29	Base Unit のステータス情報	98
6.30	日時の設定、手動	98
6.31	日時の設定、タイム サーバー	100
6.32	省電力設定	100
6.33	Button	102
6.34	Button、外部アクセスポイント	102
6.35	Button、外部アクセスポイント、モード EAP-TLS	103
6.36	Button、外部アクセスポイント、モード EAP-TTLS	104
6.37	Button、外部アクセスポイント、モード PEAP	105
6.38	Button、外部アクセスポイント、モード WPA2-PSK	106
6.39	黒板	107
6.40	ファームウェア更新	108
6.41	サポートとアップデート、トラブルシューティング、ログ設定	109
6.42	工場出荷時のデフォルト	110
7	ファームウェア更新	113
7.1	ファームウェア更新	114
8	トラブルシューティング	115
8.1	トラブルシューティング一覧	116
9	環境情報	121
9.1	廃棄に関する情報	122
9.2	Rohs 指令対応	122
9.3	輸入元連絡先情報	124

「設置ガイド」のイ ントロダクション

1

1.1	説明書	26
1.2	記号およびフォント	26

1.1 説明書

説明書について

この設置ガイドは、会議室に CSE-200+ を設置する方法について説明しています。また、すべてを動作可能にする方法についても説明します。CSE-200+ の設定方法についても詳しく説明します。

入手可能なシステム説明書

設置マニュアルの次に、ユーザーガイド、安全ガイド、API ガイドおよびサービスマニュアルが、Barco の Web サイト www.barco.com/clickshare で提供されています。

「安全ガイド」の印刷物は、ご購入時の CSE-200+ の箱に同梱されています。



CSE-200+ のバージョンによって、本マニュアルに記載される図の一部が異なる場合がありますが、機能には一切影響ありません。

1.2 記号およびフォント

記号の概要

マニュアルでは次のアイコンが使用されます:

	注意
	警告
	情報、用語定義。用語についての一般情報
	メモ: では記載事項についての追加的な情報を提供します。
	ヒント: では記載事項についての追加的なアドバイスを提供します。

フォントの概要

- ボタンは太字で表記します (例: **OK**)。
- メニュー項目は、斜体で表記します。
- ステップに関連する注記、ヒント、警告、注意は、斜体で表記します。
- 手順に関連する注記、ヒント、警告、注意は、対応するアイコンに続く 2 行の間に太字で表記します。

CSE-200+ の仕様

2

2.1	CSE-200+ について.....	28
2.2	CSE-200+ の仕様.....	29
2.3	Base Unit について.....	30
2.4	Button について.....	32
2.5	モバイル装置のサポート.....	34
2.6	ClickShare Base Unit が使用するポート.....	34

2.1 CSE-200+ について

CSE-200+ セット

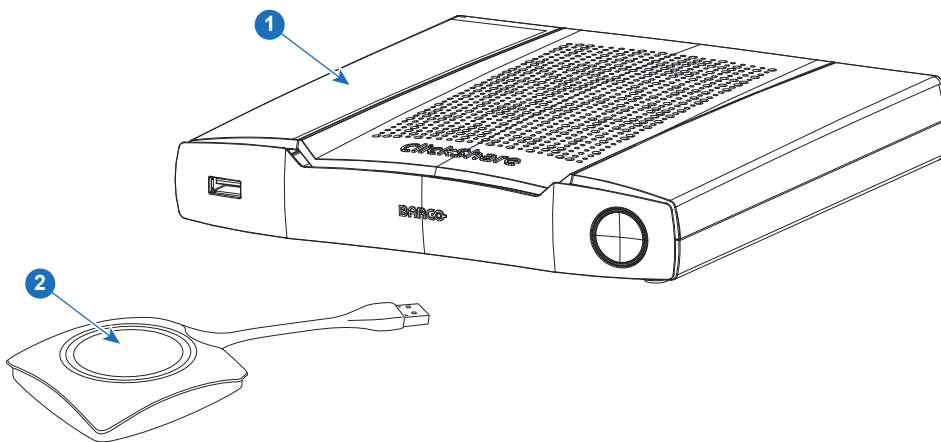
CSE-200+ を使用すると、Button を 1 度クリックするだけで会議室のビデオシステムに接続できます。

この CSE-200+ は、プレゼンターがプレゼンテーションをすぐにスクリーンに表示できるようにするだけでなく、会議の他の出席者もより積極的に参加できるようにします。その結果、会議の効率性が向上し、より優れた意思決定をすることが可能です。

現在、市場には 4 種類のセットがあります。WiFi 規制により、各セットはそれぞれ特定の地域で販売されています。

コンポーネント CSE-200+ セット

スタンダード CSE-200+ セットには、Base Unit および 2 つの Button が含まれています。製品の購入場所によって、Base Unit のソフトウェアは異なります。必要に応じて、追加の Button および Button を保管するためのトレイを購入していただくことも可能です。



画像 2-1

- | | |
|---|-----------|
| 1 | Base Unit |
| 2 | ボタン |

同梱アクセサリ

製品を購入する国によって、以下の地域別アクセサリも CSE-200+ の箱に同梱されています。

製品	梱包物	同梱アクセサリ
R9861521xx ²	<ul style="list-style-type: none"> • R9861521 • 1x R9861500D01 	<ul style="list-style-type: none"> • AC クリップ タイプ A、C、G、I の DC アダプター³ • 印刷された安全マニュアル
R9861500D01	1x R9861500D01	
R9861500D01C	1x R9861500D01C	

お客様の国で使用できる適切な地域別アクセサリについては、現地販売代理店にお問い合わせください。

2: xx=EU, CN, NA, ZH, RW,

3: 同梱の AC クリップは地域によって異なる場合があります

2.2 CSE-200+ の仕様

Base Unit

寸法 (HxWxD)	39mm x 200mm x 202mm
電源	標準 110/220 V AC プラグ
消費電力	動作: 最大 50W スタンバイ: <8W (ネットワーク型スタンバイ)、<0.5W (ディープ・スタンバイ・モード)
重量	900 g
オペレーティング・システム	Windows 7/8/8.1/10 32 & 64 ビット macOS 10.13/10.14 (Mojave) Android v7 & v8 & 8.1 (ClickShare アプリ) iOS 11、12 (ClickShare アプリ)
ビデオ出力	1x HDMI 1.4b
ビデオ入力	1x HDMI 1.4b
出力解像度	4K UHD (3840*2160) @ 30Hz
入力解像度	1920x1080 @60Hz
オーディオ	HDMI 経由、アナログはオーディオジャック 3.5mm 経由、S/PDIF
AirPlay のサポート	iOS ミラーリング (AirPlay) iOS 9.0 から iOS 12 まで / Mac OS 10.14 (Mojave)
Google Cast 非対応	Android 8
Miracast サポート	Windows 10
フレームレート	最大 30fps*
画面上の同時ソース数	2
同時接続数	16
iPad、iPhone、Android との互換性	ClickShare アプリ経由で Android と iOS デバイスの両方に対してドキュメント、ブラウザ、カメラを共有
拡張型デスクトップ	利用可能 (オペレーティング・システムに依存)。ClickShare 拡張パックを必要とする場合があります。
認証プロトコル	スタンドアロン・モードで WPA2-PSK ネットワーク統合モードで ClickShare Button を使用する WPA2-PSK または IEEE 802.1X
無線伝送プロトコル	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac および IEEE 802.15.1
接続距離	信号強度変調で調節可能; ClickShare Button および ClickShare Base Unit 間が最大 30m (100 ft)
周波数帯域	2.4 GHz および 5 GHz (一部の地域で DFS チャンネル対応、近日提供)
接続	1x イーサネット LAN 1Gbit 1x USB タイプ C 2.0 (後面); 2x USB タイプ A 2.0 (後面); 1x USB タイプ A 2.0 (前面) オーディオ・アナログ・ライン出力ミニ・ジャック・ソケット (3.5mm)、デジタル S/PDIF
ノイズレベル	最大25dBA @ 0-30°C

	最大30dBA @ 30-40°C
適用温度範囲	動作: 0°C ~ +40°C (+32°F ~ +104°F) 最大: 35°C (95°F) @ 3,000m 保管: -20°C ~ +60°C (-4°F ~ +140°F)
湿度	保管: 0 ~ 90% 相対湿度、結露なきこと 動作: 0 ~ 85% RH、結露なし
盗難防止システム	ケンジントン・ロック
証明書	FCC/CE
保証	3年間が標準
* 注記	*In optimal WiFi conditions with minimal WiFi interference and as measured during our quality validation. Check Network Deployment Guide for more info on WiFi optimisation and ideal configuration depending on your network environment.

Button

重量	75 g/0.165 ポンド
周波数帯域	2.4 GHz および 5 GHz
無線伝送プロトコル	IEEE 802.11 a/b/g/n
認証プロトコル	スタンドアロン・モードで WPA2-PSK ネットワーク統合モードで WPA2-PSK または IEEE 802.1X
寸法 (HxWxD)	16.3 mm x 59.3 mm x 162.52 mm / 0.64" x 2.335" x 6.398"
消費電力	USB-C 給電 DC 5V 350mA 標準 500mA 最大

2.3 Base Unit について



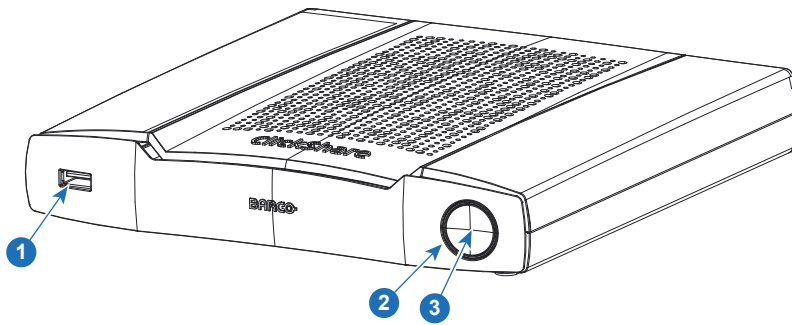
Base Unit

Base Unit は、Button からワイヤレス入力を受信し、会議室のディスプレイのコンテンツおよび会議室のオーディオシステムの音をコントロールします。
Base Unit は 2 つの方法で設置できます。

Base Unit 機能

Base Unit は、Button からワイヤレス入力を受信し、会議室のディスプレイのコンテンツおよび会議室のオーディオシステムの音をコントロールします。

Base Unit は会議室のキャビネットの中に置いたり、会議室のテーブルの上に置いたり、壁に取り付けたりすることができます。Base Unit の設置方法に関する手順は、「設置ガイド」を参照してください。



画像 2-2

- | | |
|---|---------------|
| 1 | USB タイプ A ポート |
| 2 | ステータス LED リング |
| 3 | 待機 Button |

USB ポート

USB ポートは、Button を Base Unit にペアリングして Base Unit および Button の両方のソフトウェアを更新する際に使用します。

Base Unit に Button を接続すると、Button は Base Unit とペアリングされます。Base Unit は、Button のソフトウェアおよびファームウェアが最新のものであるかどうかを確認します。最新のものでない場合は、Base Unit がソフトウェアおよび / またはファームウェアをアップデートします。

コンバータを使用して、USB Type-C™ コネクタ付きの Button を Base Unit の前面 USB ポートに接続します。USB Type-C™ ポートは背面にあります。

ステータス LED リング

Base Unit の電源ボタン周辺にある LED リングの色は、システムのステータスを示します。

LED の動作	説明
赤色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> Button からのコンテンツを受信し、ディスプレイにストリーミングしています。 Button のペアリングとソフトウェアアップデートが完了しました。Button を Base Unit から取り外すことができます。 Base Unit の起動プロセスの最初のフェーズが進行中です。
白色で点滅	<ul style="list-style-type: none"> システムが起動中 (第 2 フェーズが進行中) です。 Button のペアリングが進行中です。 Base Unit のソフトウェアアップデート
白色でゆっくり点滅	<ul style="list-style-type: none"> ECO スタンバイ モード
白色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> 起動状態 (ディスプレイに起動メッセージ表示) です。 ペアリングが完了しました。
赤色で点滅	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生しました。
消灯	<ul style="list-style-type: none"> ディープ スタンバイ/オフ

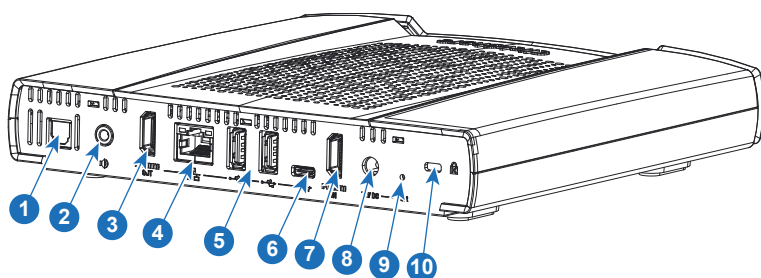
電源 Button

Base Unit の前面にある Button は、Base Unit の電源を投入した後、待機スイッチとして機能します。

- 通常動作モード時にこの Button を押すと、システムは所定の待機モードに入ります。
- 待機時にこの Button を押すとシステムが起動し、通常動作モードに入ります。

Base Unit の背面レイアウト

接続パネルは、Base Unit の背面にあります。



画像 2-3 裏面 Base Unit

1	デジタル音声出力
2	アナログ音声出力
3	HDMI 出力
4	LAN Ethernet 接続
5	USB タイプ A ポート
6	USB Type-C™ ポート
7	HDMI 入力
8	電源接続
9	リセット
10	Kensington ロック

機械的固定ポイント

機械的固定ポイントは、Base Unit の底部にあります。

アンテナ

アンテナは CSE-200+ に内蔵されています。

Base Unit の底面レイアウト

Barco の部品番号、リビジョン番号、製造日 (週-年)、および製造番号が記載された製造番号ラベル。

適用される認可ロゴが記載された製品ラベル。

製品ラベルの記載内容:

- Barco のロゴ
- 製品名
- Barco の部品番号
- 電源定格
- 適用される規格のマーク (CE、CCC、UL など)
- 廃棄規則のマーク
- 製造国

2.4 Button について

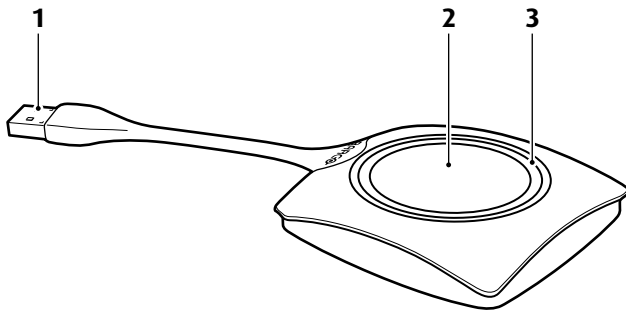


Button

Button は、個々の PC または MAC スクリーンを会議室のスクリーンで共有するかどうかを切り替えます。

Button のレイアウト

Button には 3 つの主要コンポーネントがあります。



画像 2-4 Button のレイアウト

1	USB 端子
2	ボタン
3	LED リング

USB 端子

USB 端子を使って、Button をラップトップ (スクリーンの共有のため) または Base Unit (Button を Base Unit にペアリングするため、またはソフトウェアをアップデートするため) に差し込みます。Button R9861500D1 には USB タイプ A コネクタ、Button R9861500D1C には USB タイプ C™ コネクタがあります。ノート PC の USB ポートまたは Base Unit の USB ポートの種類に応じて、コンバータを使用する必要があります。

Button

ラップトップのスクリーンのコンテンツを会議室のディスプレイに表示するには、Button をクリックします。会議中 Button をクリックすると、スクリーンの共有状態を切り替えることができます。

LED リング

LED リングは、お使いの ClickShare の現在のステータスを示します。

LED の動作

説明

白色で点滅

- the Button はラップトップに接続され、初期化中またはユーザが ClickShare アプリケーションを開始するのを待機中。
- Base Unit にある Button のペアリング/ソフトウェアアップデート進行中。

白色で点灯

- ClickShare 画面共有の開始準備完了。
- ペアリング完了。Button を Base Unit から取り外すことができます。

赤色で点灯

- ディスプレイで画面の共有中⁴。
- ペアリングおよびソフトウェアアップデートは完了。Button を Base Unit から取り外すことができます。

赤色で点滅

- エラー発生。

オフ (消灯)

- the Button が USB ポートに差し込まれていないか、適切に差し込まれていない。
- the Button に欠陥がある可能性があります。
- USB ポートまたはコンピューターが故障している。

Button ラベル

Button の底面に貼付されたラベルの記載内容:

- Barco のロゴ
- Barco の部品番号

4: コンテンツを共有している間、ノート PC はスタンバイ状態になりません。共有が停止すると、ノート PC は再びスタンバイ状態になることができます。

- 製造番号
- リビジョン番号
- 適用される規格のマーク
- 廃棄規則のマーク
- 製造国



Button を取り扱う際には注意してください。乱雑に扱うと故障の原因となる場合があります。

2.5 モバイル装置のサポート

概要

下の一覧にあるアプリは ClickShare でサポートされていて、Google Play または Apple App Store からお使いのモバイル装置にインストールできます。

ClickShare をモバイルデバイスで使用する前に、モバイルデバイスの WiFi を ClickShare Base Unit の WiFi と接続する必要があります。お使いのモバイル装置のユーザーガイドに記載されている指示に従ってください。

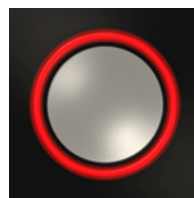
アプリ

ClickShare アプリ

使用デバイス

iOS
Android

ロゴ



2.6 ClickShare Base Unit が使用するポート

概要

Sender		CSE-200+ Base Unit
ClickShare Button	TCP	6541、6542、6543、6544、6545
	UDP	514
Windows、 MacOS、iOS、 Android 向け ClickShare アプリ	TCP	6541、6542、6543、6544、6545
	UDP	5353
ClickShare 構成	TCP	80、443
ClickShare REST API および XMS	TCP	4000、4001
AirPlay	TCP	4100-4200、7000、7100、47000
	UDP	4100-4200、5353
Google Cast	TCP	8008、8009、9080
	UDP	1900、32768:61000 ⁵
自動更新	TCP	80、443
Button Manager	TCP	6546

構成で自動更新機能に対してプロキシ設定を有効にしている場合は、別のポートも使用されることがあります。

5: ビデオストリーミング用に、Google Cast は、32768 より大きい UDP ポートをランダムに選択します。

紹介

3

3.1	環境条件の確認.....	36
3.2	基本ワークフロー.....	36

3.1 環境条件の確認

環境条件の確認

装置の周りに大量のホコリがあるような環境で装置を設置する場合には、装置に清潔な空気が届く前にホコリを取り除くことを強くお勧めします。装置から大量のホコリを避けるまたはブロックする装置または構造が必要です。不可能な場合は、装置を清潔な空気のある環境に再設置することを考慮してください。

装置を害のある環境または汚染された空気から保護するのは、機器の所有者であるお客様の責任です。製造元は、装置が不注意な方法、誤った方法、マニュアルに従わない使用方法で使用された場合は、修理を拒否する権利を保有しています。

環境温度条

最高動作温度: +40°C または 40.00°C

最低動作温度: +0°C または 0.00°C

保管温度: -10°C ~ 60°C (-10.00°C ~ 140°F)

湿度条件

保管時: 0 ~ 90% 相対湿度 (結露しないこと)

動作時: 0 ~ 85% 相対湿度 (結露しないこと)

環境

ラジエーターや温風ダクトなど発熱源に近い場所や、直射日光、過剰なホコリや湿度の影響を受ける場所に装置を設置しないでください。部屋の熱気は天井に向かって上がることにご注意してください。設置場所近くの温度がこの範囲を超えていないことを確認します。

3.2 基本ワークフロー

CSE-200+ を使う前に

1. ClickShare コンポーネントおよびアクセサリーを箱から取り出します。
CSE-200+ の箱の梱包物に関する詳細は、28 ページ、CSE-200+ について をご参照ください。 を参照してください。
2. 2 つの設置方法のいずれかで Base Unit を会議室に設置します。
設置手順の詳細は、37 ページ、CSE-200+ の設置 をご参照ください。 を参照してください。
3. Base Unit とディスプレイ間のビデオ信号を接続します。
4. Base Unit からのオーディオを会議室のサウンドシステムに接続します (ジャックまたは SPDIF の場合のみ必要)。
5. ネットワークを使用して構成する必要がある場合は、Base Unit とローカルネットワークをネットワークケーブルで接続します (Base Unit に電力を供給するために接続していない場合)。
6. Base Unit を主電源に接続します。
詳しくは、45 ページ、電源接続 をご参照ください。 を参照してください。
7. 必要に応じて、構成を使用して CSE-200+ を構成します。
CSE-200+ のさまざまな構成方法に関する詳細は、55 ページ、CSE-200+ 構成 をご参照ください。 を参照してください。



CSE-200+ の使用方法に関する詳細は、「CSE-200+ ユーザーガイド」を参照してください。このマニュアルは、Barco の Web サイト www.barco.com/clickshare でダウンロードできます。

CSE-200+ の設置

4

4.1	Base Unit の設置方法	38
4.2	テーブル マウント	38
4.3	ウォール マウント	38
4.4	Base Unit へのビデオ信号の接続	39
4.5	音声の接続	40
4.6	LAN 接続	41
4.7	すぐに使用可能	41
4.8	イーサネットリンクですぐに使用可能	42
4.9	企業ネットワークへの統合	42
4.10	専用企業ネットワークへの統合	44
4.11	電源接続	45
4.12	初めての起動	48

4.1 Base Unit の設置方法



最適な性能を確保するため、Base Unit はディスプレイの近くに設置し、Base Unit と Button の間に障害物を置かないようにしてください。



Base Unit を金属エンクロージャ内に設置しないでください。

設置方法のイントロダクション

Base Unit は、以下の 2 つの方法で会議室に設置できます。

- テーブルマウント
- ウォールマウント

Base Unit の片側側面には、後に Kensington ロックが表示されます。



警告: シーリングマウントは許可されていません。

スタンドアロンまたはネットワーク統合

Base Unit は、スタンドアロンユニットとして使用することも、企業ネットワークに統合することもできます。

- すぐに使用可能
- イーサネットリンクですぐに使用可能
- 企業ネットワークへの統合
- 専用企業ネットワークへの統合

4.2 テーブル マウント

概要

Base Unit を会議室テーブルの上に直接置きます。

Base Unit の総重量は 600 g です。

4.3 ウォール マウント

ウォール マウントについて

Base Unit を壁に取り付ける場合、取り付け金具は必要ありません。Base Unit はどのような向きで壁に取り付けても構いませんが、接続部を下に向けるようお勧めします。

Base Unit の総重量は 600 g です。

必要なツール

- ドリル (壁の種類によって必要なドリルの種類は異なります)
- ドライバー (使用するねじに合ったもの)

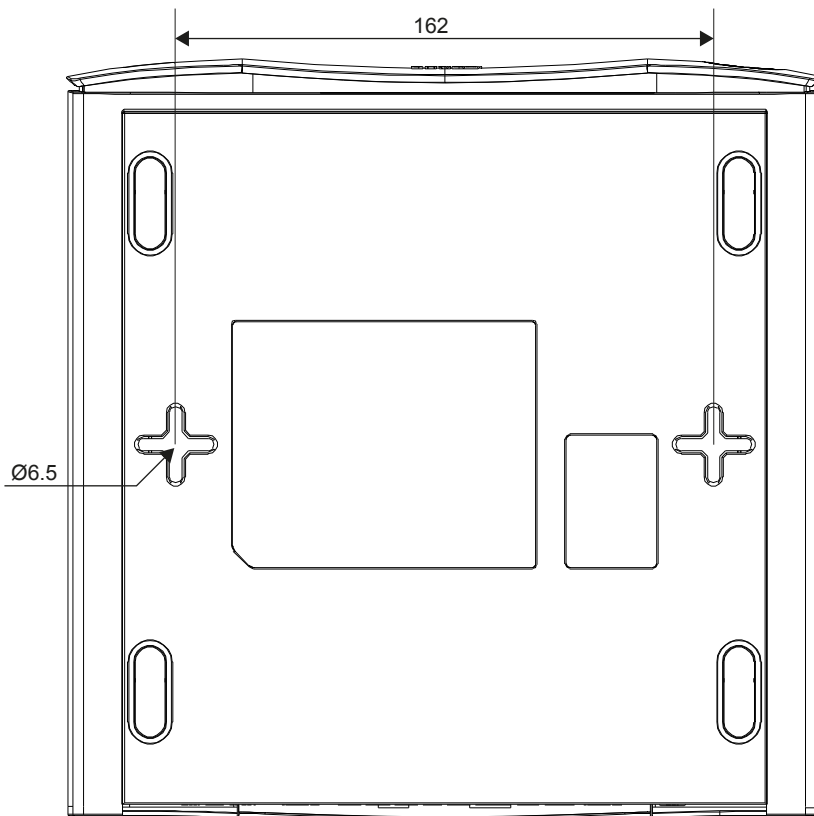
必要な部品

- 取り付けねじ 2 つ、ねじ頭の最大直径 6.5 mm
- プラグ 2 つ

取り付け方法

1. 図に示すように、壁または天井に 2 つの穴をあけます。

横の間隔: 162 mm、



画像 4-1 取り付け穴

- それぞれの穴にプラグを挿入し (必要に応じて、壁または天井の種類によって)、2 つのねじを締めます。ねじは緩く締めてください。



Note: 取り付けねじとプラグは CSE-200+ の箱に同梱されていません。ねじおよびプラグの種類は、Base Unit を取り付ける壁の種類 (石製、木製、プラスターボード製など) によって異なります。Base Unit の下部のプレートにある穴よりねじ頭が大きいことを確認してください (6.5 mm 未満)。

- Base Unit を両方のねじ頭に引っ掛け、Base Unit が固定されるまで下方向にスライドします。

4.4 Base Unit へのビデオ信号の接続

ビデオ信号の接続について

Base Unit にはスクリーンを 1 台接続できます。

ディスプレイを接続するには、Base Unit とディスプレイ間を HDMI で接続します。

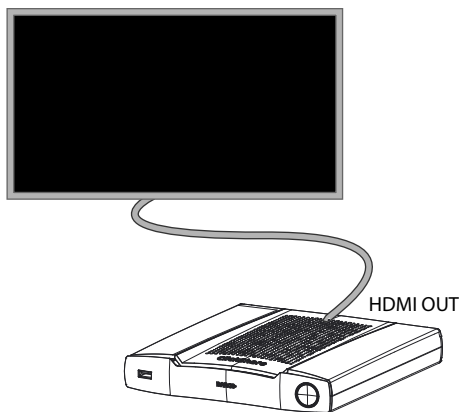
接続するには

- ディスプレイケーブルを使って、Base Unit をディスプレイに接続します。



Note: ディ스플레이ケーブルは、購入時の ClickShare の箱には同梱されていません。

ディスプレイ構成を設定する際、HDMI ケーブルをディスプレイに接続します。必要に応じて、ディスプレイポートまたはディスプレイ側の DVI ポートにアダプターを接続します。



画像 4-2 ディスプレイの接続

4.5 音声の接続

音声について

ClickShare ボタンは、ユーザーのラップトップの音声出力をキャプチャし、それをビデオ信号とともに Base Unit に送信します。音声は、ミニジャックソケット (3.5mm) からラインレベルで、TOSLINK ソケット、および HDMI 接続を使用して出力されます。

音声信号をビデオ信号とともに送信するかどうかは、ユーザーが決定できます。このオプションは、ラップトップのスピーカーまたはヘッドフォンをコントロールする際に使用するのと同じツール (オペレーティングシステムの音声コントロール (Windows の場合: [コントロール パネル] > [サウンドとオーディオデバイス])、またはラップトップのキーボードにあるボタン (ミュート/ミュート解除、ボリュームを調整するボタンなど) を使って選択できます。

音声信号とビデオ信号は同期されます。

HDMI を使用した音声

ディスプレイが HDMI を使用して接続されていて、それが音声をサポートしている場合、音声を別接続する必要はありません。音声信号は、ビデオ信号とともにディスプレイに送信されます。

音声を別接続するには、

1. アナログ出力を使用する場合は、ミニジャック (3.5 mm) の付いた音声ケーブルを Base Unit のアナログ音声出力に接続します。
デジタル出力を使用する場合は、TOSLINK コネクタの付いた光ファイバーケーブルを Base Unit のデジタル音声出力に接続します。
2. そのケーブルを会議室のサウンドシステムに接続します。



音声出力は構成で選択する必要があります。詳しくは、71 ページ、音声設定 をご参照ください。 を参照してください。

サウンドが送信されない場合

一部の Windows 環境では、サウンドが送信されません。これを解決するには、以下の手順に従ってください:

1. システムトレイにあるサウンドアイコンを右クリックし、[再生デバイス] を選択します。[サウンド] ウィンドウが開きます。
2. [スピーカー ClickShare]、[規定値に設定] を選択し、[適用] をクリックします。

4.6 LAN 接続

LAN 接続について

Base Unit は、ローカルネットワークまたはラップトップに直接接続できます。通常の操作で LAN 接続は必要ありません。

最大許容 LAN 速度: 1000 Mbit

LAN 接続は以下の場合に使用します:

- CSE-200+ ユニットの構成する場合
- ソフトウェアをアップデートする場合
- メンテナンス作業を行う場合
- お使いの CSE-200+ ユニットのネットワーク統合を行う場合

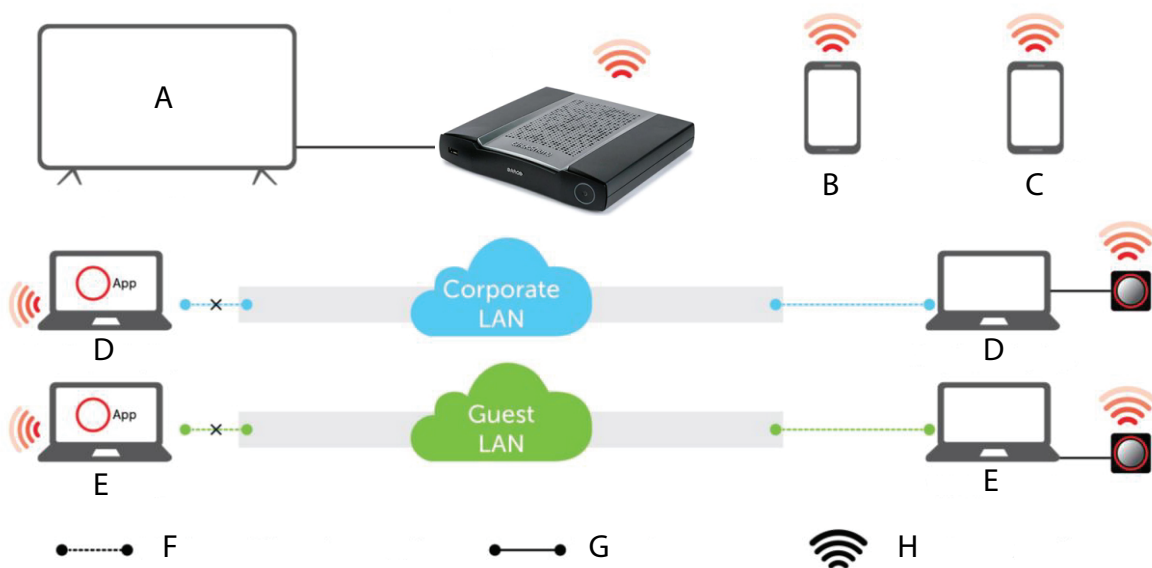
接続方法

1. RJ-45 コネクタ付きのネットワークケーブルを LAN ポートに挿入します。
2. そのケーブルを LAN に接続します。

4.7 すぐに使用可能

概要

このデフォルトモードで、ClickShare Base Unit と Button は、エンタープライズネットワークに統合されていなくても、すぐに使用できます。ユーザは、ClickShare アプリを使用するか、Airplay または Google Cast を使用してモバイルデバイスを使用して、ClickShare Button 経由で Base Unit WiFi に直接接続できます。



画像 4-3 すぐに使用可能

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| A 会議室の画面 | E ゲストのラップトップ |
| B 従業員のモバイル | F ワイヤレスまたは Ethernet 接続 |
| C ゲストモバイル | G Ethernet 接続 |
| D 従業員のラップトップ | H ワイヤレス接続 |

注: ClickShare Button を使用すると、インターネットに接続したままにできます。ClickShare アプリ、Airplay または Google Cast を使用するには、Base Unit に直接接続する必要があります。デバイスがデータ (3G/4G) を同時に使用できる場合にのみインターネットにアクセスできます。ユーザエクスペリエンスを向上させるために、イーサネットケーブルを Base Unit に接続することを強くお勧めします。

ClickShare Base Unit および Button をすぐに使用できることは、一時的なセットアップ、ビジターセンター、およびネットワーク統合の必要や可能性がない中小規模の設置に最適です。このセットアップでは、

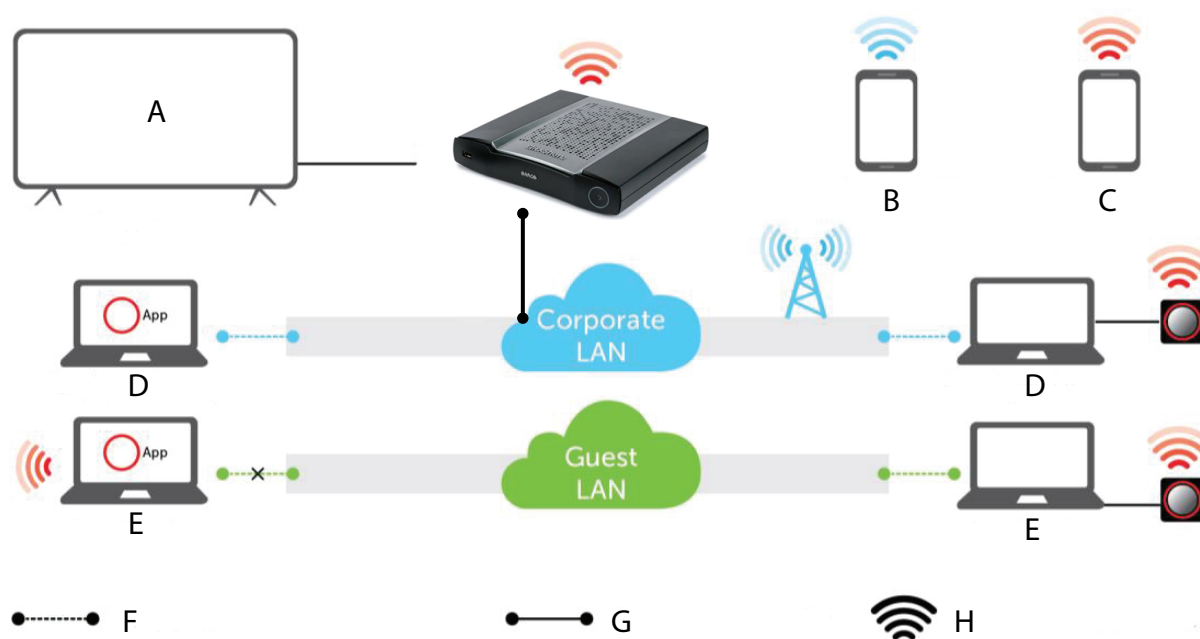
最小限の設置作業で、共有データをエンタープライズネットワークから完全に分離します。Base Unit の更新および設定は、手動で行う必要があります。

4.8 イーサネットリンクですぐに使用可能

概要

この拡張アウトオブボックスモードでは、ClickShare Base Unit と企業ネットワーク間でイーサネット接続を行います。ClickShare Base Unit WiFi は有効なままになっているため、ユーザは ClickShare アプリ、Miracast、Airplay、Google Cast を使用して、ClickShare Button を介して直接 Base Unit WiFi に接続できます。Airplay または Google Cast を使用して、ClickShare アプリを実行している従業員のコンピュータと従業員のモバイルデバイスは、企業 LAN 経由で接続できます。

注：ClickShare Button を使用すると、ゲストはゲスト LAN に接続したままでインターネット接続を維持できます。ゲストモバイルデバイスは通常、Base Unit に直接接続する必要があり、デバイスがデータ (3G/4G) を同時に使用できる場合にのみインターネットにアクセスできます。



画像 4-4 イーサネットリンクですぐに使用可能

A 会議室の画面
B 従業員のモバイル
C ゲストモバイル
D 従業員のラップトップ

E ゲストのラップトップ
F ワイヤレスまたは Ethernet 接続
G Ethernet 接続
H ワイヤレス接続

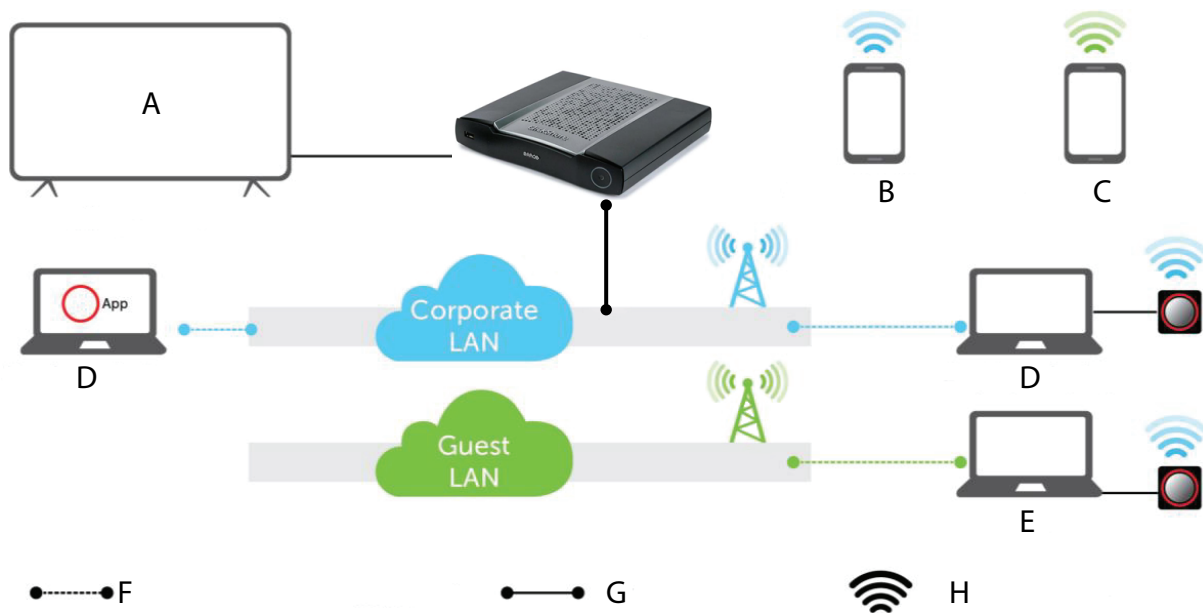
ClickShare Base Unit および Button をすぐに使用できることは、一時的なセットアップ、ビジターセンター、およびネットワーク統合の必要がない中小規模の設置に最適です。イーサネット接続により、従業員は WiFi ネットワークを切り替えなくても ClickShare アプリを使用できます。また、XMS による一元管理や自動更新も可能です。ゲスト BYOD ユーザは、通常、WiFi 接続を Base Unit SSID に切り替えられない限り、ClickShare Base Unit と共有できません。

4.9 企業ネットワークへの統合

概要

この完全なネットワーク統合モードで、ClickShare Base Unit は、ケーブル接続を介して企業ネットワークまたはゲストネットワークに統合されます。Base Unit のワイヤレスアクセスポイントは通常無効になっており、Button、ClickShare アプリ、Airplay、Google Cast、Miracast からのすべてのトラフィックは企業ネットワークを経由して Base Unit に送信されます。従業員とゲストは、ClickShare Button を介して、またはモバイルデバイスに接続されている場合に、直接共有することができます。従業員は、ClickShare アプリを使用して共有することもできます (ゲストユーザの場合、ゲストと企業ネットワーク間にブリッジが必要)。

注：ClickShare Buttons は、企業アクセスポイント（AP）を介して企業 LAN にワイヤレスで接続されま
す。すべての共有トラフィックは、LAN 経由で Base Unit にルーティングされます。



画像 4-5 企業ネットワーク統合

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| A 会議室の画面 | E ゲストのラップトップ |
| B 従業員のモバイル | F ワイヤレスまたは Ethernet 接続 |
| C ゲストモバイル | G Ethernet 接続 |
| D 従業員のラップトップ | H ワイヤレス接続 |

この settei は、ClickShare Units が単一の企業ネットワークに統合され、すべてのデバイスで使用される大規模企業のインストールに使用されます。

利点：

- WiFi アクセスポイントが少ないため、WiFi スペクトルをより適切に制御できます。
- ClickShare コンフィギュレーターまたは XMS を使用して、企業ネットワークに簡単に設置できます。
- Button および BYOD の WiFi カバレッジの向上⁶ デバイス。
- 従業員は、ClickShare を介して共有しながら、同じ企業ネットワーク上でモバイルデバイスを使用できます。
- 従業員はネットワークを切り替えることなく ClickShare アプリを使用して共有できるため、WiFi 経由でインターネットにアクセスできます。
- ゲストは ClickShare Button を使用して共有でき、WiFi 経由でインターネットにアクセスできます。Base Unit WiFi が有効になっている場合は、Base Unit に直接接続することもできます。

コンフィギュレーターを使用して設定する方法

1. Base Unit を接続し、ClickShare コンフィギュレーターを参照してログインします。
2. システムメニューの *Button* を選択し、設定の編集をクリックします。
ドロップダウンメニューから外部アクセスポイントを選択し、優先認証モードを選択して詳細を入力します。
[Save changes (変更の保存)] をクリックします。詳しくは、102 ページ、*Button* をご参照ください。
を参照してください。
3. Button を再度 Base Unit とペアリングします。
4. オプションで、Base Unit の WiFi をアクセスポイントに設定することも、オフに設定することもできます。詳細は、以下を参照してください。72 ページ、WiFi 設定

XMS による設定

1. XMS にログインし、*Base Units* タブに移動します。

6: Bring your own device

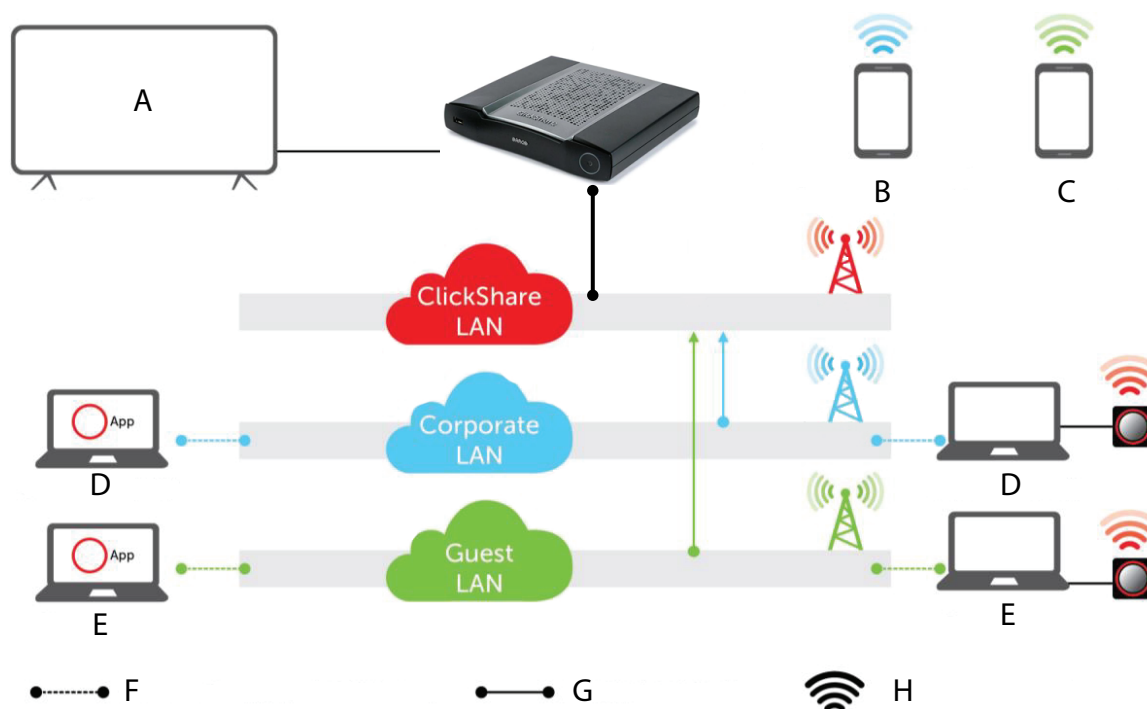
2. デバイスリストで、ネットワーク統合モードを導入する Base Unit を選択し、右上のメニューで編集をクリックします。
3. コンフィギュレータでシステム > ボタン接続先を参照します。
4. ドロップダウンメニューから外部アクセスポイントを選択します。
5. 優先認証モードを選択して詳細を入力します。
6. 終了したら、変更を保存をクリックします。
7. ClickShare Button を、更新した Base Unit と再ペアリングして、新しい設定を適用します
XML の使用方法に関する詳細は、XML のユーザガイドを参照してください。

4.10 専用企業ネットワークへの統合

概要

この統合モードで、ClickShare Base Unit は、ケーブル接続されたネットワークを介して専用物理 LAN または仮想 LAN に接続されます。Base Unit のワイヤレスアクセスポイント機能は、通常無効になっています。企業ユーザとゲストは、専用の LAN またはエンタープライズネットワークに接続されている場合、Airplay、Google Cast、Miracast を使用して、ClickShare アプリ経由で、およびモバイルデバイスで、Button ClickShare 経由で直接共有します。この設定により、より詳細なアクセス制御が可能になり、また、ClickShare ネットワークトラフィックを他のすべての IP トラフィックから分離して、帯域幅と遅延の観点からビジネス要件を確保できます。

注：ClickShare Button はまた、専用 LAN に接続され、すべての共有トラフィックはその LAN を経由して Base Unit に送信されます。ClickShare Button または ClickShare アプリを共有で使用している場合、すべてのユーザが自分のコンピュータを他の接続されたネットワークに接続したままで企業およびインターネットにアクセスできます。モバイルユーザは、ネットワーク設定で許可されている場合、社内 LAN 上でインターネットにアクセスできます。



画像 4-6 専用企業ネットワーク

A 会議室の画面
B 従業員のモバイル
C ゲストモバイル
D 従業員のラップトップ

E ゲストのラップトップ
F ワイヤレスまたは Ethernet 接続
G Ethernet 接続
H ワイヤレス接続

この設定は、既存のネットワークへの接続が不要であるか、必要でないため、専用ネットワークに ClickShare を統合するために使用されます。銀行、防衛産業、政府機関など、セキュリティ上の制約が厳しい大規模企業での導入に適しています。

利点：

- WiFi アクセスポイントが少ないため、WiFi スペクトルをより適切に制御できます。
- すべての Base Unit が独立した (仮想) LAN 内にあるため、ClickShare によるセキュリティリスクが排除されます。
- 割り当てられた IP アドレスなどを使用して、個別の (仮想) LAN 内のすべての ClickShare Base Unit を簡単に管理できます。
- ネットワーク構成で許可されている場合、モバイルユーザは共有時に現在のネットワークに接続したままになり、企業環境やインターネットにアクセスできます。企業ネットワークトラフィックは、コンテンツ共有のために専用 ClickShare ネットワークにルーティングされます。

コンフィギュレーターを使用して設定する方法

1. Base Unit を接続し、ClickShareコンフィギュレーターを参照してログインします。
2. システムメニューの *Button* を選択し、設定の編集をクリックします。
ドロップダウンメニューから外部アクセスポイントを選択し、優先認証モードを選択して詳細を入力します。
[Save changes (変更の保存)] をクリックします。詳しくは、102 ページ、*Button* をご参照ください。を参照してください。
3. *Button* を再度 Base Unit とペアリングします。
4. オプションで、Base Unit の WiFi をアクセスポイントに設定することも、オフに設定することもできます。詳細は、以下を参照してください。72 ページ、WiFi 設定

XMS による設定

1. XMS にログインし、*Base Units* タブに移動します。
2. デバイスリストで、ネットワーク統合モードを導入する Base Unit を選択し、右上のメニューで編集をクリックします。
3. コンフィギュレーターでシステム > ボタン接続先を参照します。
4. ドロップダウンメニューから外部アクセスポイントを選択します。
5. 優先認証モードを選択して詳細を入力します。
6. 終了したら、変更を保存をクリックします。
7. ClickShare *Button* を、更新した Base Unit と再ペアリングして、新しい設定を適用します
XML の使用方法に関する詳細は、XML のユーザガイドを参照してください。

4.11 電源接続

電源について

本製品は、「Class 2」または「LPS」(あるいは「Limited Power Source」)のマークが付けられた、UL 規格認定済みの電源 (出力定格 12 VDC 4.2 A) が供給されるよう設計されています。

この製品には、外部電源アダプターが付属しています。

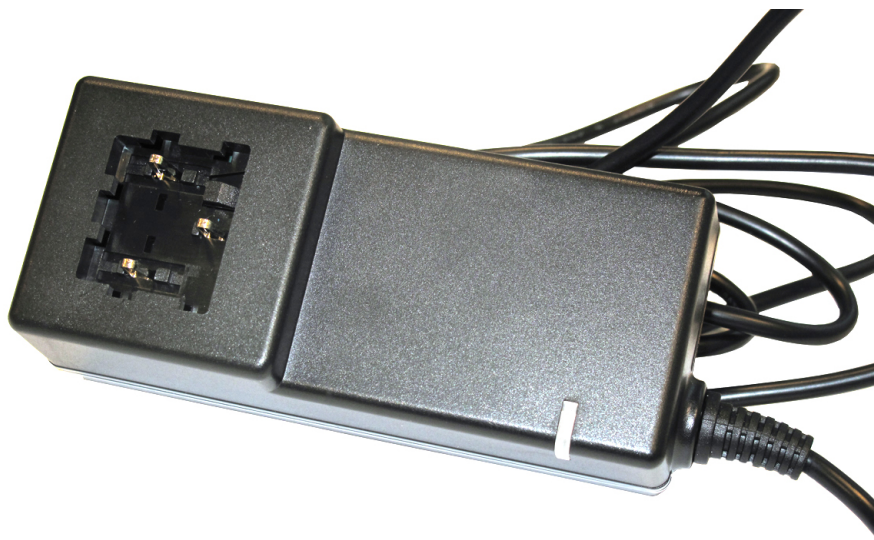
Base Unit に電力を供給するために、2 種類の電源が使用されます。1 つは、電源をコンセントに接続する交換可能なクリップ、もう 1 つは異なるタイプの電源コードを備えています。



Base Unit が給電されると起動します。その後電源ボタンは、スイッチのオン/オフを切り替えるのに使用できます。

クリップで外部電源アダプターを接続する方法

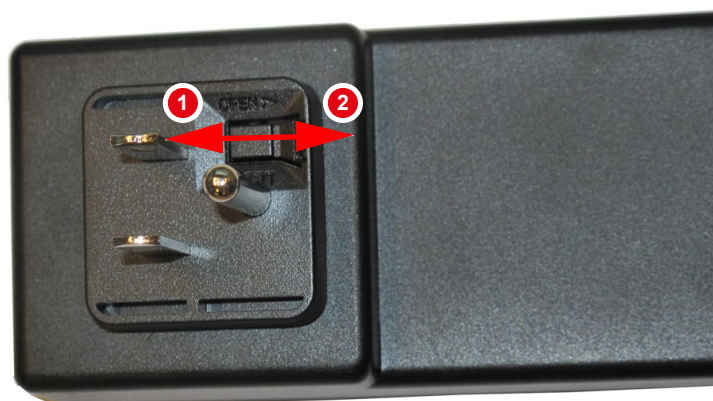
1. 電源アダプターのバレル端子を Base Unit の電源入力に差し込みます。
2. ClickShare の電源アダプターにある電源入力アダプター部 (米国、中国、欧州、または英国) をスライドします。お住まいの国に適合するものを使ってください。
 1. スライドさせてアダプタピース (1) をロックします。スライドさせてアダプタピース (2) のロックを解除します。



画像 4-7



画像 4-8



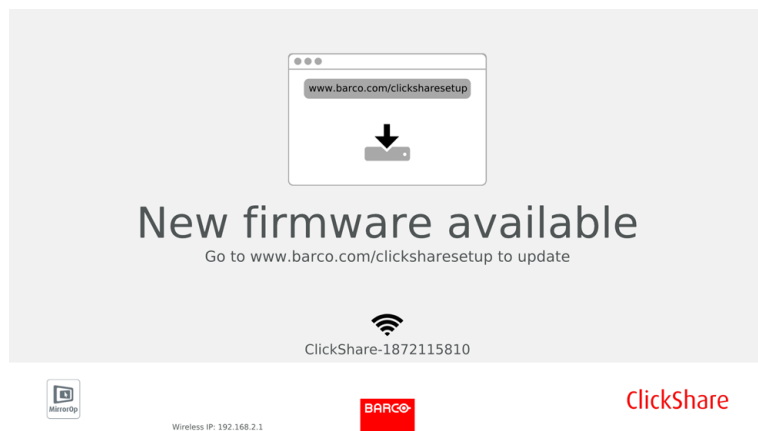
画像 4-9

3. 電源ケーブルをコンセントに接続します。

4.12 初めての起動

開始壁紙

起動時には、新しいCSE-200+更新壁紙が表示されます。



画像 4-12

新しいファームウェアをダウンロードしてインストールします。ファームウェアの更新の詳細については、114 ページ、ファームウェア更新 をご参照ください。



この壁紙は、今後 18 ヶ月以内に更新がない場合に再び表示されます。

Button の準備

5

5.1	ペアリング	50
5.2	ClickShare Extension Pack	51
5.3	ClickShare Extension Pack インストーラ	51
5.4	ClickShare Windows 認定ドライバ	52
5.5	ClickShare デスクトップアプリ	53

5.1 ペアリング

Button を Base Unit とペアリング

Button は、使用する前に、お使いの Base Unit に割り当てる必要があります。このプロセスをペアリングと呼びます。デフォルトでは、Base Unit セットに同梱の Button は、すでにその Base Unit にペアリングされています。

追加で Button を購入したり、Button を別の Base Unit に割り当てたりする必要がある場合は、Button を (再度) ペアリングする必要があります。Button のソフトウェアアップデートはバックグラウンドで実行され、ユーザがシステムを使用している間、ユーザに影響を与えることはありません。Base Unit ソフトウェアの古いバージョンにダウングレードまたはアップデートする場合は、Button を手作業でペアリングし、そのソフトウェアをアップデートする必要があります (WiFi を介した Button のアップデートが無効になっている場合のみ)。



Button は、一度に 1 台の Base Unit にのみペアリングできます。
Button は、最後にペアリングした Base Unit に常に接続します。

Button をペアリングするには、次の 2 つの方法があります。

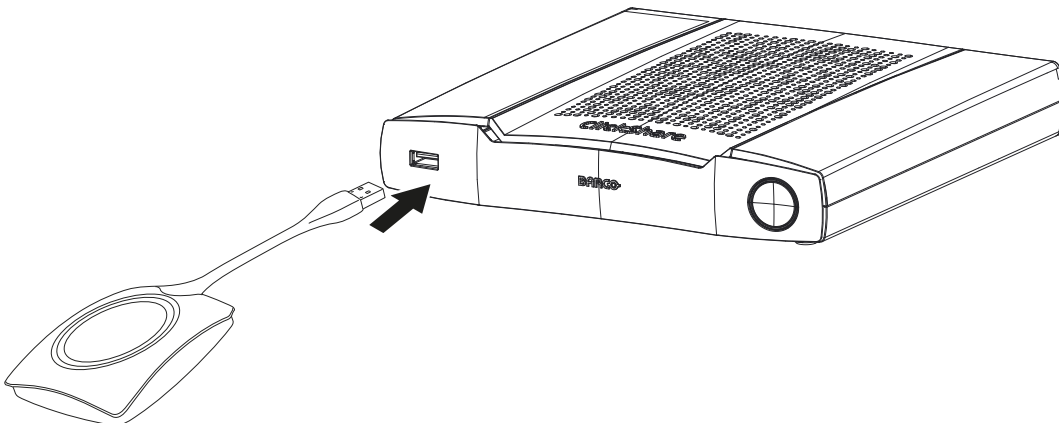
- Button を Base Unit に接続して。
- ラップトップで実行されている Button Manager アプリケーションを使用する。

接続で Button を Base Unit とペアリングするには、

1. 使用している Base Unit で利用できる USB ポートの 1 つに Button を挿入します (画像は例として示しており、すべての USB コネクタを使用できます)。



Note: 一部のポートまたは Button では、コンバータを使用する必要があります。



画像 5-1 Button のペアリング

Button の LED および Base Unit の LED が両方とも白色で点滅します。これはペアリングが進行中であることを示します。

Base Unit は、Button のソフトウェアが最新のものであるかどうかを自動的に確認します。Button のソフトウェアが最新のものでない場合は、Base Unit がアップデートします。これには時間がかかる場合があります。

ペアリングおよびアップデートプロセス中は、小さなステータスバーが表示されます。ペアリングプロセスの結果は、以下のとおり通知されます:

- LED が白色で点灯している場合、Button は Base Unit にペアリングされましたが、ソフトウェアアップデートは必要なかったことを示します。Button を Base Unit から取り外すことができます。
- LED が赤色で点灯している場合、Button は Base Unit にペアリングされ、ソフトウェアアップデートが終了したことを示します。Button を Base Unit から取り外すことができます。

2. Base Unit から Button を取り外します。

これで Button を使用する準備が整いました。

Button Manager を使用して Button を Base Unit にペアリングするには、

ノート PC で実行されている Button Manager クライアントアプリケーションを使って、Button を Base Unit に接続することなく、最大 4 つの Button を Base Unit に同時にペアリングできます。Button はお使いのノート PC に接続されます。Button Manager の詳細については、Barco の Web サイトからダウンロードできる Button Manager のユーザガイドを参照してください。

5.2 ClickShare Extension Pack

一般情報

ClickShare Extension Pack は、お客様の ClickShare のユーザーエクスペリエンスをアップグレードするためのツール集です。この Extension Pack には、ClickShare Launcher サービスと Extended Desktop 機能を有効にするドライバが含まれています。両方のツールがデフォルトでインストールされます。インストーラのデフォルト動作を変更するには、インストーラをコマンドラインパラメータで実行する必要があります。

ClickShare Extension Pack は、エンドユーザーが手動でインストールしたり、社内のラップトップイメージにあらかじめインストールしたり、SCCM や他のツールを使用して全社展開したりすることができます。

ClickShare Extension Pack は、Button および / または ClickShare デスクトップアプリと組み合わせて使用できます。

最新の拡張パックは、以下からダウンロードできます

<http://www.barco.com/en/product/clickshare-extension-pack>

5.3 ClickShare Extension Pack インストーラ

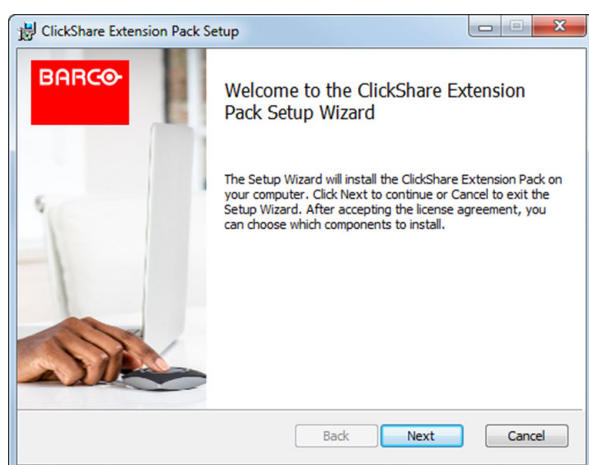
インタラクティブセットアップ

この設定では、ユーザーが EULA を受け入れた後、自分のコンピュータに ClickShare Extension Pack をインストールするインストーラを実行します。

設定が終了すると、ClickShare ランチャーが自動的に開始されます。Extended デスクトップドライバは、ユーザーがコンピュータを再起動した後にのみ使用できます。

設定の開始

1. ClickShare Extension Pack をダウンロードします (<http://www.barco.com/en/product/clickshare-extension-pack> 経由でダウンロード)。
2. ダウンロードファイルを解凍します。
3. *ClickShare-Extension-Pack.msi* をクリックして、インストールを開始します。



画像 5-2

4. 次へをクリックし、ライセンス契約に同意し、次へをクリックして続行します。
必要に応じて、オンスクリーンの使用説明に従ってください。

サイレントセットアップ

この設定では、ユーザーまたは IT 管理者が Windows のコマンドプロンプトを使って ClickShare Extension pack をインストールします。サイレントインストールの例を以下に示します (バージョン番号は例に過ぎません。最新バージョンについては、必ず Barco の Web サイトを確認してください)。

ランチャーのみインストール:

```
msiexec. exe /i ClickShare-Extension-Pack-01.00.02.0003. msi ACCEPT_EULA=YES
INSTALLFOLDER=C:\ LAUNCH_APP=YES /qn
```

拡張デスクトップのみインストール:

```
msiexec. exe /i ClickShare-Extension-Pack-01.00.02.0003. msi ACCEPT_EULA=YES
ADDLOCAL=ExtendedDesktopDriverFeature INSTALLFOLDER=C:\ LAUNCH_APP=YES /qn
```

フルインストール (ランチャー + 拡張デスクトップ):

```
msiexec. exe /i ClickShare-Extension-Pack-01.00.02.0003. msi ACCEPT_EULA=YES
ADDLOCAL=ALL INSTALLFOLDER=C:\ LAUNCH_APP=YES /qn
```



コンピュータが再起動します。これは /norestart で抑制することができます。拡張デスクトップ機能が動作するには、後で再起動が必要になります。エンドユーザーが再起動するかどうかを決定する必要がある場合は、/promptrestart /QBI+ を使用できます (基本 UI、キャンセルオプションなし、再起動を促すメッセージ)

パラメータの説明

ACCEPT_EULA	このパラメーターは、インストール者が EULA テキストを現状のまま受諾することを示します。インストールを続行するには、このパラメーターを YES に設定する必要があります。
INSTALLFOLDER	このパラメーターは、ClickShare ランチャーのインストール先ディレクトリーを指定します。指定しない場合のデフォルトのフォルダーは「Program Files」フォルダーです。
LAUNCH_APP	このパラメーターを「はい」に設定すると、インストール終了直後に ClickShare ランチャーアプリケーションが開始されます。それ以外の場合、Launcher アプリケーションは開始されません。
/qn	このパラメーターは、インストールがサイレントモードで行われることを示し、インストール中は一切ウィンドウが表示されないことを意味します。
ADDLOCAL	このパラメーターは、インストールの種類を示します。パラメーターを追加せずに、ランチャーのみインストールします。

Windows 環境変数

使用する変数は「CLICKSHARE_LAUNCHER_CLIENT_PATH」です。値は、クライアントソフトウェアへのパスにします。

5.4 ClickShare Windows 認定ドライバ

一般情報

Windows PC に Button を接続すると、ClickShare Windows 認定ドライバが自動的にインストールされます。

この Windows ドライバは、Button 上の実行ファイルを自動的に起動します。

少なくとも 1.16.0 のバージョンが必要であることを注意してください。古いバージョンが PC にインストールされている場合は、PC に挿入した Button で Windows 更新 更新の確認を起動します。

5.5 ClickShare デスクトップアプリ

一般情報

コンピュータに ClickShare デスクトップ アプリをインストールすると、会議室に入り、Button に接続することなく数秒で画面に表示できます。ClickShare アプリは、Button と組み合わせて使用できます。

ClickShare デスクトップ アプリは、コンテンツを共有するために会議室の画面に接続します。そのために存在検出技術が使用されます。ClickShare デスクトップアプリは、プレゼンス検出技術を使用して、ユーザーに最も近い会議室を決定します。会議室名をクリックするだけです。つまり、会議室に接続する前に、IP アドレスを入力したり、会議室の長いリストをスクロールしたりする必要はありません。

設置

ClickShare デスクトップ アプリが IT 環境に事前配置されていない場合は、管理者権限なしで、www.clickshare.app からソフトウェアをダウンロードしてインストールできます。

CSE-200+ 構成

6

6.1	構成へのアクセス	57
6.2	ClickShare 構成ウィザード	60
6.3	オンスクリーン言語とテキスト サイズ	62
6.4	会議室情報	64
6.5	個人用設定、壁紙	65
6.6	個人用設定、独自の壁紙	66
6.7	構成ファイルの管理	68
6.8	ディスプレイ設定、出力	70
6.9	ディスプレイ設定、入力	71
6.10	音声設定	71
6.11	WiFi 設定	72
6.12	WiFi 設定、ワイヤレスクライアント	76
6.13	WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、EAP-TLS	77
6.14	WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、EAP-TTLS	79
6.15	WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、PEAP	80
6.16	WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、WPA2-PSK	81
6.17	LAN 設定	82
6.18	LAN 設定、有線認証	84
6.19	LAN 設定、EAP-TLS セキュリティモード	85
6.20	LAN 設定、EAP-TTLS セキュリティモード	87
6.21	サービス、モバイル装置	88
6.22	サービス、ClickShare API、API を使用したリモート コントロール	90
6.23	XMS サーバ統合	91
6.24	サービス、SNMP	91
6.25	サービス、リモート Button のペアリング	92
6.26	セキュリティ、セキュリティレベル	93
6.27	セキュリティ、パスワード	94
6.28	セキュリティ、HTTP 暗号化	95
6.29	Base Unit のステータス情報	98
6.30	日時の設定、手動	98
6.31	日時の設定、タイム サーバー	100
6.32	省電力設定	100
6.33	Button	102
6.34	Button、外部アクセスポイント	102
6.35	Button、外部アクセスポイント、モード EAP-TLS	103
6.36	Button、外部アクセスポイント、モード EAP-TTLS	104
6.37	Button、外部アクセスポイント、モード PEAP	105
6.38	Button、外部アクセスポイント、モード WPA2-PSK	106
6.39	黒板	107
6.40	ファームウェア更新	108
6.41	サポートとアップデート、トラブルシューティング、ログ設定	109
6.42	工場出荷時のデフォルト	110



一部のメニューでは、コンフィギュレータが *WebUI* として表示されます。例えば WebUI パスワードは、構成に入力するためのパスワードです。

6.1 構成へのアクセス

構成へのアクセス

構成にアクセスするには、以下の 3 つの方法があります：

- LAN を使用
- PC および Base Unit 間の直接 Ethernet 接続。
- Base Unit のワイヤレスネットワークを使用

構成への初回アクセス時には、ClickShare Configuration Wizard が自動的に起動します。

本構成ウィザードは、メニューを使用するかわりに、構成を変更するためにいつでも開始できます。

LAN を使用して構成にアクセスするには

1. ブラウザーを開きます。



Note: サポートするブラウザは、Internet Explorer、Firefox、Google Chrome、および Safari です。

2. デバイスの IP アドレスを参照します。

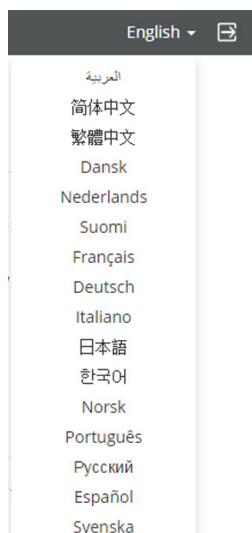


Note: ネットワーク情報の表示が無効になっているために IP アドレスがわからない場合は、直接接続またはデバイスへのワイヤレス接続を介して接続し、有線 IP アドレスを検出します。

ログイン画面が表示されます。

画像 6-1 ログイン画面

3. 構成の言語を変更するには、現在選択されている言語の横にあるドロップダウンボックスをクリックし、目的の言語を選択します。



画像 6-2 構成で使用できる言語

以下の言語で表示できます。

- アラビア文字
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ノルウェー語
- ポルトガル語
- ロシア語
- スペイン語
- スウェーデン語

構成の言語が選択したものに変わります。

4. ユーザー名「admin」およびパスワードを入力し、EULA およびプライバシーポリシーを承諾して **[OK]** をクリックします。

デフォルトで、パスワードは「admin」に設定されています。

警告: コンフィギュレータにアクセスする他の誰かが ClickShare Base Unit の設定を変更できないように、最初の使用時にデフォルトパスワードを強力なパスワードに変更することを強く推奨します。 「セキュリティ、パスワード」項を参照してください。

コンフィギュレーターが開きます。



画像 6-3 起動画面

構成の言語は、インターフェイスのいずれのページでも変更できます。

この画面は、2つのウィンドウに分割されています。左側のウィンドウには選択ボタンがあり、右側のウィンドウでは選択した機能を構成します。

起動画面には以下が表示されます：

- 有線 IP アドレス
- ワイヤレス SSID
- 接続されている Button 数
- システムの状態



IP アドレスが見つからない場合 (画面を見ることができない場合など) は、Ethernet クロスオーバーケーブルを介して Base Unit を直接お使いのラップトップに接続し、固定 IP アドレス「192.168.1.23」を使って Web インターフェイスにアクセスしてください。お使いの LAN アダプターが 192.168.1.x の範囲に設定されていることを確認してください。

直接接続を使用して構成にアクセスするには

1. Ethernet ケーブルを使って、Base Unit をお使いのラップトップに接続します。
2. ラップトップでブラウザを開きます。
 - 📄 Note: サポートするブラウザは、Internet Explorer、Firefox、および Safari です。
3. <http://192.168.1.23> を参照してください。
ログイン画面が表示されます。
4. ユーザー名「admin」およびパスワードを入力し、EULA を承諾して **[OK]** をクリックします。
デフォルトで、パスワードは「admin」に設定されています。
構成が開きます。有線 IP アドレスはスタートアップページに表示されます。

Base Unit のワイヤレスネットワークを使用して構成にアクセスするには

1. ラップトップで、Base Unit のワイヤレス ネットワークに接続します。

Base Unit に接続するためのデフォルトの SSID およびパスワードは、「ClickShare-<製造ベース番号>」および「clickshare」です。

2. ラップトップでブラウザを開きます。



Note: サポートするブラウザは、Internet Explorer、Firefox、および Safari です。

3. <http://192.168.2.1> を参照してください。

ログイン画面が表示されます。

4. ユーザー名「admin」およびパスワードを入力し、EULA を承諾して **[OK]** をクリックします。

デフォルトで、パスワードは「admin」に設定されています。

構成が開きます。有線 IP アドレスはスタートアップページに表示されます。



古いラップトップは 5 GHz 周波数帯域をサポートしないことがあります。お使いの Base Unit がその周波数範囲に設定されている場合、それらのラップトップはワイヤレスネットワークを使用して Base Unit に接続できません。

機能の概要

グループ	機能
個人用設定	オンスクリーン ID
	壁紙
	構成ファイル
ディスプレイと音声	出力
	入力
WiFi とネットワーク	WiFi 設定
	LAN 設定
	サービス
セキュリティ	セキュリティレベル
	パスワード
システム	Base Unit ステータス
	日時
	省電力設定
	Button
	黒板
サポートと更新	XMS
	ファームウェア
	トラブルシューティング

設定を変更した場合は、必ず [変更の保存 (Save Change)] をクリックして変更を保存してください。

6.2 ClickShare 構成ウィザード

構成ウィザードについて

Base Unit の初回起動時、構成ウィザードが自動的に起動します。

Base Unit の構成に必要なすべての基本設定を、構成ウィザードで実行できます。構成ウィザードを完了すると、Base Unit を使用できます。



ClickShare設定ウィザードへようこそ

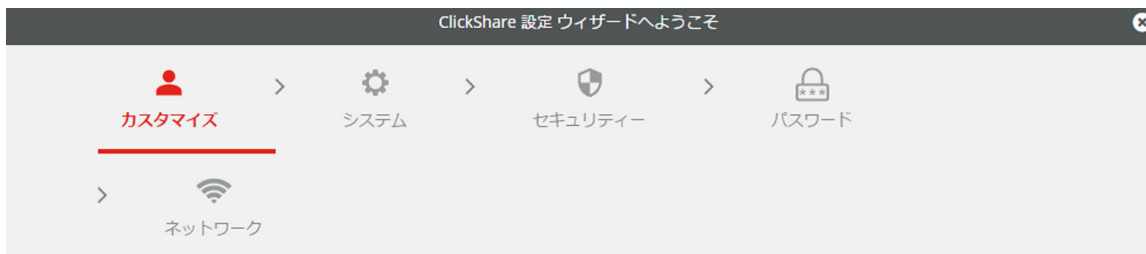
本ウィザードは ClickShare ベースユニット を設定する際の手順を案内します。
「設定の開始」をクリックしてログインしてください。[閉じる] ボタンをクリックするといつてもウィザードを終了できます。



BARCO

画像 6-4 構成ウィザード

ウィザードを起動するには、[構成を開始] をクリックします。



カスタマイズ

スクリーンに表示されるテキストの言語:	英語
会議室名:	会議室の名前を入力してください。
場所の名前:	場所の名前を入力してください。
ウェルカム メッセージ:	ウェルカム メッセージを入力してください。



BARCO

画像 6-5 構成ウィザード、個人用設定

必須欄を入力し、[次へ]をクリックして続行します。

前のステップへ戻るには、[戻る]をクリックします。

特定のトピックについての詳細は、以下のトピックの1つを参照してください。

各画面の左下にある **ClickShare [構成ウィザード]** をクリックするだけで、いつでも ClickShare 構成ウィザードを起動し、構成を変更できます。

個人用設定	画面上テキスト言語	、を参照してください。
	会議室名、場所明、および歓迎メッセージ	、を参照してください。
システム	タイムゾーン、日時手動設定	98 ページ、日時の設定、手動を参照してください。
	NTP の使用	100 ページ、日時の設定、タイムサーバーを参照してください。
セキュリティ	レベル設定	93 ページ、セキュリティ、セキュリティレベルを参照してください。
パスワード	ClickShare 構成 (WebUI) パスワード	94 ページ、セキュリティ、パスワードを参照してください。
ネットワーク	周波数帯域、チャンネル Wi-Fi パスフレーズ	72 ページ、WiFi 設定を参照してください。



画像 6-6 構成ウィザード起動

6.3 オンスクリーン言語とテキスト サイズ

オンスクリーン言語について

オンスクリーン言語は、構成の言語に関わりなく設定できます。オンスクリーン テキスト サイズは、小、中、大のいずれかに変更できます。

言語の選択

1. 構成にログインします。

2. [Personalisation (個人用設定)] → [On-Screen ID (オンスクリーン ID)] をクリックします。

画像 6-7 個人用設定、オンスクリーン ID

3. オンスクリーン テキストの言語を選択します。[Language for on-screen text (オンスクリーン テキストで使用する言語)] の横にあるドロップダウン ボックスをクリックし、目的の言語を選択します。

以下の言語で表示できます。

- アラビア文字
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- ノルウェー語
- ポルトガル語
- ロシア語
- スペイン語
- スウェーデン語

テキスト サイズ

1. 構成にログインします。
2. [Personalisation (個人用設定)] → [On-Screen ID (オンスクリーン ID)] をクリックします。
3. [On-screen text size (オンスクリーン テキスト サイズ)] の横にあるドロップダウン ボックスをクリックし、目的のフォント サイズを選択します。

以下のサイズを選択できます:

- 小

- 中
- 大

6.4 会議室情報

会議室の設定について

以下の設定が考えられます:

- 会議室名
- 会議室の場所
- ClickShare 画面に表示される歓迎メッセージ
- 会議室情報の表示
- ネットワーク情報の表示
- ソース名の表示

The screenshot shows the 'On-Screen ID' settings page. On the left is a navigation menu with 'カスタマイズ' (Customize) selected. The main content area is titled '画面に表示されるID' (ID displayed on screen). It includes several settings:

- 壁紙** (Wallpaper): A dropdown menu currently set to '英語' (English).
- 設定ファイル** (Settings file): A text input field with the placeholder '会議室の名前を入力してください。' (Please enter the meeting room name).
- 場所の名前** (Location name): A text input field with the placeholder '場所の名前を入力してください。' (Please enter the location name).
- ウェルカム メッセージ** (Welcome message): A text input field with the placeholder 'ウェルカム メッセージを入力してください。' (Please enter the welcome message).
- 画面に表示されるテキストの大きさ** (Text size displayed on screen): A dropdown menu currently set to '中' (Medium).

At the bottom right, there are two buttons: '変更を破棄' (Discard changes) and '変更を保存' (Save changes). Below the main settings, there are three checkboxes, all of which are checked: '会議室情報の表示' (Display meeting room information), 'ネットワーク情報の表示' (Display network information), and 'ソース名の表示' (Display source name).

At the bottom left, there is a note: '基本設定をアップデートするには、ClickShare 設定ウィザードへようこそを実行します' (To update the basic settings, please run the ClickShare Setup Wizard).

画像 6-8 個人用設定、オンスクリーン ID

会議室名、場所、および歓迎メッセージ

1. 構成にログインします。
2. [Personalisation (個人用設定)] → [On-Screen ID (オンスクリーン ID)] をクリックします。
3. [Meeting room name (会議室名)] の横にある入力フィールドをクリックし、会議室の名前を入力します。
このテキストは、Button の共有準備が完了すると ([Ready to share on... (...で共有する準備ができました)] と表示されると)、ユーザの装置、Base Unit に接続された中央画面、ユーザの iOS 装置の AirPlay レシーバーの一覧に表示されます。
4. [Location name (場所名)] の横にある入力フィールドをクリックし、場所を入力します。
5. [Welcome message (歓迎メッセージ)] の横にある入力フィールドをクリックし、希望のメッセージを入力してください。

オンスクリーン情報の表示

1. 構成にログインします。

2. [Personalisation (個人用設定)] → [On-Screen ID (オンスクリーン ID)] をクリックします。
3. [Show meeting room info (会議室情報の表示)] の前にあるチェックボックスをオンにします。
 チェックボックスをオンにする: 何も共有されていない場合は、会議室名、場所、歓迎メッセージが画面に表示されます。
 チェックボックスをオフにする: 画面には何も表示されません。
4. [Show network info (ネットワーク情報の表示)] の前にあるチェックボックスをオンにします。
 チェックボックスをオンにする: 有線 IP アドレスやホスト名などの LAN 情報が表示されます。また Wi-Fi IP アドレスおよび SSID も表示されます。
 チェックボックスをオフにする: LAN および Wi-Fi 情報は表示されません。
5. [Show source names (ソース名の表示)] の前にあるチェックボックスをオンにします。
 チェックボックスをオンにする: 画面に共有コンテンツのソース名が表示されます。
 チェックボックスをオフにする: 画面にはソース情報が表示されません。

6.5 個人用設定、壁紙

壁紙について

CSE-200+ が起動すると背景 (壁紙) が表示されます。この背景壁紙の表示は、無効にすることが可能です。デフォルトでは、一般的な ClickShare およびクイックスタートの壁紙を選択できます。独自の背景 (壁紙) をアップロードすることも可能です。デフォルトの壁紙は、システムから削除できません。

壁紙の選択


1. 構成にログインします。
2. [Personalisation (個人用設定)] → [Wallpaper (壁紙)] をクリックします。



画像 6-9 壁紙の選択


[Wallpaper (壁紙)] 選択ペインが表示されます。現在選択されている壁紙は、赤色の枠付きで表示されます。

3. 選択可能な壁紙のいずれかを選択し、[Save Changes (変更の保存)] をクリックします。

-  **Note:** デフォルトでは、一般的な Barco CSE-200+ の壁紙および CSE-200+ クイックスタートガイドの壁紙を選択できます。
壁紙はスクリーンの縦横比に合わせて自動的にサイズ変更されます。

選択されている壁紙は、赤色の枠付きで表示されます。

壁紙を選択するウィンドウの上部に **[Successfully applied changes (変更が適用されました)]** というメッセージが表示されます。

 また、独自の壁紙(貴社のロゴなど)を追加することもできます。一覧に新しい壁紙を追加する方法の詳細は、66 ページ、個人用設定、独自の壁紙 をご参照ください。を参照してください。

壁紙のダウンロード

- カーソルをダウンロードする壁紙の上に置き、右上隅にあるダウンロード記号をクリックします。



画像 6-10 壁紙のダウンロード

壁紙がお使いの PC にダウンロードされました。

壁紙の有効化 - 無効化

- [Wallpaper (壁紙)] ペイン内で、[Show the wallpaper when no one is sharing their screen (画面が共有されていない場合のみ壁紙を表示する)] の横にあるチェックボックスをオンにします。

チェックボックスをオンにする: コンテンツが共有されていない場合のみ壁紙が表示されます。

チェックボックスをオフにする: コンテンツが共有されていない場合も壁紙は表示されません。コンテンツが共有されていない場合、Base Unit のビデオ出力は無効になります。この機能は、Base Unit がより大型の AK システムに統合されている場合に特に便利です。

6.6 個人用設定、独自の壁紙

独自の壁紙について

構成では、独自の背景や壁紙をアップロードできます。

アップロードするファイルは、JPEG、PNG、BMP、または TIFF 形式で、最大サイズは 2.5MB です。

Maximum 5 wallpaper can be uploaded.

アップロード方法

- 構成にログインします。
- [Personalisation (個人用設定)] → [Wallpaper (壁紙)] をクリックします。

[Wallpaper (壁紙)] 選択ペインが表示されます。現在選択されている壁紙は、赤色の枠付きで表示されません。

- 何も無い場所にカーソルを置き、[Choose image (画像の選択)] をクリックします。



画像 6-11 独自の壁紙の選択

参照のためのウィンドウが開きます。

4. 目的の画像を参照し、[Open (開く)] をクリックしてその画像を読み込みます。
ファイルのコンテンツが確認され、(形式およびサイズが) 有効である場合はファイルがアップロードされます。新しい壁紙が赤色の枠付きで表示されます。
5. [Save changes (変更の保存)] をクリックして独自の壁紙を適用します。
ページの上部に [Successfully applied change (変更が適用されました)] というメッセージが表示されません。

独自の画像の変更

1. [Personalisation (個人用設定)] → [Wallpaper (壁紙)] をクリックします。
2. 現在の独自の画像にカーソルを置き、[Change image (画像の変更)] をクリックします。

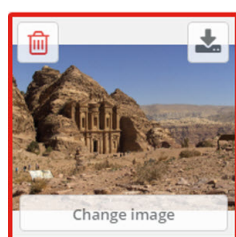


画像 6-12 画像の変更

3. 目的の画像を参照し、[Open (開く)] をクリックしてその画像を読み込みます。
ファイルのコンテンツが確認され、(形式およびサイズが) 有効である場合はファイルがアップロードされます。新しい壁紙が赤色の枠付きで表示されます。
4. [Save changes (変更の保存)] をクリックして独自の壁紙を適用し、以前のファイルを置き換えます。
ページの上部に [Successfully applied change (変更が適用されました)] というメッセージが表示されません。

独自の壁紙の削除

1. 現在の画像にカーソルを置き、ゴミ箱をクリックして画像を削除します。



画像 6-13 壁紙の削除

独自の壁紙が削除され、デフォルトの壁紙がアクティブ化されました。

6.7 構成ファイルの管理

構成ファイルの管理について

完全バックアップはダウンロードできますが、構成設定を別の Base Unit の位置にあり複製するために使用することはできません。そのため、ポータブルバージョンをダウンロードすることが可能です。この Portable Version は、別の Base Unit にある [Configuration Button (構成のアップロード)] ボタンを使用して

アップロードできます。同じボタンを使用して、元の Base Unit で完全バックアップをアップロードできません。

Portable バックアップには以下が含まれています:

- 壁紙
- 壁紙の設定
- ログの設定
- すべてのディスプレイ設定
- OSD 言語
- 場所
- ウェルカムメッセージ
- WiFi チャンネル
- WiFi 周波数

構成ファイルを管理するには

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [Personalisation (個人用設定)] → [Configuration Files (構成ファイル)] をクリックします。



画像 6-14 構成ファイル

3. 完全バックアップをダウンロードするには、[Full Backup (完全バックアップ)] をクリックします。
すべての情報および履歴を含む xml ファイルがダウンロードされます。このファイルは、同じ Base Unit でのみ再使用可能です。
4. Portable Version をダウンロードするには、[Portable Version] をクリックします。
別の Base Unit で設定を複製するためのポータブル情報を含む xml ファイルがダウンロードされます。
5. 構成をアップロードするには、[Upload Configuration (構成のアップロード)] をクリックします。
参照のためのウィンドウが開きます。アップロードするファイル (xml ファイル) に移動し、[Open (開く)] をクリックするとアップロードされます。
完全バックアップは、バックアップが作成された Base Unit でアップロードできます。Portable Version は、同じモデルの別の Base Unit のいずれでもアップロードできます。



構成ファイルをアップロードすると、ソフトウェアの更新履歴とペアリングされた Button は失われます。ただし、Base Unit の SSID またはワイヤレスパスワードが変更されていない場合、ペアリングされた Button はそのまま機能します。

6.8 ディスプレイ設定、出力

解像度

ディスプレイの出力解像度は [Auto (自動)] に設定されています。これは、CSE-200+ の出力解像度がディスプレイの解像度に合わせて自動的に調整されるということです。HDMI ディスプレイの場合は、ホットプラグ検出を利用できます。

HDMI ホットプラグ表示検出

HDMI ホットプラグ表示検出を有効にするには、HDMI ホットプラグ表示検出の前にチェックボックスをオンにします。

CEC

Consumer Electronics Control (CEC) は、ユーザーが 1 つのリモートコントロールのみを使用して、HDMI で接続されたデバイスをユーザーが命令および制御できるように設計された HDMI の機能です。

CEC を有効化するには、[CEC の有効化] の前のチェックボックスにチェックを入れます。

スクリーンセーバーのセットアップ

1. コンフィギュレータにログインします。
2. ディスプレイと音声 → 出力 をクリックします。



画像 6-15 ディスプレイ設定

3. スクリーンセーバーをアクティブ化するには、目的の遅延時間になるまで、スライダーを左右にドラッグします。

スライダーが最も左側に設定されている場合は、スクリーンセーバーはアクティブ化されません。

スクリーンセイバーモード

スクリーンセイバーモードは、外部ソースに設定できます。HDMI 入力は、スクリーンセイバーとして使用するように構成できます。たとえば、ユニットに接続された部屋の PC は、Base Unit がコンテンツ共有で使用されていないときに署名コンテンツを表示します。

スクリーンセイバーモードの隣にあるドロップダウンボックスをクリックし、デフォルトと HDMI 間で選択を行います。

6.9 ディスプレイ設定、入力

入力について

入力ソースが HDMI 入力に接続されると、信号 LED が点灯します。ソースの名前はソース名の隣に表示されますが、変更できます。このソース名が画面に表示されます。

ソース名の変更方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. ディスプレイと音声 → 入力をクリックします。



画像 6-16 入力

3. 入力フィールドをクリックし、現在の名前を選択し、新しい名前を入力します。
4. [変更の保存 (Save changes)] をクリックして新しい設定を適用します。

6.10 音声設定

音声設定について

音声機能は、有効化または無効化できます。有効化および/または無効化の設定を変更した後アクティブ化するには、Button を再度ペアリングする必要があります。



画像 6-17 音声設定

変更方法

1. コンフィギュレータにログインします。

2. [Display & Audio (ディスプレイと音声)] → [Display & Audio (ディスプレイと音声)] をクリックします。
3. [Enable Audio (音声を有効化する)] の横にあるチェックボックスのオン/オフを切り替えます。
チェックボックスをオンにする: 音声の有効化されます。
チェックボックスをオフにする: 音声が無効化されます。
4. 音声出力を選択するには、ドロップダウン ボックスをクリックして目的の音声出力を選択します。
ジャック: ジャックを使用した音声出力。
HDMI: HDMI を使用した音声出力。
SPDIF: TOSLINK を使用してデジタル音声出力
5. [変更の保存 (Save changes)] をクリックして新しい設定を適用します。

6.11 WiFi 設定



警告: Base Unit を対象地域外で操作することは許可されていません。

デュアルネットワークモード

より良い企業統合のために、2つの異なるネットワークへの同時接続が可能です。1つは物理インターフェイス (LAN インターフェイス) 経由、もう1つは WiFi 経由です。

デュアルネットワーク機能により、たとえば企業 LAN とゲスト LAN に同時に接続できるため、従業員とゲストの両方が、それぞれのネットワーク接続を変更せずに ClickShare アプリ、Airplay、または Google Cast を介して ClickShare ユニットにコンテンツを共有できます。これにより、IT 管理者が2つのネットワーク間でトラフィックをルーティングする必要がなくなります。Base Unit の組み込みファイアウォールは、2つの接続されたネットワーク間のトラフィックブリッジングを防ぎます。

WiFi について

Base Unit にはワイヤレス接続を使用して接続できます。接続は、固定ワイヤレス IP アドレスを使って確立します。

ワイヤレス信号の伝搬力は弱くなっている場合があります。

Wi-Fi 設定 (Wi-Fi Settings) が選択され、動作モードがアクセスポイント (Access Point) の場合、現在の設定の概要が表示されます。



画像 6-18 WiFi 設定

操作モードが オフ に設定されている場合。表示される情報は以下のとおりです: 「無線インターフェイスが無効になっています。別の WiFi アクセスポイントに接続するように Button を構成する必要があります。Button 構成ページに移動するには、ここをクリックしてください。」

ここをクリックし、Button 構成を開始します。詳細は、102 ページ、*Button* をご参照ください。を参照してください。

WiFi 設定を変更するには、[設定の編集 (**Edit settings**)] をクリックします。表示は、以前選択した動作モードによります。ここでは、[アクセスポイント (Access Point)] が選択されています。

画像 6-19 WiFi 設定、編集



IP アドレスを変更した後は、この Base Unit で使用している Button を再度ペアリングする必要があります。

動作モードの変更

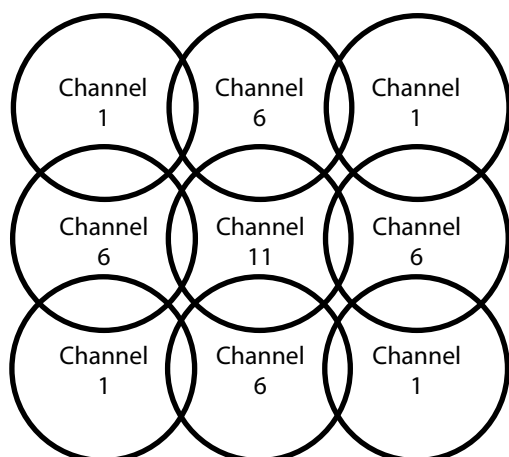
1. コンフィギュレータにログインします。
2. [WiFi とネットワーク (WiFi & Network)] → [WiFi 設定 (WiFi Settings)] をクリックします。
3. 設定の編集 をクリックします。
4. [動作モード (Operational Mode)] の隣にあるドロップダウンボックスをクリックし、目的のモードを選択します。

以下のオプションが利用できます：

- アクセスポイント: このトピックの次のブロックに進みます。
- ワイヤレスクライアント (CSE-200+ のみ)
- オフ

周波数帯域とチャンネルの選択について

理想的な設定では、重複するチャンネルは、互いに範囲内にある 2 つの ClickShare Base Unit で使用しないでください。2.4 Ghz 帯域のチャンネルは互いに重複しているため、最良慣行は、単一フロアでチャンネル 1、6、および 11 を使用することです。上下の階では、たとえば図のパターンの中心にチャンネル 6 を配置することにより、階間の重なりを避けるためにチャンネルパターンがシフトされます。



画像 6-20

ネットワークの重複の影響を制限するために、ClickShare Base Unit の信号の強さ (約 30m の標準範囲) を低下させることを強くお勧めします。信号の強さを最小値に下げると、ClickShare の実際の範囲が約 10m に縮小されます。そうすることで、対応する重複領域のサイズが縮小し、品質低下のリスクが減少するか、消失することもあります。

5 GHz チャンネルは、互いに重複せず、2.4 GHz チャンネルよりも非 Wi-Fi 装置で使用されることが少なくなります。さらに、5 GHz 信号は 2.4 GHz 信号よりも急速に減衰します。したがって、5 GHz チャンネルの使用が推奨されます。これにより、設置されている他の ClickShare ユニットおよび他の WLAN ユーザーに対する ClickShare システムの影響が制限されます。

周波数帯域とチャンネルの選択

1. ワイヤレス接続チャンネルを選択するには、ドロップダウンボックスをクリックして目的のチャンネルを選択します。

一覧で選択できるチャンネルは、Base Unit の地域版によって異なります。周波数帯域やワイヤレス接続チャンネルの変更する場合、Button を再度ペアリングする必要はありません。

理想的には、ワイヤレスサイト調査を実施した後に、ClickShare チャンネルを選択します。サイト調査では、干渉源とアクティブな RF システムをマッピングします。いくつかの WiFi 調査ツールが市販されています。サイト調査の結果に基づき、各会議室で最も占有率の低いチャンネルを見つけて選択できます。

2. ワイヤレス接続の周波数帯域を選択するには、ドロップダウンボックスをクリックして適切な設定 (「2.4 GHz」または「5 GHz」のいずれか) を選択します。

チャンネル選択ウィンドウの下に、現在のチャンネルで利用可能な帯域幅の指示が表示されます。十分な帯域幅が別のチャンネルで利用できるかどうかを確認するには、ドロップダウンでチャンネルを選択して変更内容を保存します。ページは新しい設定でリロードされ、約 1 分後にチャンネルのフィットが表示されます。結果を見るためにページをリロードする必要はありません。

一覧で選択できるチャンネルは、Base Unit の地域版によって異なります。周波数帯域やワイヤレス接続チャンネルの変更する場合、Button を再度ペアリングする必要はありません。

Intense を使用すると、別の WiFi チャンネルへの変更が表示され、別のチャンネルに変更されます。約 1 分後にページがリロードされます。


SSID とパスフレーズ

1. ワイヤレスネットワークのパブリック名 (SSID) を入力します。
デフォルトの SSID は *ClickShare-
<製造番号 Base Unit>* です。
2. この SSID をブロードキャストするには、[SSID のブロードキャストを有効化する (*Enable SSID broadcast*)] の前にあるチェックボックスをオンにします。
3. 新しい WiFi パスフレーズを入力し、そのパスフレーズを確認します。



注意: 他の誰かが Wi-Fi ネットワークにアクセスしないようにするには、最初の使用時に Wi-Fi パスワードを変更することを強くお勧めします。

信号の強さ

1. 信号の強さを選択します。スライダーをクリックし、ブロードキャスト能力 (信号の強さ) を目的の強さになるまで低下させます。
 **Note:** ブロードキャスト能力が低すぎると、他の信号による干渉により、接続問題の原因となる場合があります。その場合は、問題が解決するまで、信号の強さを再度増大します。


デフォルトで、信号の強さは 100% に設定されています。

信号の強さを下げると、2.4 Ghz チャンネルでの重複ネットワークの影響が制限されます。5 Ghz チャンネルは重複していないため、必要ありません。

ClickShare Wi-Fi を介した構成 (WebUI) アクセス

1. Wi-Fi を介した構成へのアクセスを許可するには、[Wi-Fi を介した WebUI アクセス (WebUI available via Wi-Fi)] の前にあるチェックボックスをオンにします。
 チェックボックスをオンにする: Wi-Fi を使用して構成にアクセスできます。
 チェックボックスをオフにする: Wi-Fi を使用した構成へのアクセスはブロックされます。

IP アドレスとサブネットマスク

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [WiFi とネットワーク (WiFi & Network)] → [WiFi 設定 (WiFi Settings)] をクリックします。
3. IP アドレスまたはサブネットマスクを変更するには、入力フィールドをクリックして、新しい IP アドレスまたはサブネットマスクの 4 つの数値を入力します。
 **Note:** 固定 IP アドレスを割り当てる場合、0.0.0.0 は指定できません。

6.12 WiFi 設定、ワイヤレスクライアント

はじめに

ワイヤレスクライアントモードでは、イーサネットインターフェース経由ではなく WiFi 経由で Base Unit をネットワークに接続できます。これにより、有線ネットワーク接続と同じ機能を提供します。完全なネットワーク統合、自動更新機能、および XMS での集中管理です。設置場所でネットワークケーブルをドロップする必要がなくなるため、Base Unit の配置の柔軟性が向上します。

ワイヤレスクライアントモードが有効になっている場合、Base Unit WiFi が占有され、ClickShare Button、ClickShare アプリ、Airplay または Google Cast および Miracast からの直接接続で使用できなくなることにご注意ください。つまり、これらの接続は社内ネットワーク上で行う必要があります。そのため、ワイヤレスクライアントモードを設定すると、Button は、Base Unit と同じネットワークに接続するように自動構成されます。ただし、この設定は、[システム] メニューの Button タブで手動により変更できます。



Wi-Fi チップがワイヤレスクライアントモードで占有されているため、ClickShare デスクトップアプリでの存在検出は機能しません。

ワイヤレスクライアントをアクティブにする方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [WiFi とネットワーク (WiFi & Network)] → [WiFi 設定 (WiFi Settings)] をクリックします。
3. 設定の編集 をクリックします。
4. [動作モード (Operational Mode)] の横にあるドロップダウンボックスにチェックを入れ、[ワイヤレスクライアント (Wireless Client)] を選択します。



画像 6-21 WiFi 設定、動作モード、ワイヤレスクライアント

さまざまなワイヤレスクライアントモード設定が可能です。

- EAP-TLS
- EAP-TTLS
- PEAP
- WPA2-PSK

6.13 WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、EAP-TLS

EAP-TLS について

EAP-TLS (トランスポート層セキュリティ) は、クライアントおよびサーバー間の相互認証を可能にする証明書に基づく EAP メソッドの 1 つです。サーバーおよびクライアント証明書を配布するための PKI (公開キーインフラストラクチャ) が必要です。一部の企業ではこれが大きな障害となり、その場合は代わりに EAP-TTLS および PEAP を利用します。規格では X.509 クライアントの証明書が厳格に求められているわけではありませんが、ClickShare を含むほとんどの実装ではそれが必須となっています。クライアント証明書を使って実装する場合、EAP-TLS は最も安全な EAP メソッドの 1 つであると考えられています。PEAP および EAP-TTLS と比較した場合の唯一の小さなデメリットは、ユーザー ID が実際の TLS ハンドシェイクが行われる前に暗号化されずに送信されることです。EAP-TLS には、SCEP を使用することで、または証明書を手動でアップロードすることで対応しています。

EAP-TLS の使用方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [WiFi とネットワーク (WiFi & Network)] → [WiFi 設定 (WiFi Settings)] をクリックします。
3. 操作モードがワイヤレスクライアントの場合、認証モードを選択します。ドロップダウンリストをクリックし、EAP-TLS を選択します。



画像 6-22 WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、EAP-TLS

4. 社内 SSID を入力します。
ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。
5. ドメインと ID を入力します。
6. 証明方法を選択します。ドロップダウンボックスをクリックし、希望の方法を選択します。
 - クライアントおよび CA 証明書を手動で提供する
 - SCEP 経由で自動登録

証明書を手動で提供

1. クライアント証明書をアップロードします。[ファイルを選択] をクリックして、目的のファイルを参照します。
許可されているファイル形式 :
 - .pfx (PKCS#12)
 - .p12 (Base64 エンコード DER)
 少なくともクライアント証明書と対応する秘密鍵を含める必要があります。
2. クライアント証明書のパスワードを入力します。
3. CA 証明書をアップロードします。[ファイルを選択] をクリックして、目的のファイルを参照します。
次の形式が許可されます。
 - .pem
 - .cer
 - .crt
 - .pb7 (Base64 エンコード DER)
 ファイルには、少なくともドメインのルート CA 証明書が含まれている必要があります。
4. 変更内容の保存

SCEP の使用

簡易証明書登録プロトコル (SCEP) は、拡張可能な方法で証明書を発行および無効にすることができるプロトコルです。SCEP サポートにより、ClickShare Base Unit および Button の企業ネットワークへの統合がより迅速でスムーズになります。ほとんどの企業は Microsoft Windows Server およびそのアクティブ ディレクトリ (AD) を使用してユーザーおよび装置を管理しているため、当社の SCEP 実装は、Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2012 の一部であるネットワーク デバイス登録サービス (NDES) で特に対象とされています。その他の SCEP サーバー実装は一切サポートされていません。

画像 6-23 WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、EAP-TLS、SCEP

SCEP ServerIP/ホスト名	これは、NDES サービスが稼働しているネットワークにある Windows Server の IP またはホスト名です。デフォルトでは、HTTP が使用されます。 例: http://myserver or http://10.192.5.1
SCEP ユーザー名	これは、NDES にアクセスし、チャレンジ パスワードを要求するために必要な許可が与えられている、お使いの Active Directory のユーザーです。このためにユーザーは、CA 管理者グループに属す (スタンドアロン CA の場合) か、所定の証明書テンプレートで登録許可を得る必要があります。
SCEP パスワード	企業ネットワークで認証に使用している ID に呼応するパスワードです。Base Unit ごとに、Button はそれぞれ、同じ ID およびパスワードを使用して企業ネットワークに接続します。

[変更内容の保存 (Save changes)] をクリックして、設定を保存します。

6.14 WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、EAP-TTLS

EAP-TTLS について

EAP-TTLS (トンネル化トランスポート層セキュリティ) は、Juniper Networks 社による EAP 実装です。EAP-TLS と同程度強力な認証を提供しますが、それぞれのユーザーに対して証明書を発行する必要はありません。証明書の発行を受ける代わりに、認証サーバーが発行された証明書の役割を果たします。ユーザー認証はパスワードによって行われますが、そのパスワード資格情報は、サーバー証明書に基づいて確立された安全に暗号化されたトンネル内で送信されます。

ユーザー認証は、既に企業 LAN で使用されているのと同じセキュリティ データベースに対して行われます。たとえば、SQL または LDAP データベースやトークン システムなどです。EAP-TTLS は通常クライアント証明書なしで企業環境において実装されるため、クライアント証明書の使用はサポートされていません。ユーザーごとにクライアント証明書を使用する場合は、EAP-TLS を使用することを推奨します。

EAP-TTLS の使用方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [WiFi とネットワーク (WiFi & Network)] → [WiFi 設定 (WiFi Settings)] をクリックします。
3. 操作モードがワイヤレスクライアントの場合、認証モードを選択します。ドロップダウンボックスをクリックし、EAP-TTLS を選択します。



画像 6-24 WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、EAP-TTLS

4. 社内 SSID を入力します。
ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。
5. ドメインと ID を入力します。
6. パスワードを入力します。
7. CA 証明書をアップロードします。[ファイルを選択] をクリックして、目的のファイルを参照します。
次の形式が許可されます。
 - .pem
 - .cer
 - .crt
 - .p7b (Base64 エンコード DER)
 ファイルには、少なくともドメインのルート CA 証明書が含まれている必要があります。
8. [変更内容の保存 (Save changes)] をクリックして、設定を保存します。

6.15 WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、PEAP

PEAP について

PEAP (保護された拡張認証プロトコル) は EAP 実装の 1 つで、Cisco Systems 社、Microsoft 社、および RSA Security 社が共同開発しました。サーバー CA 証明書を使ってセキュリティ保護された TLS トンネルを設定し、その後実際のユーザー認証がトンネル内で行われます。このように機能するため、ユーザーを認証しながら、PKI を使用する必要なく TLS のセキュリティを活用することが可能です。

トンネル内での認証に使用する実際のメソッドは、規格によって指定されていません。ただし本アプリケーション注記で PEAP について言及する際は、EAP-MSCHAPv2 を内部認証メソッドとして使用する PEAPv-0 を指します。これは、WPA および WPA2 規格において認可された 2 つの PEAP 実装の 1 つで、最も一般的で広く使用されている PEAP 実装です。

PEAP の使用方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [WiFi とネットワーク (WiFi & Network)] → [WiFi 設定 (WiFi Settings)] をクリックします。
3. 操作モードがワイヤレスクライアントの場合、認証モードを選択します。ドロップダウンボックスをクリックし、PEAP を選択します。



画像 6-25 WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、PEAP

4. 社内 SSID を入力します。
ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。
5. ドメインと ID を入力します。
6. パスワードを入力します。
7. CA 証明書をアップロードします。[ファイルを選択] をクリックして、目的のファイルを参照します。
次の形式が許可されます。
 - .pem
 - .cer
 - .crt
 - .pb7 (Base64 エンコード DER)
 ファイルには、少なくともドメインのルート CA 証明書が含まれている必要があります。
8. [変更内容の保存 (Save changes)] をクリックして、設定を保存します。

6.16 WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、WPA2-PSK

WPA2-PSK について

WPA2-PSK は個々のユーザーを区別することなく、ワイヤレス インフラストラクチャに接続するすべてのクライアントに対して 1 つのキーワード (PSK - 事前共有キー) を使用します。そのため、設定は非常に簡単です。接続後は、クライアントと AP (アクセス ポイント) 間で送信されるデータはすべて、256 ビット キーを使って暗号化されます。

WPA2-PSK の使用方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [WiFi とネットワーク (WiFi & Network)] → [WiFi 設定 (WiFi Settings)] をクリックします。
3. 操作モードがワイヤレスクライアントの場合、認証モードを選択します。ドロップダウンリストをクリックし、WPA2-PSK を選択します。



画像 6-26 WiFi 設定、ワイヤレスクライアント、WPA2-PSK

4. 社内 SSID を入力します。
ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。
5. パスフレーズを入力します。
WPA2-PSK で使用されるキーにより、ワイヤレス インフラストラクチャへの認証が行われます。これは、64 桁の 16 進数が、8~63 字の印刷可能な ASCII 文字のいずれかです。
6. [Save changes (変更の保存)] をクリックします。

6.17 LAN 設定

LAN ネットワーク設定について

ネットワーク接続は、DHCP を介して、または固定 IP アドレスを手作業で入力することによって設定できます。

DHCP



動的ホスト構成プロトコル (Dynamic host configuration protocol)。DHCP とは、ネットワーク管理者が組織のネットワークの IP アドレスの管理と割り当てを集中的に行える通信プロトコルです。インターネットプロトコルを使用する場合、インターネットに接続可能な各コンピュータに一意の IP アドレスが必要となります。組織でインターネットに接続可能なコンピュータを設定する際には、各コンピュータに IP アドレスを設定する必要があります。DHCP を使用しない場合、IP アドレスを各コンピュータに手作業で入力しなければならず、またコンピュータをネットワークの異なる部分の別の場所に移す際には再度 IP アドレスを入力しなければなりません。DHCP を使用すると、ネットワーク管理者は集中的に IP アドレスの監視と割り当てを行えます。また、コンピュータがネットワークの別の場所に接続されると、新しい IP アドレスが自動的に送信されません。

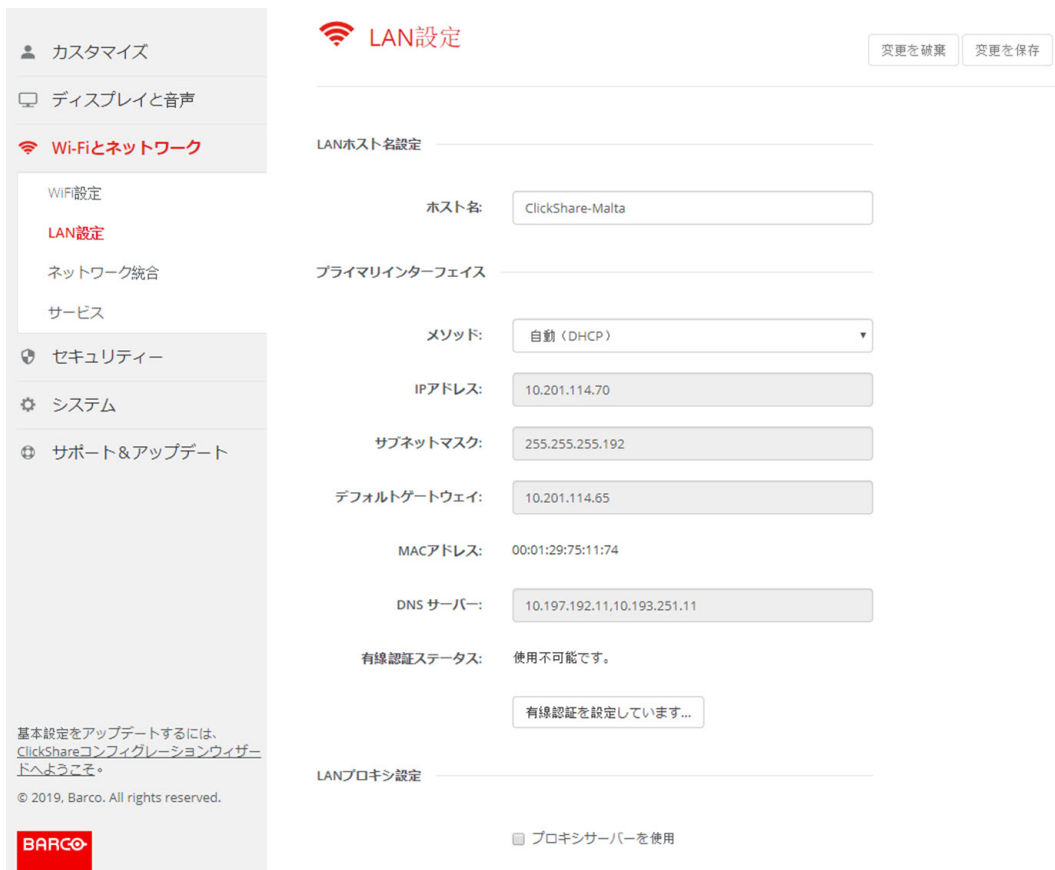
デュアルネットワークモード

より良い企業統合のために、2つの異なるネットワークへの同時接続が可能です。1つは物理インターフェイス (LAN インターフェイス) 経由、もう1つは WiFi 経由です。

デュアルネットワーク機能により、たとえば企業 LAN とゲスト LAN に同時に接続できるため、従業員とゲストの両方が、それぞれのネットワーク接続を変更せずに ClickShare アプリ、Airplay、または Google Cast を介して ClickShare ユニットにコンテンツを共有できます。これにより、IT 管理者が2つのネットワーク間でトラフィックをルーティングする必要がなくなります。Base Unit の組み込みファイアウォールは、2つの接続されたネットワーク間のトラフィックブリッジングを防ぎます。

ホスト名と方法



1. コンフィギュレータにログインします。
2. [Wi-Fi とネットワーク (Wi-Fi & Network)] → [LAN 設定 (LAN Settings)] をクリックします。



画像 6-27 LAN 設定

- [ホスト名 (Hostname)] の横にある入力フィールドをクリックし、Base Unit のホスト名を入力します。デフォルトのホスト名は「ClickShare-*<製造番号 Base Unit>*」です。
- 方法を選択するには、[方法 (Method)] の横にあるドロップダウンボックスをクリックし、[自動 (DHCP) (Automatic (DHCP))] または [手動 (Manual)] を選択します。
[自動 (DHCP)] を選択すると、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各フィールドが灰色表示になり、現在使用している設定が自動的に入力されます。
- [変更の保存 (Save changes)] をクリックして設定を適用します。

手動 (固定) IP アドレス

- [方法 (Method)] の横にあるドロップダウンボックスをクリックし、[手動 (Manual)] を選択します。IP アドレス、サブネット、ゲートウェイの各入力フィールドがアクティブ化されます。
- [IP アドレス (IP address)] 入力フィールドをクリックし、4 つの数値を入力します。
 **Note:** 1 つのアドレスは、255 以下の値の 4 つの数値で構成されます。固定 IP アドレスを割り当てる場合は、0.0.0.0 以外を指定する必要があります。
- [サブネットマスク (Subnet mask)] 入力フィールドをクリックし、ローカルサブネットとして 4 つの数値に値を入力します。
- [デフォルトゲートウェイ (Default Gateway)] 入力フィールドをクリックし、4 つの数値に値を入力します。このデフォルトゲートウェイは、ルーターの IP アドレスに設定します (ローカルサブネット上にある必要があります)。
 **Note:** 0.0.0.0 以外である必要があります。ローカルサブネット上にルーターが存在しない場合は、このフィールドをサブネット上の任意の IP アドレスに設定します。
- DNS サーバー 入力フィールドをクリックし、優先 DNS サーバー (最大 5) をコンマ区切りのリストで入力します。

6. [変更の保存 (Save changes)] をクリックして設定を適用します。



サブネットマスク 255.255.255.0 には IP アドレス 192.168.2.x、サブネットマスク 255.255.0.0 には IP アドレス 192.168.x.x を使用しないでください。

プロキシサーバーを使用する

この設定は、インターネットアクセスを必要とする Base Unit の自動更新機能を利用する際に重要です。

1. [プロキシサーバーを使用する (Use a proxy server)] の横にあるチェックボックスをオンにします。

プロキシサーバーを使用

サーバーアドレス:

サーバーポート (オプション):

ユーザー名 (オプション):

パスワード (オプション):

画像 6-28 プロキシ設定

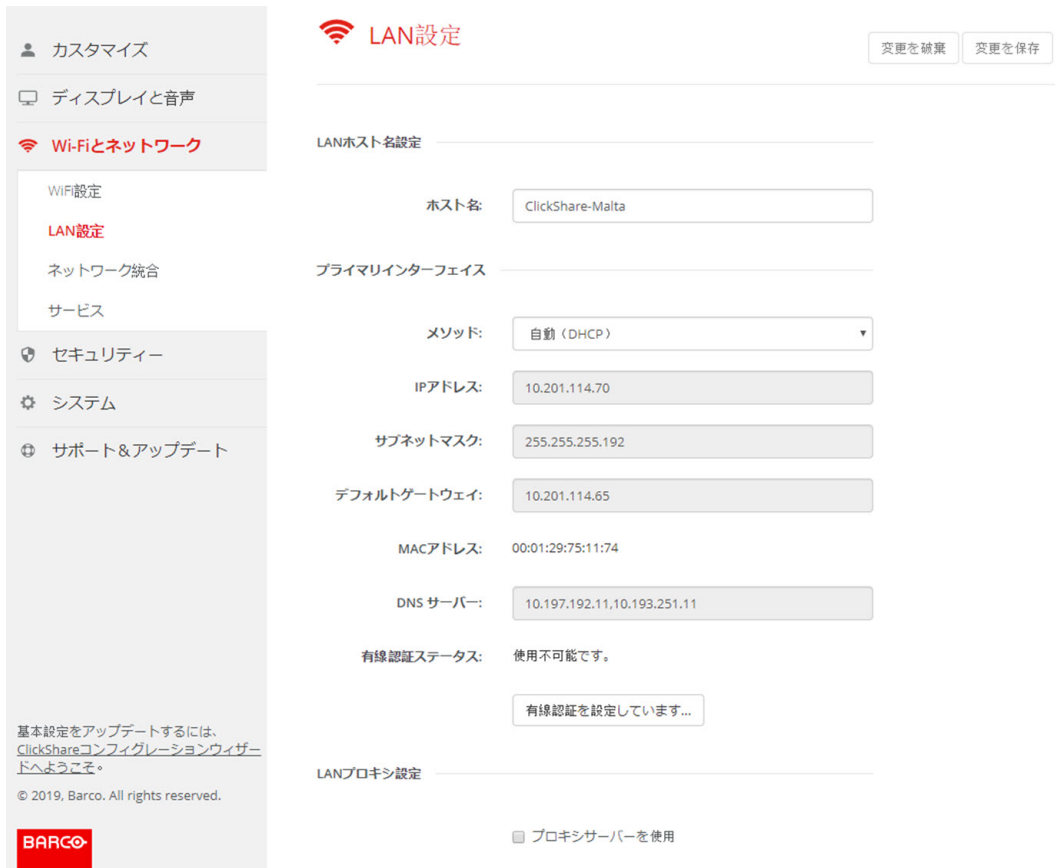
[プロキシ設定] の入力が可能になります。

2. プロキシサーバーのアドレスを入力します。IP アドレスまたはホスト名を入力します。一部のプロキシサーバーではポート番号、ユーザー名、パスワードの入力が必須ですが、それ以外の場合はオプションです。
3. オプションで、使用するサーバーポートを入力します。
4. オプションで、ユーザー名を入力します。
5. オプションで、パスワードを入力します。
6. [変更の保存 (Save changes)] をクリックして設定を適用します。

6.18 LAN 設定、有線認証

設定方法

1. 有線認証のセットアップ...をクリックします。。



画像 6-29 有線認証

設定ウィザードが起動します。

2. 認証方法を選択します。ドロップダウンをクリックし、希望の方法を選択します。

以下の方法が使用可能です。

- 認証なし：有線インターフェースには認証メカニズムは適用されません。
- EAP-TLS
- EAP-TTLS
- PEAP

6.19 LAN 設定、EAP-TLS セキュリティモード

EAP-TLS について

EAP-TLS (トランスポート層セキュリティ) は、クライアントおよびサーバー間の相互認証を可能にする証明書に基づく EAP メソッドの 1 つです。サーバーおよびクライアント証明書を配布するための PKI (公開キーインフラストラクチャ) が必要です。一部の企業ではこれが大きな障害となり、その場合は代わりに EAP-TTLS および PEAP を利用します。規格では X.509 クライアントの証明書が厳格に求められているわけではありませんが、ClickShare を含むほとんどの実装ではそれが必須となっています。クライアント証明書を使って実装する場合、EAP-TLS は最も安全な EAP メソッドの 1 つであると考えられています。PEAP および EAP-TTLS と比較した場合の唯一の小さなデメリットは、ユーザー ID が実際の TLS ハンドシェイクが行われる前に暗号化されずに送信されることです。EAP-TLS には、SCEP を使用することで、または証明書を手動でアップロードすることで対応しています。

EAP-TLS の設定方法

1. 認証モード EAP-TLS を選択します。

画像 6-30 EAP-TLS

2. ドメインと ID を入力します。
3. 証明方法を選択します。ドロップダウンボックスをクリックし、希望の方法を選択します。
 - クライアントおよび CA 証明書を手動で提供する
 - SCEP 経由で自動登録

証明書を手動で提供

1. クライアント証明書をアップロードします。[ファイルを選択] をクリックして、目的のファイルを参照します。

許可されているファイル形式：

 - .pfx (PKCS#12)
 - .p12 (Base64 エンコード DER)

少なくともクライアント証明書と対応する秘密鍵を含める必要があります。
2. クライアント証明書のパスワードを入力します。
3. CA 証明書をアップロードします。[ファイルを選択] をクリックして、目的のファイルを参照します。

次の形式が許可されます。

 - .pem
 - .cer
 - .crt
 - .pb7 (Base64 エンコード DER)

ファイルには、少なくともドメインのルート CA 証明書が含まれている必要があります。
4. 構成の保存

SCEP の使用

簡易証明書登録プロトコル (SCEP) は、拡張可能な方法で証明書を発行および無効にすることができるプロトコルです。SCEP サポートにより、ClickShare Base Unit および Button の企業ネットワークへの統合がより迅速でスムーズになります。ほとんどの企業は Microsoft Windows Server およびそのアクティブ ディレクトリ (AD) を使用してユーザーおよび装置を管理しているため、当社の SCEP 実装は、Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2012 の一部であるネットワーク デバイス登録サービス (NDES) で特に対

象とされています。NDES/SCEP 登録に使用できるパラメータを拡張することで、他の汎用サーバの初期サポートが利用できます。

画像 6-31 EAP-TLS — SCEP

SCEP ServerIP/ホスト名	これは、NDES サービスが稼働しているネットワークにある Windows Server の IP またはホスト名です。デフォルトでは、HTTP が使用されます。 例: http://myserver or http://10.192.5.1
SCEP ユーザー名	これは、NDES にアクセスし、チャレンジ パスワードを要求するために必要な許可が与えられている、お使いの Active Directory のユーザーです。このためにユーザーは、CA 管理者グループに属す (スタンドアロン CA の場合) か、所定の証明書テンプレートで登録許可を得る必要があります。
SCEP パスワード	企業ネットワークで認証に使用している ID に呼応するパスワードです。Base Unit ごとに、Button はそれぞれ、同じ ID およびパスワードを使用して企業ネットワークに接続します。

[構成の保存 (Save configuration)] をクリックして設定を保存します。

6.20 LAN 設定、EAP-TTLS セキュリティモード

EAP-TTLS について

EAP-TTLS (トンネル化トランスポート層セキュリティ) は、Juniper Networks 社による EAP 実装です。EAP-TLS と同程度強力な認証を提供しますが、それぞれのユーザーに対して証明書を発行する必要はありません。証明書の発行を受ける代わりに、認証サーバーが発行された証明書の役割を果たします。ユーザー認証はパスワードによって行われますが、そのパスワード資格情報は、サーバー証明書に基づいて確立された安全に暗号化されたトンネル内で送信されます。

ユーザー認証は、既に企業 LAN で使用されているのと同じセキュリティ データベースに対して行われます。たとえば、SQL または LDAP データベースやトークン システムなどです。EAP-TTLS は通常クライアント証明書なしで企業環境において実装されるため、クライアント証明書の使用はサポートされていません。ユーザーごとにクライアント証明書を使用する場合は、EAP-TLS を使用することを推奨します。

EAP-TTLS の設定方法

1. 認証モード EAP-TTLS を選択します。

画像 6-32 EAP-TTLS

2. ドメインと ID を入力します。

ドメイン	登録している企業ドメインは、Active Directory で定義されているものと一致している必要があります。
ID	Active Directory のユーザアカウント IDで、企業ネットワークに接続する際に ClickShare Button が使用します。

3. パスワードを入力します。

LAN ネットワークで認証に使用している ID に呼応するパスワードです。Base Unit ごとに、それぞれの Button が同じ ID およびパスワードを使用して企業ネットワークに接続します。

4. オプションで、CA 証明書をアップロードします。

次の形式が許可されます。

- .pem
- .cer
- .crt
- .pb7 (Base64 エンコード DER)

ファイルには、少なくともドメインのルート CA 証明書が含まれている必要があります。

5. [Save configuration (構成の保存)] をクリックします。

6.21 サービス、モバイル装置

ClickShare アプリ

この機能により、ClickShare アプリを使用しているモバイル装置と接続することで、Base Unit に接続できます。

デフォルトで有効化されています。Base Unit が企業ネットワークに統合されている場合は、ClickShare アプリのコンテンツ共有を無効化する必要があるかもしれません。

Airplay を介したストリーミング情報について

情報をストリーミングして ClickShare に表示するには、その前にお使いの装置を Base Unit のワイヤレスネットワークに接続する必要があります。その後、お使いの装置で AirPlay をアクティブ化します。AirPlay をアクティブ化する方法の詳細については、お使いの装置のユーザーガイドを参照してください。

AirPlay のサポートされるバージョンは Barco の Web サイト www.barco.com/clickshare で入手できます。これらのプロトコルの非リリース版のサポートは、Barco により保証できません。

Google Cast を介したストリーミングについて

情報をミラーリングして ClickShare に表示するには、その前にお使いの装置を Base Unit のワイヤレスネットワークに接続する必要があります。デバイスで Google Cast をアクティブ化すると、アクセスポイントの概要が与えられます。Google Cast の使用についての詳細は、デバイスのユーザーガイドを参照してください。

Google Cast のサポートバージョンは Barco の Web サイト www.barco.com/clickshare で入手できます。これらのプロトコルの非リリース版のサポートは、Barco により保証できません。

Google Cast は、パスコードに対応していません。



Google Cast は、Base Unit の時計が正しく設定されている場合のみ使用可能です。正しく設定されていない場合、Google Cast は Base Unit と接続できません。

Miracast™ 経由でのストリーミングについて

Miracast™ により、Miracast® デバイス間のマルチメディアコンテンツのシームレスな表示が可能になります。Miracast を使用すると、Wi-Fi ネットワークが利用できない場合でも、Wi-Fi デバイス間で高解像度の写真や高解像度 (HD) ビデオコンテンツを含むマルチメディアをワイヤレスで共有できます。

情報をストリーミングして ClickShare に表示するには、その前にお使いの装置を Base Unit のワイヤレスネットワークに接続する必要があります。その後、お使いの装置で Miracast をアクティブ化します。Miracast をアクティブ化する方法の詳細については、お使いの装置のユーザーガイドを参照してください。

Miracast のサポートされるバージョンは Barco の Web サイト www.barco.com/clickshare で入手できます。これらのプロトコルの非リリース版のサポートは、Barco により保証できません。

表示方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. *WiFi & Network* (*WiFi* とネットワーク) → *Services* (サービス) をクリックします。



画像 6-33 サービス、モバイル装置

3. ClickShare アプリ経由でコンテンツを共有できるようにするために、ClickShare アプリ経由で共有がデフォルトで有効になっており、変更できません。

AirPlay を使用したストリーミングを許可するには、[AirPlay を使用してストリーミング (Streaming via AirPlay)] の前にあるチェックボックスをオンにします。

Google Cast を使用したストリーミングを許可するには、[Google Cast を使用してストリーミング (Streaming via Google Cast)] の前にあるチェックボックスをオンにします。

Miracast 経由でのストリーミングを許可するには、[Miracast 経由でのストリーミング (Streaming via Miracast)] の前にあるチェックボックスにチェックを入れます。

パスコードのタイプ選択

1. コンフィギュレータにログインします。
2. WiFi & Network (WiFiとネットワーク) → Services (サービス) をクリックします。
3. ドロップダウンボックスをクリックし、希望のパスコードのタイプを選択します。
 - パスコードなし
 - 数字のパスコード

6.22 サービス、ClickShare API、API を使用したりリモートコントロール

API 設定について

API は有効化または無効化できます。つまり、外部装置からユニットにアクセスしたり、そのアクセスをブロックしたりすることが可能です。

この機能は、デフォルトで有効化されています。

表示方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. *WiFi & Network* (*WiFi* とネットワーク) → *Services* (サービス) をクリックします。



画像 6-34 ClickShare API 設定

3. この機能を有効化するには、[*Remote control via API* (API を使用してリモート コントロールする)] の前にあるチェックボックスをオンにします。
 チェックボックスをオンにする: API を使用したリモート コントロールが可能になります。パスワードを使ってアクセスを保護できます。
 チェックボックスをオフにする: API を使用したリモート コントロールは利用できません。

6.23 XMS サーバ統合

XMS サーバ統合について

CSE-200+ Base Unit は、会社のネットワーク内に統合することができ、ユーザの権限に応じて XMS サーバアプリケーションを通して制御できます。

統合方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. *WiFi & Network* (*WiFi* とネットワーク) → *Services* (サービス) をクリックします。



画像 6-35 XMS サーバ統合

3. XMS サーバ入力フィールドをクリックし、XMS サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
4. [変更の保存 (**Save changes**)] をクリックして設定を適用します。

6.24 サービス、SNMP

SNMP について

Simple Network Management Protocol (SNMP) は、IP ネットワーク上の管理対象デバイスに関する情報を収集および整理し、その情報を変更してデバイスの動作を変更するためのインターネット標準プロトコルです。一般的に、SNMP 管理スイート (サーバー上で実行) は、SNMP エージェント (デバイス上で実行) と通信を行います。SNMP エージェントは、MIB (Management Information Base) に基づいて変数の形式でデバイス情報を収集して公開します。SNMP 管理スイートは、SNMP プロトコルを介して ClickShare デバイスにアクセスし、デバイス情報を要求できます。

SNMPv3 がサポートされています。

表示方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. *WiFi & Network* (*WiFi* とネットワーク) → *Services* (サービス) をクリックします。

3. SNMP までスクロールします。

画像 6-36 サービス、SNMP

4. [有効にする] の前にあるチェックボックスにチェックを入れます。
構成フィールドが使用可能になります。

設定方法

1. デフォルトのエンジン ID を使用する場合は、デフォルトのエンジン ID を使用 の前にあるチェックボックスにチェックが入っていることを確認します。
デフォルトのエンジン ID は、Barco Enterprise Number と MAC アドレス (eth0) を組み合わせたものです。
2. SNMP マネージャーのアドレスを入力します。
これは、TRAP イベント / メッセージを受信するホストアドレスです。
可能なトラップは次のとおりです。
 - CPU 温度がしきい値を超えたことを示すアラーム CPU 温度トラップ。
 - ケースファンの回転が遅すぎることを示す Alarm Case Fan Speed トラップ。
 - 監視対象プロセスの1つが実行されていないことを示す Alarm Process Not Running トラップ。
3. ユーザー名を入力します。
4. 新しいパスワードを入力し、そのパスワードを確認します。

6.25 サービス、リモート Button のペアリング

リモート Button ペアリングについて

お使いのコンピュータのスタンドアロンのソフトウェアアプリケーションである ClickShare Button Manager を使用すると、ほとんどのタイプの ClickShare Base Unit の Button を管理できます。お使いのコンピュータは、既知の Base Unit と最大 4 つの Buttons と同時にペアリングできます。Button を Base Unit に物理的に接続してペアリングする必要はもうありません。この機能により、任意の Base Unit で任意の Button を簡単に使用できます。ClickShare Button Manager を使用する前に、各 Base Unit にパスワードを設定する必要があります。

設定方法

1. コンフィギュレーターにログインします。
2. WiFi & Network (WiFi とネットワーク) → Services (サービス) をクリックします。
3. リモート Button ペアリング までスクロールします。



画像 6-37 サービス、リモート Button のペアリング

4. リモート Button ペアリングを有効にするの前にあるチェックボックスにチェックを入れます。
 チェックあり: リモート Button のペアリングが有効になっています。Button Manager からリモートペアリングを開始するには、パスワードを入力する必要があります。
 チェックなし: リモート Button のペアリングが無効になっています。
5. パスワードの横にある入力フィールドをクリックし、パスワードを入力します。
6. [変更の保存 (Save changes)] をクリックして設定を適用します。

6.26 セキュリティ、セキュリティレベル

セキュリティレベルについて

ClickShare システムの使用においては、セキュリティレベルを設定できます。デフォルトで、レベル 1 がアクティブ化されています。セキュリティレベルは事前定義された設定であり、レベルを選択すると自動的に設定されます。

レベル 1: あらゆる組織での一般的かつ日常的な操作をサポートします。

レベル 1 には、以下に示す標準セキュリティ オプションと音声およびビデオデータの暗号化が含まれています。

標準セキュリティ オプション:

- PIN コードによるアクティブ化 (モバイルアプリおよび Button)、
- ログイン管理を伴う HTTPS を介した ClickShare 構成 (WebUI) アクセス、
- ワイヤレス ClickShare 構成 (WebUI) アクセスなし、
- Wi-Fi ネットワークの SSID は非表示。

レベル 2: このレベルでは、より高度なセキュリティが提供されます。セキュリティの問題により敏感な組織に適しています。

レベル 2 では、レベル 1 のセキュリティに加え、モバイル装置の PIN コードが必須です。英数字 PIN コード (モバイルアプリおよび Button) およびペアリングの証明書 (Button)

レベル 3: このレベルは、セキュリティに関して極度に厳しい要件を有する組織で使用されます。

レベル 3 には、レベル 2 のセキュリティに加え、モバイルアプリのブロックが含まれます。また、ファームウェアのダウングレードは不可能で、構成 (WebUI) へのワイヤレス アクセスはできません。

セキュリティレベルを設定しても、構成で個々のアイテムを使うと、そのセキュリティレベルに含まれる個々のアイテムを変更できます。個々のアイテムを変更すると、それによってセキュリティレベル表示が調整されますが、その他の設定が自動的に変更されることはありません。

たとえば、レベル 3 を設定してモバイルアプリのブロックを有効に変更すると、セキュリティレベル表示がレベル 2 に変化します。ただし、最初からレベル 3 に含まれるその他のアイテムは、すべてレベル 3 のままです。



個々の変更をリセットするには、目的のセキュリティーレベルを選択して [Save changes (変更の保存)] をクリックします。



セキュリティレベルを変更すると、Button を再度ペアリングすることが必要となります。セキュリティレベルを 1 からより高いレベルへと変更すると、証明書付き Button (R9861006D01) の互換性設定を変更します。セキュリティレベルが 1 よりも高いと、再ペア化ができません。

セキュリティレベルの設定方法

1. コンフィギュレータにログインします。

2. [Security (セキュリティ)] → [Security Level (セキュリティ レベル)] をクリックします。

	1	2	3
モバイルデバイスのためのパスコードを有効化します。	✓	✓	✓
ウェブUI: HTTPS、ログイン管理、ワイヤレスアクセスの無効化	✓	✓	✓
Wi-FiネットワークのSSIDを非表示にします。	✓	✓	✓
モバイルアプリとサービスの必須パスコード ²		✓	対応していません。
モバイルアプリとサービスはブロックされます。			✓
ファームウェアのダウングレードはできません。			✓
ウェブUIへのワイヤレスアクセスはできません。			✓
リモートのButtonペアリングはサポートされていません			✓
クライアントの注釈の保存およびUSBドライブが無効化されました			✓

注:

¹セキュリティレベルを変更すると、Buttonのペアリングを再度行う必要があります。

²Google Castはパスコードをサポートしていません。「サービス」セクションからGoogle Castを無効化できます。(ここをクリック)

© 2019, Barco. All rights reserved.

画像 6-38 セキュリティレベル

3. 目的のセキュリティ レベル アイコンを選択します。
4. [Save changes (変更の保存)] をクリックして設定を適用します。

6.27 セキュリティ、パスワード

パスワードについて

ClickShare 構成 (WebUI) にアクセスするには、ユーザー名とパスワードが必要です。パスワードはいつでも変更できます。これにより、[ClickShare Configuration (ClickShare 構成)] 設定が保護されます。

ClickShare API アクセスはパスワードで保護されています。パスワードは ClickShare 構成で変更できます。

ClickShare オンフィギュレータパスワードの変更

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [Security (セキュリティ)] → [Passwords (パスワード)] をクリックします。



画像 6-39 パスワード

3. [WebUI Password (WebUI パスワード)] ペインの [Old password (古いパスワード)] の横にある入力フィールドをクリックし、古いパスワードを入力します。
4. [New password (新しいパスワード)] の横にある入力フィールドをクリックし、新しいパスワードを入力します。
5. [Confirm password (パスワードの確認)] の横にある入力フィールドをクリックし、新しいパスワードを再度入力します。
6. [Save changes (変更の保存)] をクリックして設定を適用します。

ClickShare API パスワードの変更

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [Security (セキュリティ)] → [Passwords (パスワード)] をクリックします。
3. [ClickShare API Password (ClickShare API パスワード)] ペインの [New password (新しいパスワード)] の横にある入力フィールドをクリックし、新しいパスワードを入力します。
4. [Confirm password (パスワードの確認)] の横にある入力フィールドをクリックし、新しいパスワードを再度入力します。
5. [Save changes (変更の保存)] をクリックして設定を適用します。

6.28 セキュリティ、HTTP 暗号化

HTTP 暗号化について

HTTPS のカスタム証明書は、ClickShare Base Unit にアップロードできます。このように、カスタム証明書は、デフォルトの自己署名 ClickShare 証明書を置き換えることができ、会社のポリシーへのコンプライアンスが向上し、ClickShare Configurator を参照する際のプライバシーエラーを回避できるという利点があります。

カスタム証明書の作成方法

1. コンフィギュレータにログインします。

- [セキュリティ]→[パスワード]をクリックし、[HTTP 暗号化]までスクロールします。
- [HTTP 暗号化のセットアップ...]をクリックします。。



画像 6-40 HTTP 暗号化

- HTTP 暗号化モードを選択します。対応するラジオ ボタンをチェックします。

HTTP暗号化モードを選択します

- 証明書のアップロード
- 証明書署名要求の作成
- ClickShare自己署名証明書の生成

画像 6-41 HTTP 暗号化モード:

以下のいずれかのモードを選択できます。

- 証明書のアップロード
 - 証明書署名要求の作成
 - ClickShare 自己署名証明書の生成
- 証明書署名要求を作成するには、対応するラジオボタンにチェックを入れ、[次へ (Next)] (右矢印) をクリックします。
 - 必要な詳細情報を入力して、証明書署名要求を作成します。

証明書署名要求の作成

ドメイン名:

共通名: ClickShare-Iceland-CSE-800.

組織:

部門:

市町村:

都道府県:

国名:

画像 6-42 証明書署名要求

以下の項目が可能です。

- ドメイン名。
- 組織。
- 部門。
- 市町村。
- 州 / 県
- 国

7. [次へ (Next)] (右矢印) をクリックします。
CRS が作成され、ダウンロードできます。
8. [CSR のダウンロード (Download CSR)] をクリックします。

証明書をアップロードします。

1. [セキュリティ] → [パスワード] をクリックし、[HTTP 暗号化] までスクロールします。
2. [HTTP 暗号化のセットアップ...] をクリックします。。
3. [証明書のアップロード] を選択します。

証明書のアップロード

パスフレーズ:

証明書のアップロード:

許可されているファイル形式:
.pfx/.p12 (PKCS#12)
.pem (Base64エンコード)

画像 6-43

[証明書のアップロード] ウィンドウが開きます。

4. パスフレーズを入力し、[証明書のアップロード... (Upload certificate...)] をクリックします。
参照ウィンドウが開きます。
5. 証明書ファイルを探し、[開く (open)] をクリックします。
証明書の形式は次のとおりです。
 - .pfx/.p12 (PKC#12)
 - .pem (Base64 エンコード)
6. [構成の終了 (Finish configuration)] をクリックします。

6.29 Base Unit のステータス情報

ステータス情報

以下の情報を確認できます：

- モデル情報、モデル名、および部品番号
- 製造番号
- ファームウェアのバージョン
- 使用開始日時
- 最後の使用日時
- 現在の稼働時間: 最後のスタートアップからの時間
- 合計稼働時間: 最初のスタートアップからの使用時間
- 全般的なステータス

Base Unit の再起動

1. コンフィギュレータにログインします。
2. サポート → Base Unit のステータスをクリックします。



画像 6-44

3. Base Unit を再起動するには、**Base Unit** の再起動をクリックします。
再起動中は、ClickShare システムの再起動メッセージが進行状況バーと共に表示されます。
再起動後は、再度ログインする必要があります。

6.30 日時の設定、手動

[Date & Time (日時)] 設定について

日時は、タイムゾーン表示または1台以上のNTPサーバーを使って手動で設定できます。

設定方法

1. 構成にログインします。

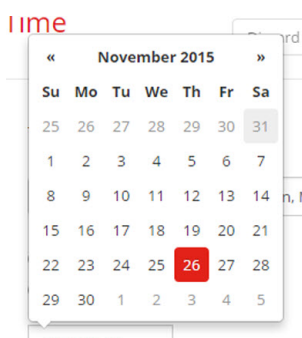
2. [System (システム)] → [Date & Time (日時)] をクリックします。



画像 6-45 手動による日時のアップデート

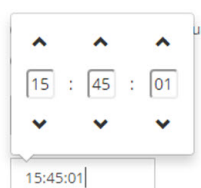
現在の時間が [Currenttime (現在の時間)] の横に表示されます。

3. タイムゾーンを選択します。[Time zone (タイムゾーン)] の横にあるドロップダウンボックスをクリックし、該当するタイムゾーンを選択します。
4. [Set time and date manually (手動で日時を設定する)] の前にあるラジオ ボタンをオンにします。
5. 日付を変更する場合は、[Date (日付)] の横にある入力フィールドをクリックします。カレンダー ウィンドウが開きます。現在の日付が赤色の背景付きで表示されます。



画像 6-46 日付の選択

6. 月を変更するには、月の横にある左向きまたは右向きの矢印を目的の年および月が表示されるまでクリックします。
- 日を設定するには、数字フィールドの数字をクリックします。
7. 時間を変更する場合は、[Time (時間)] の横にある入力フィールドをクリックします。3つのスクロール カウンターが表示されたウィンドウが開きます。



画像 6-47 時間設定

- 各スクロール カウンターの上下矢印を正しい時、分、および秒が表示されるまでクリックします。
- [Save changes (変更の保存)] をクリックして設定を適用します。

6.31 日時の設定、タイム サーバー

NTP サーバーの使用について

クロックは外部タイム サーバーと継続的に同期化され、ずれはミリ秒単位です。その他のタイム サーバーを追加できます。

タイム サーバーとの同期を行わない限り、ステータスは無効と表示されます。

設定方法

- 構成にログインします。
- [System (システム)] → [Date & Time (日時)] をクリックします。



画像 6-48 タイム サーバーの設定

現在の時間が [Currenttime (現在の時間)] の横に表示されます。

- [Use NTP (NTP を使用する)] の横にあるラジオ ボタンをオンにします。
- [NTP servers (NTP サーバー)] の横に NTP サーバーのアドレスを入力します。IP アドレスまたはサーバー名を入力します。
 Note: 複数のサーバー (最大 5 台) を追加できます。追加する場合は、それぞれをカンマで区切ります。
- [Save changes (変更の保存)] をクリックして設定を適用します。
 NTP サーバーとの同期が実行されます。ステータス フィールドに進行状況が表示されます。

6.32 省電力設定

スタンバイについて

Standby after (minutes) (スタンバイ開始 (分後)): スタンバイ タイムアウト中にクライアントの接続が検出されない場合、Base Unit は選択したスタンバイ モードになります。

デフォルト設定: スタンバイ開始: 10 分後、Base Unit が ECO スタンバイ モードになります。

ECO モード

Base Unit が ECO スタンバイ モードになると、HDMI 出力信号が無効化され、低電力モードになります。Base Unit の LED は白色で点滅し、ECO スタンバイ モードになっていることを示します。

ECO スタンバイの消費電力: 2.6W

Base Unit の ECO スタンバイ モードは、以下のいずれかの操作により解除されます。

- Button に接続している Base Unit またはアプリケーション
- Base Unit のスタンバイボタンを押します。
- Base Unit の USB ポートで Button をペアリングする
- HDMI ディスプレイに差し込む
- HDMI ソースに差し込む

スタンバイ モード

Base Unit がディープスタンバイモードになると、WiFi アクセスポイントおよびセカンダリ LAN 接続を含むすべてのプロセスがシャットダウンします。

Base Unit は、Base Unit に接続されているアクティブなネットワークがある場合はいつでも、ネットワークスタンバイに移行します。

この場合、Base Unit の LED は白く点滅します。

ネットワークが検出されないと、ディープスタンバイ状態になり、Base Unit の LED は暗くなります。

ディープ スタンバイの消費電力: 0.4W

Base Unit はネットワークスタンバイから、以下のいずれかの操作により解除されます。

- Base Unit のスタンバイボタンを押します。
- Button またはアプリを Base Unit に接続
- LAN をウェイクオンするためにマジックパケットを送信
- WLAN への接続が成功して WLAN のウェイクオンを起動
- HDMI ケーブルが差し込まれているとき
- CEC イベントが受信されたとき

Base Unit をディープスタンバイから復帰させるには、スタンバイボタンを押す必要があります。

省電力 変更を破棄 変更を保存

スタンバイまでの時間 (分): 無限 1 5 10 15 30 45 60

エコモード

Base Unitがエコスタンバイモードに入ると、HDMI出力信号が無効になります。Base UnitのLEDが白く点滅します。

Base Unitは次のいずれかのアクションでアウトプットを起動します。

- Base Unitに接続しているButtonまたはアプリ
- Base Unitのスタンバイボタンをもう1度押します。
- Base UnitのUSBポートでButtonをペアリングします。
- HDMIディスプレイに差し込む
- HDMIソースに差し込む

スタンバイモード

Base Unitが深いスタンバイモードになると、Wi-FiアクセスポイントやLAN接続を含むすべてのプロセスをシャットダウンします。

Base Unitは、Base Unitに接続されているアクティブなネットワークがある場合はいつでも、ネットワークスタンバイに移行します。

この場合、Base UnitのLEDは白く点滅します。

ネットワークが検出されなければ、深いスタンバイ状態になり、Base UnitのLEDは暗くなります。

Base Unitは、次のいずれかのアクションでネットワークスタンバイから起動します:

- Base Unitのスタンバイボタンをもう1度押します。
- Base UnitにButtonsやアプリケーションを接続する
- LANを起動するためにマジックパケットを送信する
- WLANを起動するためにWLAN上での接続に成功
- HDMIケーブルが差し込まれているとき
- CECイベントが受信されたとき

Base Unitを深いスタンバイから起動させるには、スタンバイボタンを押す必要があります。

基本設定をアップデートするには、[ClickShareコンフィギュレーションウィザードへようこそ](#)を実行します。

© 2018, Barco. All rights reserved.

画像 6-49 省電力設定

ディスプレイのタイムアウトの変更方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [System (システム)] → [Energy Savers (省電力設定)] をクリックします。
3. ディスプレイ タイムアウトを設定するには、目的のスタンバイ タイムアウトになるまで、スライダーを左右に移動します。

6.33 Button

Button について

Button ページには、どの Base Unit に Button が接続されているかが示されます。現在の状態も示します。

Base Unit で使用されている Button は、すべて Button 一覧に表示されます。この一覧には、状態、シグナルの強さ、製造番号、ファームウェアのバージョン、接続数、および前回の接続日時が表示されます。

Button のソフトウェアは、WiFi で更新できます。

設定を編集するには

1. コンフィギュレータにログインします。
2. システム → Buttons をクリックします。



画像 6-50 Button の概要

現在の状態が示され、Button のリストが表示されます。

3. 設定の編集 をクリックします。
4. Button が接続されるアクセスポイントを選択します。Button の接続先の隣にあるドロップダウンリストをクリックし、希望のポイントを選択します。
選択、内部アクセスポイントまたは外部アクセスポイントに応じて、設定を入力する必要があります。
内部アクセスポイントの場合、設定は必要ありません。

6.34 Button、外部アクセスポイント

概要

Button と企業アクセスポイント間の接続のセキュリティモードの選択は、ClickShareコンフィギュレーター

で実行できます。「外部アクセスポイント」に接続するように Button を構成する場合、次の認証モードを選択できます。

- セキュリティモード EAP-TLS、103 ページ、Button、外部アクセスポイント、モード EAP-TLS をご参照ください。
- セキュリティモード EAP-TTLS、104 ページ、Button、外部アクセスポイント、モード EAP-TTLS。
- セキュリティモード PEAP、105 ページ、Button、外部アクセスポイント、モード PEAP。
- セキュリティモード WPA2-PSK、106 ページ、Button、外部アクセスポイント、モード WPA2-PSK。

6.35 Button、外部アクセスポイント、モード EAP-TLS

入力方法

1. 社内 SSID を入力します。

The screenshot shows the configuration interface for a Button device. At the top, there is a gear icon and the word "Button". To the right are "キャンセル" (Cancel) and "変更を保存" (Save Changes) buttons. Below this is a dropdown menu for "Buttonの接続先:" (Button connection destination) set to "外部アクセスポイント" (External Access Point). Under "外部アクセスポイントの設定" (External Access Point settings), there is a dropdown for "認証モード:" (Authentication mode) set to "EAP-TLS". Below that are input fields for "社内SSID:" (Company SSID) with "Home Sweet Home", "ドメイン:" (Domain), and "ID:". Further down is a dropdown for "証明書を提供する:" (Provide certificates) set to "手動でクライアント証明書とCA証明書を提供しま" (Manually provide client certificates and CA certificates). Below this are two sections for certificate uploads: "クライアント証明書のアップロード:" (Client certificate upload) and "CA証明書のアップロード:" (CA certificate upload). Each section has a "Bestand kiezen" (Select file) button and a message "Geen bestand gekozen" (No file selected). The client certificate section also includes a text area for the password and a note about supported file formats (.pfx, .cer, .crt, .p12) and the requirement for private keys.

画像 6-51 Button、外部アクセスポイント、モード EAP-TLS

ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

2. ドメインと ID を入力します。
3. 証明方法を選択します。ドロップダウンボックスをクリックし、希望の方法を選択します。
 - クライアントおよび CA 証明書を手動で提供する
 - SCEP 経由で自動登録

証明書を手動で提供

1. クライアント証明書をアップロードします。[ファイルを選択] をクリックして、目的のファイルを参照します。

許可されているファイル形式：

- .pfx (PKCS#12)
- .p12 (Base64 エンコード DER)

少なくともクライアント証明書と対応する秘密鍵を含める必要があります。

2. クライアント証明書のパスワードを入力します。
3. CA 証明書をアップロードします。[ファイルを選択] をクリックして、目的のファイルを参照します。次の形式が許可されます。

- .pem
- .cer
- .crt
- .pb7 (Base64 エンコード DER)

ファイルには、少なくともドメインのルート CA 証明書が含まれている必要があります。

4. 変更内容の保存

SCEP の使用

簡易証明書登録プロトコル (SCEP) は、拡張可能な方法で証明書を発行および無効にすることができるプロトコルです。SCEP サポートにより、ClickShare Base Unit および Button の企業ネットワークへの統合がより迅速でスムーズになります。ほとんどの企業は Microsoft Windows Server およびそのアクティブ ディレクトリ (AD) を使用してユーザーおよび装置を管理しているため、当社の SCEP 実装は、Windows Server 2008 R2 および Windows Server 2012 の一部であるネットワーク デバイス登録サービス (NDES) で特に対象とされています。NDES/SCEP 登録に使用できるパラメータを拡張することで、他の汎用サーバの初期サポートが利用できます。

画像 6-52 Button、EAP-TLS、SCEP

SCEP ServerIP/ホスト名	これは、NDES サービスが稼働しているネットワークにある Windows Server の IP またはホスト名です。デフォルトでは、HTTP が使用されます。 例: http://myserver or http://10.192.5.1
SCEP ユーザー名	これは、NDES にアクセスし、チャレンジ パスワードを要求するために必要な許可が与えられている、お使いの Active Directory のユーザーです。このためにユーザーは、CA 管理者グループに属す (スタンドアロン CA の場合) か、所定の証明書テンプレートで登録許可を得る必要があります。
SCEP パスワード	企業ネットワークで認証に使用している ID に呼応するパスワードです。Base Unit ごとに、Button はそれぞれ、同じ ID およびパスワードを使用して企業ネットワークに接続します。

[変更内容の保存 (Save changes)] をクリックして、設定を保存します。

6.36 Button、外部アクセスポイント、モード EAP-TTLS

設定の入力方法

1. 社内 SSID を入力します。

Button

キャンセル 変更を保存

Buttonの接続先: 外部アクセスポイント

外部アクセスポイントの設定

認証モード: EAP-TTLS

社内SSID: Home Sweet Home

ドメイン:

ID:

パスワード:

CA証明書のアップロード (オプション): Geen bestand gekozen
 許可されているファイル形式: .pem, .cer, .crt, .p7b (Base64エンコードDER)。
 ファイルには、少なくともドメインのルートCA証明書が含まれている必要があります。

画像 6-53 Button、外部アクセスポイント、モード EAP-TTLS

ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

2. ドメインと ID を入力します。
3. パスワードを入力します。
4. CA 証明書をアップロードします。[ファイルを選択] をクリックして、目的のファイルを参照します。
次の形式が許可されます。
 - .pem
 - .cer
 - .crt
 - .p7b (Base64 エンコード DER)
 ファイルには、少なくともドメインのルート CA 証明書が含まれている必要があります。
5. [変更内容の保存 (Save changes)] をクリックして、設定を保存します。

6.37 Button、外部アクセスポイント、モード PEAP

設定の入力方法

1. 社内 SSID を入力します。

画像 6-54 Button、外部アクセスポイント、モード PEAP

ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

2. ドメインと ID を入力します。
3. パスワードを入力します。
4. CA 証明書をアップロードします。[ファイルを選択] をクリックして、目的のファイルを参照します。次の形式が許可されます。
 - .pem
 - .cer
 - .crt
 - .p7b (Base64 エンコード DER)
 ファイルには、少なくともドメインのルート CA 証明書が含まれている必要があります。
5. [変更内容の保存 (Save changes)] をクリックして、設定を保存します。

6.38 Button、外部アクセスポイント、モード WPA2-PSK

設定の入力方法

1. 社内 SSID を入力します。



画像 6-55 Button、外部アクセスポイント、モード WPA2-PSK

ClickShare Button が接続されることになる貴社ワイヤレス インフラストラクチャの SSID。

2. パスフレーズを入力します。

WPA2-PSK で使用されるキーにより、ワイヤレス インフラストラクチャへの認証が行われます。これは、64 桁の 16 進数か、8~63 字の印刷可能な ASCII 文字のいずれかです。

3. [変更の保存 (Save changes)] をクリックして設定を保存します。

6.39 黒板

ブラックボードについて

ブラックボードからの情報の保存は、有効または無効にすることができます。有効にすると、情報は、接続されているすべての Button のハードディスク、接続された ClickShare アプリと Base Unit に接続された USB スティックに保存されます。

ブラックボード設定の変更方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. システム → ブラックボード をクリックします。



画像 6-56 注釈の保存

3. 接続されたクライアントや USB スティックへの注釈の保存を有効にする の前にあるチェックボックスにチェックを入れるかチェックを外します。

チェックを入れる：ブラックボードの注釈を保存できます。

チェックを外す：ブラックボードへの注釈は保存できません。

6.40 ファームウェア更新

ファームウェア更新について

Base Unit のファームウェアは、Web インターフェイスを使って更新できます。ファームウェアの最新バージョンは Barco の Web サイトで入手できます。



画像 6-57 ファームウェア更新

自動ファームウェア更新について

自動更新の設定には 3 つの方法があります:

- 自動: システムは自動的にファームウェアの更新を検出し、使用されていないときにインストールします。
- 通知: システムはファームウェアの更新を自動的に検出し、Web インターフェイスのダッシュボードおよびファームウェアページで通知します。更新は、サポート&アップデート > ファームウェア ページで開始します。
- オフ: システムはファームウェアの更新を検出せず、通知もしません。

手動ファームウェア更新

1. ファームウェアの最新バージョンを Barco の Web サイトからダウンロードします。
2. コンフィギュレータにログインします。
3. [サポートと更新 (Support & Updates)] → [ファームウェア (Firmware)] をクリックします。
4. ファームウェアのバージョンをアップロードするには、[ファームウェアのアップロード... (Upload firmware...)] をクリックします。

参照のためのウィンドウが開きます。

5. 新しいファームウェアが格納されたファイルを参照し、[開く (Open)] をクリックするとアップロードが開始します。



Note: このファイルは .enc ファイルです。Barco の Web サイトからダウンロードしたファイルを解凍しなければならない場合もあります。



Note: Base Unit ソフトウェアを更新するには、数分かかります。処理状況は会議室のディスプレイに表示されます。

Base Unit ソフトウェアが更新されます。



Base Unit でファームウェアのダウンロードが必要な場合、ファームウェアのダウングレードを許可するの**前**にあるチェックボックスをオンにします。

コンフィギュレータを使用せずにファームウェアを更新

コンフィギュレータを使用してファームウェアをアップグレードするには、次の方法もあります。

- デバイスがネットワークに接続され、XMS (クラウド) 管理プラットフォームを介して管理されている場合、この管理ソリューションを介してファームウェアをアップグレードできます。この方法でファームウェアをアップグレードする方法の詳細については、XMS の Barco Web ページ (<https://www.barco.com/en/page/xms-cloud-management-platform>) を参照してください。
- USB スティックにファームウェアをダウンロードし、この USB をデバイスに接続します。詳しくは、114 ページ、ファームウェア更新 をご参照ください。 を参照してください。

6.41 サポートとアップデート、トラブルシューティング、ログ設定

ログ作成について

Button および Base Unit のログデータは、Base Unit のログファイルに保存されます。これらのログファイルには、デバッグ情報が含まれていることがあります。また、ローカルコンピュータにダウンロードして、Base Unit でクリアできます。デバッグのログが網羅するのは、上書きされるまでの数時間です。そのため、作成されたログは、すぐにダウンロードしてシステムの問題を発見することが重要です。

使用方法

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [Support & Updates (サポートとアップデート)] → [Troubleshoot (トラブルシューティング)] をクリックします。



画像 6-58 トラブルシューティング、ログ作成

3. デバッグのログを作成するには、[Enable debug logging (デバッグのログ作成を有効にする)] の横にあるチェックボックスをオンにします。
4. 報告する問題を再現します。
5. 現在のログファイルをダウンロードするには、[Download logs (ログのダウンロード)] をクリックします。

6. 現在のログファイルをクリアするには、[Clear logs (ログの消去)] をクリックします。

6.42 工場出荷時のデフォルト

デフォルト設定について

ClickShare Base Unit は工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

以下の設定がデフォルトです:

- 会議室の識別情報はクリアされています。
- 言語は英語に設定されています。
- カスタム壁紙は削除され、デフォルトの壁紙が復元されます。
- スタンバイタイマーは 10 分にリセットされます。
- ホスト名および SSID は「clickshare-製造番号」に設定されます。
- SSID はブロードキャストされます。
- WiFi パスワードは「Clickshare」にリセットされます。
- デフォルトの WiFi チャンネルは周波数 5 GHz、チャンネル 36 の設定に戻ります。
- アップデート履歴はクリアされます。
- 関連 Button の表はクリアされます。
- 管理者パスワードは「admin」にリセットされます。
- デバッグのログ作成およびリモートログ作成は無効になります。



工場出荷時のデフォルトに戻すには、この Base Unit で使用している Buttons を再度ペアリングし mセットアップフローを再度実施する必要があります。

工場出荷時のデフォルト設定を復元するには

1. コンフィギュレータにログインします。
2. [Support & Updates (サポートとアップデート)] → [Troubleshoot (トラブルシューティング)] をクリックします。



画像 6-59 トラブルシューティング、工場出荷時のデフォルト

3. [Reset to factory defaults (工場出荷時のデフォルトにリセット)] をクリックします。

以下のメッセージが表示されます。「This action will remove all settings of the Base Unit and replace them with the default settings. Are you sure you want to continue? (このアクションにより、Base Unit のすべての設定が削除され、デフォルトの設定が復元されます)。操作を実行してもよろしいですか?」

4. 操作を実行するには [Yes, remove all settings (はい、すべての設定を削除します)] をクリックします。実行しない場合は [No, I changedmy mind (いいえ、操作を実行しないでください)] をクリックします。
[はい] をクリックすると、システムの再起動が開始されます。



別の方法: Base Unit はリセットボタンを押しながら電源ケーブルを差し込むことで工場出荷時の設定にリセットできます。

ファームウェア更新

7

7.1 ファームウェア更新

ユニットの初回起動時、典型的な壁紙が表示され、ユニットの更新が求められます。



ファームウェア更新について

Base Unit ソフトウェアを更新するには、様々な方法があります。

- 構成を使用する (詳しくは、108 ページ、ファームウェア更新 をご参照ください。を参照)。
- XMS ソリューションで一元管理と共にネットワークに接続すると、自動更新されます。
- ソフトウェアを USB スティックにコピーします。
- XML 経由で一元管理と共にネットワークに接続されている場合の自動更新 (CSE デバイスのみ)。詳細については、Barco の Web サイト (www.barco.com/clickshare) からダウンロードできる XML のユーザガイドを参照してください。

Base Unit ソフトウェアを USB スティックにコピーして更新するには

1. ファームウェアの最新バージョンを Barco の Web サイト www.barco.com/clickshare からダウンロードします。サポートをクリックし、お使いのデバイスタイプの更新ファームウェア Button を選択します。
2. zip ファイルを解凍します。
3. ENC ファイルを USB スティックにコピーします。
同じスティックで複数のデバイスタイプに対して複数のファームウェアを入れることができます。
4. USB スティックを Base Unit の前面にある USB ポートに挿入します。
5. 会議室のスクリーンに表示される指示に従ってください。
6. プロセスが終了したというメッセージがスクリーンに表示されたら、USB スティックを取り外します。
Base Unit が再起動します。

トラブルシューティング

8

8.1 トラブルシューティング一覧

問題解決

問題	原因	解決策
会議室のディスプレイに表示される画像の質がよくない	<p>Base Unit およびディスプレイ間のケーブルの品質または長さ、あるいはその接続</p> <p>ディスプレイの解像度が適切でない</p> <p>システムは平均的なラップトップの解像度 (3 メガピクセル) を処理できます。ただし、会議室のディスプレイで拡大または縮小が行われると、アーチファクトが発生する原因となる場合があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルを交換してください。 別のケーブルを使用してください。 <p>Web インターフェイスで解像度を変更し、会議室のディスプレイのネイティブ解像度と一致させてください。</p>
ワイヤレス接続状態がよくない。Button から Base Unit への接続が頻繁に切断される。	<p>ワイヤレスの輻輳状態</p> <p>信号の届く距離が短い</p>	<ul style="list-style-type: none"> WiFi スキャナーを使って空きワイヤレスチャネルを探し、Web インターフェイスでそれを選択してください。この作業には、市販されているツールおよび inSSIDer や Xirrus などの無料オンラインツールを使用できます。「WiFi 設定」を参照してください。 Base Unit を会議室テーブルの近くに置いてください。 Base Unit の背面にあるアンテナの向きを変えてください。 Button および Base Unit 間にある障害物をできるだけ取り除くか、制限してください。
Web インターフェイスにアクセスできない	<p>ブラウザ</p> <p>接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 別のブラウザ (バージョン) を使用してください。 ブラウザの設定を確認してください。 Web インターフェイスにアクセスするには 3 つの方法があります。説明書の該当する章を参照してください。 プロキシ設定を確認してください。
Button をラップトップに挿入しても CSE-200+ ドライブが認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> ドライブが自動更新されていない Windows がすでに予約済みのドライブ文字に ClickShare ドライブを割り当てようとする <p>ラップトップの USB ポートの接続がよくない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ラップトップの表示を更新してください。 Microsoft Windows の「ディスクの管理」を使用して、空きドライブに割り当ててください。 USB ポートに再度接続してください。 別の USB ポートを使ってください。 ラップトップを再起動してください。

問題	原因	解決策
	<ul style="list-style-type: none"> 一部の USB デバイスが、会社のポリシーによりブロックされている。 ラップトップの USB ポートの設定により、バッテリー使用時に使える USB デバイスがハイパワー USB デバイスに限定されている。 	<p>可能な場合は、ラップトップの USB ポートポリシーを変更してください。</p>
<p>ビデオパフォーマンスがよくない</p>	<p>ラップトップのパフォーマンス</p> <p>ワイヤレスの接続状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ラップトップの画面解像度を下げてください。 ビデオのハードウェアアクセラレーターを無効にしてください。 ビデオを表示する際、ディスプレイの一部のみを使用してください。 システムトレイの ClickShare アイコンを右クリックし、[キャプチャモード] をクリックして現在の設定を切り替えます。 <p>「ワイヤレス接続状態がよくない」を参照してください。</p>
<p>ビデオが画面に表示されない</p>	<p>プレイヤーがオーバーレイを使用している</p>	<p>ビデオプレイヤーの基本設定でオーバーレイの使用を無効にしてください。</p>
<p>Windows の一部プログラムがディスプレイに表示されない</p>	<p>GPU におけるオーバーレイ、3D、またはハードウェア アクセラレーションの使用。</p>	<ul style="list-style-type: none"> GPU でオーバーレイまたはハードウェアアクセラレーションを無効にしてください。 Windows 7 では Aero グラスを無効にしてください。 Base Unit ソフトウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。
<p>Windows 7 を使用していると、Windows Aero の配色に関する以下のメッセージが表示される: 「コンピュータのパフォーマンスが低下していることが検出されました。Windows Aero の画面の配色を実行する十分なリソースがないことが原因である可能性があります。パフォーマンスを上げるには...」</p>	<p>ClickShare は GPU からのリソースを使用します。Windows 7 では、他にも GPU からのリソースを使用する他のプログラムが実行されている場合、このメッセージが表示され、ラップトップのパフォーマンスを向上するために Aero を無効にするよう提案することがあります。</p>	<p>このメッセージを無視して [現在の画面の配色を使います] を選択しても問題ありません。</p>
<p>Button を押ししてもディスプレイに画面が表示されない</p>	<p>コンテンツを共有する 3 人目の人であるということです。同時に表示できるスクリーン数は 2 つのみです。</p>	<p>全画面表示機能を使用するには、Button をクリックして 2 秒間押しただまにしてください。</p>
<p>コンテンツがディスプレイから非表示になり、Button の LED が白色で点滅している</p>	<p>ClickShare ソフトウェアが稼働していない。</p>	<p>ClickShare ドライブに移動してソフトウェアを実行します。</p>
<p>コンテンツがディスプレイから非表示になり、Button の LED が白色で点滅している</p>	<p>Base Unit への接続が失われています。</p>	<p>ClickShare が自動的に接続の復元を試みます。復元できない場合、Button の LED が赤色で点滅し始めます。</p>

問題	原因	解決策
ディスプレイにまったく何も表示されない。	<p>ディスプレイの電源がオフになっている。</p> <p>ディスプレイケーブルが適切に接続されていない。</p> <p>ディスプレイが Base Unit の出力解像度を認識しないか、表示できない。</p> <p>Base Unit が待機モードになっている</p>	<p>ラップトップから Button を取り外し、新しい Button を使用してみてください。</p> <p>ディスプレイの電源をオンにします。</p> <p>ディスプレイケーブルをディスプレイおよび Base Unit に挿入します。</p> <p>Web インターフェイスを使用して該当する設定を変更します。</p> <p>Base Unit の待機 Button を短く押すか、Button を挿入して ClickShare ソフトウェアを実行します。</p>
WiFi 接続状態がよくない	<p>ワイヤレスチャンネルが輻輳状態である</p> <p>金属製キャビネット、壁、建築材などが、ワイヤレス信号の反射する原因となり、接続状態を悪化させることがあります。</p> <p>Button および Base Unit 間に障害物があると、ワイヤレス信号の強度および質が低下する原因となります。</p>	<p>ワイヤレスネットワークスキャンツールを使って、空きチャンネルまたは最も輻輳状態でないチャンネルを探してください。</p> <p>Base Unit を部屋の別の場所に移動してください。</p> <p>キャビネットの中、吊天井、テーブルの下、壁の後ろ、別の部屋などには置かないでください。</p> <p>Base Unit のアンテナの向きを変えてください</p> <p>WiFi に関する ClickShare のホワイトペーパーを www.barco.com/clickshare で参照してください。</p>
Web インターフェイスに、「WiFi アクセスポイントデーモン」および/または「DHCP サーバ」プロセスでエラーが発生したと表示されます	構成ファイルが破損している	Web インターフェイスの [構成] タブに移動し、[デフォルト設定のロード] をクリックしてください。
ClickShare Base Unit が適切に起動しない	構成ファイルが破損している	Web インターフェイスの [構成] タブに移動し、[デフォルト設定のロード] をクリックしてください。
Base Unit で LAN 接続できない	IP アドレスが間違っている	IP アドレスがお使いの LAN 範囲内ではない。 DHCP が有効になっていない。
Base Unit で WiFi 接続を使用できない	SSID が正しくない	正しい SSID を入力してください

発生している問題を下表で検索し、解決策を実行してください。

Barco ナレッジベースと YouTube 動画

Barco の Web サイトの製品ページに移動し、右側のサポートで選択します。Barco のナレッジベースと最新のチュートリアル動画にアクセスできます。その他の YouTube 動画については、<https://www.youtube.com/user/barcoTV> にアクセスして ClickShare を選択してください。

環境情報

9

9.1 廃棄に関する情報

廃棄に関する情報

廃電気電子機器



■製品上のこの記号は、廃電気電子機器を統制する欧州指令 2012/19/EU に基づき、本製品がその他の一般廃棄物と共に廃棄できないことを示しています。不要になった機器は、廃電気電子機器のリサイクル向けに指定されている収集場所にて処分してください。無制御の廃棄物処理から環境または人体への危険の可能性を防止するために、その他の廃棄物からこれらのものを分離し、物的資源の持続可能な再利用を促進するために責任を持ってリサイクルしてください。

本製品のリサイクルに関する詳細情報は、地域の役所または地方自治体の廃棄物処理サービスにお問い合わせください。

詳細に関しては、Barco ウェブサイトを参照してください: <http://www.barco.com/AboutBarco/weee>

製品の電池の破棄



■本製品では、一般廃棄物から分別して収集および処理する必要がある 2006/66/EC 指定の対象となる電池を使用しています。

指定した値を超える鉛 (Pb)、水銀 (Hg)、またはカドミウム (Cd) が電池に含まれる場合は、これらの化学物質のアイコンがバツ印付き車輪容器アイコンの下に表示されます。

電池の分別収集に参加することにより、適切な廃棄を行って、環境および人体に悪影響を及ぼす可能性を回避できます。

9.2 Rohs 指令対応

トルコ Rohs 指令対応



■Türkiye Cumhuriyeti: AEEE Yönetmeliğine Uygundur.

[トルコ共和国:WEEE 規格準拠]

中国大陆 RoHS (中国本土の RoHS)

根据中国大陆《电器电子产品有害物质限制使用管理办法》(也称为中国大陆RoHS), 以下部分列出了 Barco 产品中可能包含的有毒和/或有害物质的名称和含量。中国大陆RoHS指令包含在中国信息产业部 MCV 标准: “电子信息产品中有毒物质的限量要求”中。

「電子情報製品の危険物質の使用制限管理方法」(別名、中国本土の RoHS) に従い、Barco 社製品に含まれている可能性がある有毒/有害性物質の名称と成分を以下の表に示します。中国本土の RoHS は、中国信息产业部の MCV 基準、「電子情報製品の有害物質の適用要件」の項に含まれています。

零件項目(名称) 成分名	有毒有害物質或元素 有害物質または要素					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr6+)	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印制电路配件 プリント回路実装 品	x	0	x	0	0	0
外接電(線)纜 ケーブル	x	0	x	0	0	0

底架	x	0	x	0	0	0
筐体						
電源供应器	x	0	x	0	0	0
電源装置						
文件说明书	0	0	0	0	0	0
印刷版の取扱説明書						

本表格依据SJ/T 11364的规定编制

この表は、SJ/T 11364 の規定に従って作成されています。

O: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 标准规定的限量要求以下。

O: この部品のすべての均質物質内に含まれている有毒または危険物質が、GB/T 26572 件で定められる上限よりも低いことを示します。

X: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 标准规定的限量要求。

X: この部品の少なくとも1つの均質物質内に含まれている有毒または危険物質が、GB/T 26572 要件で定められる上限よりも高いことを示します。

在中国大陆销售的相应电子信息产品 (EIP) 都必须遵照中国大陆《电子电气产品有害物质限制使用标识要求》标准贴上环保使用期限 (EFUP) 标签。Barco 产品所采用的 EFUP 标签 (请参阅实例, 徽标内部的编号用于指定产品) 基于中国大陆的《电子信息产品环保使用期限通则》标准。

中国本土で販売されている電子情報製品 (EIP) はすべて、中国政府発布の「電気電子機器製品に含まれる危険物質の使用規制マーク」に準拠している必要があります。基準を満たしている製品には、環境に優しい使用の期限 (EFUP) のロゴマークがあります。Barco が使用する EFUP ロゴ内の番号 (写真を参照) は、中国政府発布の「電気電子機器製品の環境に優しい使用の期限に関する一般ガイドライン」を基にしています。



画像 9-1

限用物質含有状況標示聲明書 (規制物質標識の有無状況の宣言書) - 台湾 RoHS 指令対応

設備名稱: 影音共享控制中心, 型號 (型式): CSE-200+

装置名: ワイヤレスプレゼンテーションシステム, タイプ指定: CSE-200+

單元 単位	限用物質及其化學符號 規制物質およびその化学記号					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六價鉻 六価 クロム (Cr6+)	多溴聯苯 ポリ臭化 ビフェ ニール (PBB)	多溴二苯醚 ポリ臭化ジ フェニール エーテル (PBDE)
電路板 プリント回路実装品	—	○	—	○	○	○
電 (線) 纜 ケーブル	—	○	—	○	○	○
機箱 筐体	—	○	—	○	○	○

電源供應器	—	○	○	○	○	○
電源装置	—	○	○	○	○	○

備考1. “超出0.1 wt %” 及 “超出0.01 wt %” 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。

注1: 「Exceeding 0.1 wt %」および「exceeding 0.01 wt %」は、制限される物質の含有量の割合が、条件である参照値を超えていることを示します。

備考2. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。

注2: 「○」は、制限される物質の含有量の割合が参照値を超えていないことを示します。

備考3. “—” 係指該項限用物質為排除項目。

注3: 「—」は、制限される物質の免除項目であることを示します。

9.3 輸入元連絡先情報

連絡先

お住まいの地域の輸入元については、Barco に直接お問い合わせいただくか、各地にある Barco のオフィスのいずれかにご連絡ください。各オフィスの連絡先情報は、Barco のウェブ サイト www.barco.com に記載されています。



R5900087JA /06 | 2020-09-16

Barco NV | Beneluxpark 21, 8500 Kortrijk, Belgium
Registered office: Barco NV | President Kennedypark 35, 8500 Kortrijk, Belgium
www.barco.com